

平成 22 年度

川崎市立中学校
学習状況調査
報告書

川崎市教育委員会・川崎市立中学校長会

はじめに

川崎市教育委員会
教育長 金井 則夫

川崎市立中学校学習診断テスト（川崎市立中学校学習状況調査）は、「かわさき教育プラン」の「学校の教育力を高め、確かな学力を育成する」という重点施策に則り、今年度も市立中学校の全生徒を対象に 11 月 9 日に実施されました。調査の目的は、生徒の学習状況及び生活や学習についての意識を客観的に把握し、指導方法等の改善に役立てること、生徒の学習状況を保護者に伝え、家庭での学習の在り方の改善に役立てることです。調査の内容は国語、社会、数学、理科、英語の各教科に関するテストと生活や学習に関するアンケート（2年生対象）となっております。

また、平成 19 年度から実施されている全国学力・学習状況調査は、本年度からは抽出校のみの実施となりました。したがって、生徒の学習状況を客観的に把握するために、市内の全ての中学生を対象として実施している本調査の重要性はますます高まってきております。

そこで、各教科の問題作成にあたり、基礎的・基本的な知識・技能に関する問題とともに思考力・判断力・表現力に関する問題について、これまで以上に質の高い出題ができるよう、内容の検討を重ねてまいりました。

本報告書は、学習指導の改善に役立てることができるよう、教科に関する調査について出題の趣旨や正答及び今後の指導にあたっての留意点等をまとめたものです。また、生活や学習のアンケートについて、本市の生徒の状況の調査結果と分析を掲載いたしました。

各学校におかれましては、本調査の趣旨をご理解のうえ、調査結果を指導方法や教育課程編成の改善等にご活用いただきたいと存じます。

最後になりますが、本調査の作成にあたり、調査の目的に沿うよう質の高い問題作成に取り組んでいただきました各教科作問委員の皆様には感謝いたします。さらに、本調査の運営・実施にあたってご尽力いただきました中学校現職教育委員会をはじめとする中学校校長会に厚く御礼申し上げます。

平成 22 年度「川崎市立中学校学習診断テスト」のまとめにあたって

川崎市立中学校長会長
渡辺 直樹

平成 24 年度の新しい学習指導要領の全面実施を目前にして、本年度は移行措置期間の 2 年目となります。新しい学習指導要領では、「確かな学力」すなわち基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等及び学習意欲等の育成が掲げられています。本市におきましても「かわさき教育プラン」に基づき、「確かな学力の育成」を目指し、各学校で、指導方法や教育課程編成の改善に努めているところです。

川崎市立中学校学習診断テストは、昭和 43 年度より始まり、今年度は 43 回目の実施となりました。また、平成 17 年度からは川崎市立中学校学習状況調査として、2 年生で 5 教科のテストとともに、生活や学習についてのアンケートもあわせて実施しています。今年度につきましては、11 月 9 日に各学校のご協力により計画通り実施され、その後の処理や分析についても円滑に行われ、無事終了することができました。

学習診断テストの目的として、主に次の 2 点があります。1 点目は、学校において、生徒の学習状況を把握することで指導方法や教育課程の検証・改善を図ること。2 点目は生徒や保護者に学習状況を伝えることで家庭での学習の在り方を改善することです。これらの目的は「かわさき教育プラン」に明記されているところです。

本報告書は、このような学習診断テストの趣旨に則り、調査結果をまとめ、学習指導法や教育課程編成の改善に生かせるよう作成いたしました。各学校におかれましては、本報告書をご活用いただき、生徒の学力向上に結び付けていただきたいと思います。

終わりに、学習診断テストの実施に際しまして、ご尽力いただきました川崎市教育委員会、校長会現職教育委員会及び教育研究会の各教科部会、教頭会の皆様には多大な労苦をおかけしました。特に、多くの時間を割いて作問に携わっていただきました 5 教科の作問委員の皆様には心より感謝申し上げます。

目次

I 調査の概要

1. 調査の目的	5
2. 調査の内容	5
3. 調査の対象	5
4. 調査実施日及び調査対象人数	5
(1) 調査実施日	5
(2) 調査対象人数	5

II 調査結果の概要

1. 国語	9
誤答分析と学習指導上の考察	10
2. 社会	29
誤答分析と学習指導上の考察	30
3. 数学	53
誤答分析と学習指導上の考察	55
4. 理科	69
誤答分析と学習指導上の考察	70
5. 英語	89
誤答分析と学習指導上の考察	91

III 生活や学習についてのアンケート

調査の概要	107
調査結果と分析	108
単純集計	108
クロス集計	117
各教科の正答率との相関	125
資料 調査結果集計表	128

IV 問題用紙・解答用紙・アンケート質問紙

国語	137
社会	166
数学	199
理科	214
英語	249
生活や学習についてのアンケート	279

I 調査の概要

1. 調査の目的

全市的な規模で生徒の学習状況を調査することにより、学習指導上の課題を明らかにする。その結果を、各学校においては、今後の学習指導法の改善や教育課程編成の工夫等、生徒の基礎学力の向上に役立てる。

2. 調査の内容

○国語・社会・数学・理科・英語

調査の目的に基づき、学習指導要領に示されている各教科の目標及び内容の基礎的・基本的な事項について、各教科の出題範囲に基づいて、全学年を対象とする調査を実施した。

○学習意識調査（生活や学習についてのアンケート）

生徒の生活や学習に対する意識等について明らかにするために、第2学年の生徒を対象とする調査を実施した。

3. 調査の対象

市内全市立中学校の全学年の生徒

4. 調査実施日及び調査対象人数

(1) 調査実施日

平成22年11月9日（火）

(2) 調査対象人数

中学校第1学年	8,991人
中学校第2学年	8,919人
中学校第3学年	8,664人
生活や学習についてのアンケート	8,553人

Ⅱ 調査結果の概要

平成 22 年度

川崎市立中学校 学習診断テスト 国語科

誤答分析と学習指導上の考察

川崎市教育委員会
川崎市立中学校長会
国語科調査委員会

1. 作問にあたって

今年度も「検査の目的・趣旨」に即し、ペーパーテストで問える許容範囲で、国語科学習の全領域にわたって出題するよう努めた。作問にあたっては、中学校学習指導要領をふまえた上で「平成21年度川崎市立中学校学習診断テスト・誤答分析と学習指導上の考察」にあらわれた問題点をはじめ、PISA2003（読解力）調査、平成22年度全国学力・学習状況調査問題等の出題のねらいも考慮した。

出題範囲・内容については、各学年とも10月末までに学習する内容を主体として、漢字の読み・書き、語句の知識や文法、書写、詩歌（詩・短歌・俳句）、文学的文章（小説）、説明的文章（説明文・論説文）、古典（古文）から出題した。ただし、1学年の古典、2・3学年の書写については出題しなかった。また、全学年でそれぞれの履修内容に照らして、聞き取りテストを実施した。

19年度より、語句や文法などの「言語事項」を扱う大問を、各学年とも問二にまとめ、より客観的に「言語事項」に関する力を測れるようにしたが、その出題形式は今年度も踏襲した。また、昨年度より、1学年の書写で「行書」の問題を取り入れ、継続した。今年度は、「書く」力をより測れるように、各学年意識的に設定した。

PISA型読解力に沿った出題ができる素材を、説明的文章を中心に意識的に選定した。1学年においては、各学校で使用する教科書の差異（光村図書では図や表を用いた文章は2学年からである）を昨年度は考慮したが、今年度は、本文をじっくりと読み込むことで解答できるよう配慮し、図を用いた設問を立てた。

文章の選定にあたっては、各学年とも、文学的文章も説明的文章も、出題された部分の続きがその後読みたくなるような文章を意識した。

2. 出題のねらい

平成二十二年 度 川崎市立中学校校学習診断テスト 出題のねらい 国語

問題	1 年	2 年	3 年
問一	<p>●スピーチ発表の内容を的確に聞き取ることができるか。</p> <p>①内容の理解・把握ができるか。</p> <p>②スピーチの工夫されたところを理解できるか。</p>	<p>●インタビューの内容を的確に聞き取ることができるか。</p> <p>①話題や方向をとらえて聞くことができるか。</p> <p>②内容の理解・把握ができるか。</p> <p>③インタビューするときの工夫を理解できるか。</p>	<p>●話し合いの内容を的確に聞き取ることができるか。</p> <p>①内容の理解・把握ができるか。</p> <p>②話題や話し合いの工夫をとらえて聞くことができるか。</p> <p>③話題とグラフの関係をとりえて聞くことができるか。</p>
問二	<p>●言語事項に関する基礎的な知識が身に付いているか。</p> <p>①既習の漢字について読字・書字ができるか。</p> <p>②言葉の単位（文節）が理解できるか。</p> <p>③同音異字の漢字が理解できるか。</p> <p>④漢字の部首が理解できるか。</p>	<p>●言語事項に関する基礎的な知識が身に付いているか。</p> <p>①既習の漢字について読字・書字ができるか。</p> <p>②類義の関係にある熟語を理解できるか。</p> <p>③漢字の送りがなを正しく理解できるか。</p> <p>④単語の種類（自立語）が理解できるか。</p>	<p>●言語事項に関する基礎的な知識が身に付いているか。</p> <p>①既習の漢字について読字・書字ができるか。</p> <p>②慣用語が理解できるか。</p> <p>③副詞の呼応について理解できるか。</p> <p>④漢字の異なる意味について理解できるか。</p>
問三	<p>●毛筆・硬筆における楷書と行書の書き方を理解しているか。</p> <p>①楷書と行書の書き方のちがいについて理解できるか。</p> <p>②筆順のきまりについて理解できるか。</p>	<p>●短歌の内容を理解し、的確に鑑賞することができるか。</p> <p>①区切れが理解できるか。</p> <p>②内容理解と的確な鑑賞ができるか。</p>	<p>●俳句の内容を理解し、的確に鑑賞することができるか。</p> <p>①季語・季節を理解できるか。</p> <p>②表現上の特色（体言止め）が理解できるか。</p> <p>③内容理解と的確な鑑賞ができるか。</p>
問四	<p>●詩の読解ができるか。</p> <p>①詩中の語句の使い方について理解できるか。</p> <p>②情景が読み取れるか。</p> <p>③表現上の特色が理解できるか。</p> <p>④主題が読み取れるか。</p>	<p>●文学的文章の読解ができるか。</p> <p>①登場人物を取り巻く状況を的確に把握できるか。</p> <p>②登場人物の心情を読み取ることができるか。</p> <p>③文章中での語句の使い方について理解できるか。</p> <p>④人物像を正しく把握できるか。</p> <p>⑤内容の理解・把握ができるか。</p>	<p>●文学的文章の読解ができるか。</p> <p>①内容の理解・把握ができるか。</p> <p>②登場人物を取り巻く状況を的確に把握できるか。</p> <p>③登場人物の心情を読み取ることができるか。</p> <p>④文章中での語句の使い方について理解できるか。</p> <p>⑤人物像を正しく把握できるか。</p> <p>⑥文章中での表現上の特色が理解できるか。</p>
問五	<p>●文学的文章の読解ができるか。</p> <p>①内容の理解・把握ができるか。</p> <p>②登場人物の心情を読み取ることができるか。</p> <p>③登場人物を取り巻く状況を的確に把握できるか。</p> <p>④人物像を正しく把握できるか。</p>	<p>●説明的文章の読解ができるか。</p> <p>①段落相互の関係が理解できるか。</p> <p>②内容の理解・把握ができるか。</p> <p>③文章と図との関係を読み取ることができるか。</p> <p>④要旨が把握できるか。</p>	<p>●説明的文章の読解ができるか。</p> <p>①内容の理解・把握ができるか。</p> <p>②文章とグラフとの関係を読み取ることができるか。</p> <p>③段落相互の関係が理解できるか。</p> <p>④要旨が把握できるか。</p>
問六	<p>●説明的文章の読解ができるか。</p> <p>①内容の理解・把握ができるか。</p> <p>②段落相互の関係が理解できるか。</p> <p>③文章と図との関係を読み取ることができるか。</p> <p>④要旨が把握できるか。</p>	<p>●古典の読解ができるか。</p> <p>①内容の理解・把握ができるか。</p> <p>②歴史的仮名遣いを正しく理解しているか。</p> <p>③地の文と会話文を識別できるか。</p>	<p>●古典の読解ができるか。</p> <p>①内容の理解・把握ができるか。</p> <p>②文章中での語句の使い方について理解できるか。</p> <p>③主語の把握ができるか。</p> <p>④歴史的仮名遣いを正しく理解しているか。</p> <p>⑤地の文と会話文を識別できるか。</p>

3. 考察

中学校第1学年国語

No	問題番号		正答 (選択式・番号、記述式・言葉)	観点		問題の内容	出題のねらい	正答率(%)
	大問	小問		話す・聞く 能力	読む能力			
1		ア	1	◎		①聞き取り (スピーチ)	スピーチ発表の内容を的確に聞き取ることができるか。 ①内容の理解・把握ができるか。 ②スピーチの工夫されたところを理解できるか。	91
2			4	◎				77
3	1	1	○	◎				93
4		2	×	◎				96
5		3	×	◎				87
6		ウ	色	◎				89
7		1	きょうい	◎				68
8		2	かおく	◎				17
9	ア	3	きせい	◎		②漢字の読み		40
10		4	あや(しい)	◎				90
11		5	なざ(け)	◎				91
12	2	1	兼直	◎			言語事項に関する基礎的な知識が身に付いているか。	68
13		2	幼児	◎			①既習の漢字について読み・書きができるか。	54
14		3	規則	◎		③漢字の書き	②言葉の単位(文節)が理解できるか。	50
15		4	包(む)	◎			③同音異字の漢字が理解できるか。	79
16		5	寝(く)	◎			④漢字の部首が理解できるか。	69
17		ウ	7	◎		④言葉に関する知識		78
18		エ	2	◎				60
19		オ	くがまえ／＼くがまえくち	◎				38
20	3	ア	3	◎		⑤書写に関する知識	毛筆・硬筆における楷書と行書の書き方を理解しているか。	81
21		イ	4	◎			①楷書と行書の書き方の違いについて理解できるか。 ②筆順のきまりについて理解できるか。	52
22		ア	4	◎				85
23		イ	3	◎				87
24	4	ウ	1	◎		⑥詩の読み取り	詩の読解ができるか。 ①詩中の語句の使い方について理解できるか。	69
25		エ	2	◎			②情景が読み取れるか。 ③表題上の特色が理解できるか。	82
26		オ	はだしのあしあと	◎			④主題が読み取れるか。	63
27		カ	1	◎				88
28		キ	2	◎				72
29		ア	3	◎				42
30		イ	1	◎				62
31		ウ	3	◎				60
32	5	エ	2	◎		⑦文学的文章の読み取り	文学的文章の読解ができるか。 ①内容の理解・把握ができるか。	39
33		オ	2	◎			②登場人物の心情を読み取ることができるか。	70
34		カ	2	◎			③登場人物を取り巻く状況を正確に把握できるか。 ④人物像を正しく把握できるか。	60
35		キ	1	◎				83
36		ク	4	◎				82
37		ア	2	◎				47
38		イ	3	◎				77
39		ウ	2	◎				39
40	6	エ	1	◎		⑧説明的文章の読み取り	説明的文章の読解ができるか。 ①内容の理解・把握ができるか。	45
41		オ	3	◎			②段落相互の関係を読み取ることができるか。	36
42		カ	4	◎			③文章と図との関係を読み取ることができるか。 ④要旨が把握できるか。	56
43		キ	2	◎				58
44		ク	4	◎				58

◎…主たる観点

大問	小問	正答	小問のねらい	通過率	誤答率	無答率	主な誤答例および誤答への反応(%)													
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	他			
問一	ア	1	展開の把握	91	0	0	※	9	20	※	5 (1)	一年 (1)	味 (1)							
		4	〇	内容の理解	77	0	0	×	(4)	1 (2)	二年 (1)									
	イ	1	〇	内容の理解	93	7	0	〇 (1)	色 (1)	2 (1)	4 (1)									
		2	×	内容の理解	96	4	0	〇 (1)	色 (1)	2 (1)	4 (1)									
	ウ	3	×	内容の理解	87	13	0	〇 (1)	〇 (1)	3 (1)	4 (1)									
問二	ア	きょうい かおく きせい あや・しい なさ・け	1	読字 音読み	68	25	7	きょうい	てき (1)	〇 (1)	〇 (1)	だし (1)	4 (1)	えいよう (1)						
			2	読字 音読み	17	77	6	かや (5)	8) いえや (3)	やしき (3)	かちく (2)	など								
			3	読字 音読み	40	53	7	きしょう (4)	6) さしゅう (2)	など										
			4	読字 音読み	90	9	1	けわ (2)	表記の誤り (7)											
			5	読字 音読み	91	5	4	なさけ (3)	表記の誤り (2)											
問三	イ	素直 幼児 規則 包・む 薬・く	1	書字 音読み	68	15	17	〇直 (4)	表記の誤り (4)	など										
			2	書字 音読み	54	32	14	幼子 (6)	見子 (2)	表記の誤り (2)	1) など									
			3	書字 音読み	50	32	18	規則 (3)	基則 (2)	規束 (2)	〇則 (2)	表記の誤り (1)	5) など							
			4	書字 音読み	79	10	11	届 (1)	表記の誤り (9)											
			5	書字 音読み	69	12	19	表記の誤り (9)	など											
問四	エ	く く く く く	1	文法 (文節)	78	21	1	0	1	0	5	2	11	※	1	0	1			
			2	同音異義語	60	37	3	32	※	3	1	用 (1)								
			3	部首	38	44	18	きへん (9)	かこい (9)	くちへん (3)	ごんべん (3)	くちがまえ (2)								
			4	部首	81	19	0	くち (2)	くさかんむり (2)	かまえ (2)	もんがまえ (2)	表記の誤り (2)	など							
			5	部首	52	47	1	4	14	※	1									
問五	オ	はだしのあしあと	1	楷書・行書の理解	81	19	0	4	14	※	1									
			2	筆順の決まり	52	47	1	2	22	23	※									
			3	内容の理解	85	14	1	5	6	3	※									
			4	表裏の内容の理解	87	12	1	6	3	※	3									
			5	内容の理解	69	30	1	※	18	4	8									
問六	カ	はだしのあしあと	1	内容の理解	63	29	8	ちいさなみずどり (6)	にこにこしたかお (6)	かわいあいあかんぼ (5)										
			2	心情の理解	88	11	1	※	3	2	6									
			3	表現上の特徴	72	26	2	3	※	6	17									
			4	心情の理解	42	57	1	19	31	※	7									
			5	内容の理解	62	37	1	※	22	12	3									
問七	キ	はだしのあしあと	1	心情の理解	60	39	1	8	17	※	13									
			2	心情の理解	39	60	1	44	※	8	8									
			3	内容の理解	70	29	1	16	※	9	4									
			4	内容の理解	60	40	0	12	※	16	11									
			5	内容の理解	83	17	0	※	6	7	4									
問八	ク	はだしのあしあと	1	内容の理解	82	17	1	6	3	8	※									
			2	人物像の把握	47	52	1	14	※	22	9	a (1)	b (2)	c (3)	d (1)					
			3	文脈の把握	77	22	1	5	15	※	2									
			4	内容の理解	39	59	2	24	※	17	18									
			5	内容の理解	45	51	4	※	15	25	11									
問九	カ	はだしのあしあと	1	段落の働き	36	61	3	16	28	※	17									
			2	内容の理解	56	39	5	10	5	24	※									
			3	内容の理解	58	38	4	9	※	12	16	c (1)								
			4	内容の理解	58	37	5	13	8	16	※									
			5	内容の理解	58	37	5	13	8	16	※									

第1学年

(1) 聞き取り (問一)

「ご飯と味噌汁を見直そう」というテーマでおこなったスピーチ発表の内容を、的確に聞き取ることができるかを問うものであった。全般的に高い通過率であり、多くの生徒がスピーチの内容をしっかりと把握し、スピーチの工夫にも気づくことができたと判断できる。校内の定期テストにおいても「聞き取り」問題を実施している学校が増えており、そのことも高い通過率につながっていると思われる。

また、今後はテストで確認したスピーチの工夫を実際の場面でも生かせるよう指導し、さまざまな場面での聞く姿勢についても指導したい。

(平均通過率 88.8%)

(2) 言語事項 (問二)

ア 漢字の読み

昨年度と同様、「怪しい」「情け」などの訓読み漢字の通過率が高かった。しかし、「家屋」と「帰省」の通過率が著しく低く、誤答例も「かや」「きしょう」が突出している。中学一年生では使用頻度が低いためかもしれないが、いずれも小学校既習漢字であり、語彙力の低下を感じる。今後は、継続的に読み聞かせをしたり読書指導をしたりすることにより、語彙を増やしていくようにしたい。

(平均通過率 61.2%)

イ 漢字の書き

いずれも小学校既習漢字であり使用頻度が高いものであったため、通過率も昨年より高くなった。しかし、「規則」「幼児」の通過率は50%台となっており、日常生活でも積極的に漢字を使うよう指導することが必要である。

また、数年前から、パソコンやメールなどの普及により、容易に漢字の変換を行えるようになったことが指摘されている。「形を正しく覚えること」「漢字のもつ意味を考えること」を意識する習慣を身に付けさせたい。

(平均通過率 64.0%)

ウ～オ 語句や文法に関する知識

「言葉の単位」としての文節の理解、同音異義語、漢字の部首についての問題を出題した。文節を区切る問題は、小学校で学んでいることもあり、通過率が高かった。しかし、部首の問題は、通過率が38%と低かった。ただ部首名を答えるのではなく、いくつかの漢字に共通につけられる部首を考える問題であったので、正しい部首が思いつかない生徒も多かったためと思われる。また、同音異義語を選ぶ問題については、漢字の意味を正しく理解し、文脈にふさわしい漢字を選択できる力を身に付けさせる必要を感じた。

(平均通過率 58.7%)

(3) 書写 (問三)

毛筆における楷書と行書の書き方および筆順について出題した。楷書と行書の部首の正しい組み合わせを選択する問いの通過率は81%と高かった。しかし、筆順

の問題については52%の通過率にとどまり、書写の授業だけではなく、日頃から正しい筆順を意識して書かせる必要を感じた。

(平均通過率 66.5%)

(4) 詩 (問四)

全般的に通過率は高く、詩に描かれている情景は読み取っていると思われる。人物の心情や表現上の特徴も理解できていた。ただし、小問オについては、通過率63%とやや低い。選択肢ではなく、詩の言葉を抜き出す問題であったが、誤答例もばらつきがあり、細部の内容の読み取りは不十分であると思われる。

今後は、想像力を養い言語感覚を豊かにするためにも、詩歌に親しむ機会を増やしていきたい。また、詩歌については、ぜひ声に出して味わわせたいものである。

(平均通過率 78.0%)

(5) 文学的文章 (問五)

登場人物の年齢が近く、親しみやすい題材であることを考慮して作品を選定したが、例年よりもやや通過率が低かった。特に小問ア・エについては通過率が50%を切り、小問エは、通過率よりも選択肢1の誤答率の方が高い。これは、全体的な内容は理解できていても、登場人物が互いにどのように関係し合っているのかの理解が不足し、細かい心の動きをとらえていないためと思われる。今後はさらに、登場人物の相互関係や心情を考えながら本文を読むことの大切さを教えていきたい。

(平均通過率 62.3%)

(6) 説明的文章 (問六)

文章の難易度は決して高くはなかったが、例年に比べて、全般的に通過率が低かった。接続詞を補充する設問イは77%と高かったが、それ以外は通過率の低い設問が多かった。特に低かった設問は、一文を補充する小問ア、語句の補充の小問ウ、内容理解の小問エ、そして段落の働きの小問オである。いずれも誤答の主な原因は、前後の文意を正しく理解していないことだと思われる。誤答例もばらつきがあり、文章全体の内容を捉えきれていないということであろう。本文をじっくり読み、正確に内容を理解しようとする姿勢を大事にするとともに、筆者がどのように論を進めているかを正確に把握する力を身に付けさせたい。

(平均通過率 52.0%)

《出典》

- ・聞き取り …………… 作問委員による書き下ろし
- ・書 写 …………… 作問委員による書き下ろし
- ・詩 …………… 山村暮鳥全集第一巻より「ある時」 山村暮鳥
- ・文学的文章 …………… 『ワンダー・ドッグ』 竹内真
- ・説明的文章 …………… 『動物たちの超能力 渡り鳥』 倉橋和彦

中学校第2学年国語

No	問題番号		正答 (選択式→番号, 記述式→言葉)	観点			問題の内容	出題のねらい	正答率(%)
	大問	中間		小問	話す・聞く 能力	読む能力			
1		ア	1	◎			インタビューの内容を的確に聞き取ることができるか。 ①話題や方向をとらえて聞くことができるか。 ②内容の理解・把握ができるか。 ③インタビュースときの工夫を理解できるか。	71	
2	1		x	◎				84	
3			x	◎				55	
4			○	◎				91	
5		ウ	40(年前)	◎				64	
6			らいう			◎		87	
7			しせつ			◎		92	
8	ア		りんかく			◎		88	
9			のぞ(む)			◎		49	
10			しば(る)			◎		81	
11	2		評価			◎	言語事項に関する基礎的な知識が身に付いているか。 ①既習の漢字について読字・書字ができるか。 ②類義の関係にある熟語を理解できるか。 ③漢字の差りがなを正しく理解できるか。 ④単語の種類(自立語)が理解できるか。	56	
12			貿易			◎		66	
13			因果			◎		21	
14			掘(り)			◎		26	
15			招(く)			◎		63	
16		ウ	1			◎		53	
17		エ	1			◎		68	
18		オ	6			◎		12	
19		ア	4			◎		23	
20	イ		7			◎		87	
21			A	◎			短歌の内容を理解し、的確に鑑賞することができるか。 ①区切れが理解できるか。 ②内容理解と的確な鑑賞ができるか。	67	
22			B	◎				60	
23			C	◎				67	
24			4			◎		78	
25		ア	2			◎		41	
26		イ	満足そな笑い			◎		41	
27	ウ		3			◎		71	
28			4			◎	文学的文章の読解ができるか。 ①登場人物を取り巻く状況を的確に把握できるか。 ②登場人物の心情を読み取ることができるか。 ③文章中での語句の使い方について理解できるか。 ④人物像を正しく把握できるか。 ⑤内容の理解・把握ができるか。	86	
29	オ		3			◎		89	
30			1			◎		36	
31		キ	4			◎		68	
32		ク	3			◎		49	
33	ア		4			◎		79	
34			イ	◎				83	
35	ウ		2			◎		49	
36			8			◎	説明的文章の読解ができるか。 ①段落相互の関係が理解できるか。 ②内容の理解・把握ができるか。 ③文章と図との関係を読み取ることができるか。 ④要旨が把握できるか。	71	
37	オ		3			◎		68	
38			4			◎		67	
39		キ	1			◎		60	
40		ク	3			◎		34	
41	ア		1			◎		64	
42			4			◎	古典の読解ができるか。 ①内容の理解・把握ができるか。 ②歴史の脈名を正しく理解しているか。 ③地の文と会話文を識別できるか。	29	
43	ウ		(くらぬなら)→(らいなら)			◎		86	
44			これに(ー)下され			◎		34	
45		オ	2			◎		63	

◎…主たる観点

大問	小問	正答	小問のねらい	通過率	誤答率	無答率	主な誤答例および誤答への反応 (%)																
							1	2	3	4	5	6	7	8	他								
大問一	ア	1	展開の把握	71	29	0	※	5	4	4	17	ア	(2)	イ	(1)								
	イ	1	内容の理解	84	16	0	○	(12)	2	(2)	3	イ											
		2	内容の理解	55	44	1	○	(41)	2	3	ウ												
大問二	ア	3	内容の理解	91	8	1	×	(5)	1	(2)	ア												
		40 (年前)		64	36	0	50	(22)	3	5	(4)	4	5	(2)	3	0	(2)	2	0	1	5		
		1	読字音読み	87	11	2																	
		2	読字音読み	92	6	2																	
		3	読字音読み	88	5	7																	
	イ	4	読字音読み	49	36	15																	
		5	読字音読み	81	13	6																	
		1	評価	56	31	13																	
		2	貿易	61	22	12																	
		3	因果	26	40	39																	
大問三	ウ	4	掘・り	26	60	14																	
		5	掘・り	63	19	18																	
		1	招・く	53	47	0																	
		1	送りがない	68	32	0																	
		6	文法(自立語)	12	88	0																	
	エ	4	表現技法(句切れ)	23	76	1																	
		7	季節感の理解	87	13	0																	
		1	内容の理解	67	33	0																	
		8	内容の理解	60	40	0																	
		3	内容の理解	67	33	0																	
		4	内容の理解	78	22	0																	
		2	心情の理解	41	59	0																	
大問四	イ	満足そうな笑い	内容の理解	41	49	10																	
		3	心情の理解	71	29	0																	
	エ	4	文脈の把握	86	14	0																	
		3	心情の理解	89	11	0																	
	カ	1	心情の理解	36	64	0																	
		4	心情の理解	68	32	0																	
		3	人物像の把握	49	51	0																	
	大問五	ア	4	文脈の把握	79	21	0																
			2	内容の理解	83	17	0																
		イ	2	内容の理解	49	51	0																
8			内容の理解	71	28	1																	
エ		3	内容の理解	68	32	0																	
		4	内容の理解	67	32	1																	
		1	内容の理解	60	40	0																	
		3	内容の理解	34	66	0																	
大問六	ア	1	内容の理解	64	36	0																	
		4	内容の理解	29	71	0																	
	イ	くらいなら	歴史的仮名遣いの理解	86	11	3																	
		これこ〜下され	会話文の識別	34	60	6																	
オ	2	内容の理解	63	37	0																		

第2学年

(1) 聞き取り (問一)

「市役所への職場訪問」を想定し、中学生が職員へインタビューをするという場面を設定した。全体的に高い通過率であったが、小問イの2が通過率55%と低かった。だれが、何について、どのように話しているのか意識しながら、正確な聞き取りができるように指導したい。

(平均通過率 73.0%)

(2) 言語事項 (問二)

ア 漢字の読み

漢字の読みは全体的に高い通過率であった。しかし、4の「臨む」の通過率が49%と低く、誤答例も多岐に及んだ。漢字そのものの意味と、言葉の意味をあわせて指導し、理解させる場面が必要である。また、学習した漢字を積極的に活用するよう指導したい。

(平均通過率 79.4%)

イ 漢字の書き

漢字の書きは全体的に低い通過率であった。熟語や漢字の意味の理解が十分でないため、音だけで考え誤った部首を書く生徒が多かった。日常生活で使用する機会の多い漢字を指導するだけでは語彙が限定され表現の幅が狭まってしまう。学習した漢字を日常生活で使用できるようにする指導の工夫が必要である。さらに、正確な漢字の字形を常に意識させたい。

(平均通過率 46.4%)

ウ～オ 語句や文法に関する知識

小問ウは類義語の組み合わせを選ぶ問題であったが、熟語の意味を理解していない生徒が多いことがわかる。国語辞典等を活用し、語句の知識を身につけさせる機会をつくりたい。小問オは自立語の数を答える問題であったが、63%が「5」と答え、通過率は12%と全体の中でも最も低かった。このことから、文法の基礎知識を定着させることが課題であるといえる。授業の中で短時間でも文法の基礎を確認する機会を定期的に設定することが重要である。

(平均通過率 44.3%)

(3) 短歌 (問三)

小問アの句切れを問う問題が通過率23%と低い。「切れ字」などの短歌の知識を指導する必要がある。また、問題文の指示通りの解答ができていない生徒が多いことも見逃せない。短歌の内容理解については、言葉からその情景や場面、作者の心情を想像できない生徒が多いと思われる。一つひとつの言葉に注目し考えることを、表現技法とあわせて指導したい。

(平均通過率 63.7%)

(4) 文学的文章 (問四)

主人公が苦悩しながらも音楽に情熱を燃やし始めるまでの文章であった。主人公を中心とした登場人物の心情の変化や作品内容についての出題であったが、問題によって通過率に大きく差がでた。今後は、場面の転換と人物像の把握について注意して読ませるように指導する必要がある。また、比喩的な表現や抽象的な表現を読み取る力も求められる。それぞれの表現が何を表しているのかを理解させることができるような授業展開を心掛けたい。

(平均通過率 60.1%)

(5) 説明的文章 (問五)

昆虫と植物の生態系の研究について説明した文章である。小問ウの通過率が低く、接続詞や文章の構成を手掛かりに文脈を把握できるように指導したい。小問キの図の理解は固有名詞や関係性を指す言葉が複数あり、混乱してしまう生徒が多かったのではないかと思われる。通過率34%の小問クでは、文章の内容と選択肢の内容を比較する力が重要である。文章を比較・分類する力を養うため、文章を分析する機会をつくりたい。

(平均通過率 63.9%)

(6) 古典 (問六)

小問イの通過率の低さから、動作や発言の主語を把握するための指導が必要であると思われる。また、小問エの会話文の識別の通過率も低い。これらは、古典作品を読むことに慣れていないことが原因の一つであると思われる。教科書以外の作品を紹介するなどして古典の面白さを味わわせ、生徒が関心を持って古典作品を読めるように工夫したい。

(平均通過率 55.2%)

《出典》

- ・ 聞き取り …………… 作問委員による書き下ろし
- ・ 短 歌 …………… 諸家作品
- ・ 文学的文章 …………… 『春のソナタ』 三田誠広
- ・ 説明的文章 …………… 『植物は感じて生きている』 瀧澤美奈子
- ・ 古 典 …………… 『鳥の町』 近世笑話集

中学校第3学年国語

問題番号		正答	観点		問題の内容	出題のねらい	正答率(%)
No	大問	小問	選択式→番号、記述式→言葉	話す・聞く能力			
1					聞き取り (話し合い)	話し合いの内容を的確に聞き取ることができるか。 ①内容の理解・把握ができるか。 ②話題や話し合いの工夫をとらえて聞くことができるか。 ③話題とクラフの関係をとらえて聞くことができるか。	83
2		○		◎			
3	1	x		◎			
4		○		◎			
5		2		◎			
6		1		◎	漢字の読み	言語事項に関する基礎的な知識が身に付いているか。 ①既習の漢字について読み・書きができるか。 ②慣用句が理解できるか。 ③劇詞の呼応の意味について理解できるか。	39
7		ちくじ		◎			
8		しつき		◎			
9	7	きゆうたん		◎			
10		いきとお(り)		◎			
11		と(る)		◎	漢字の書き	①既習の漢字について読み・書きができるか。 ②慣用句が理解できるか。 ③劇詞の呼応の意味について理解できるか。	37
12	2	間質		◎			
13		携帯		◎			
14	1	濃霧		◎			
15		鉛		◎			
16		湯(いた)		◎	言葉に関する知識	①既習の漢字について読み・書きができるか。 ②慣用句が理解できるか。 ③劇詞の呼応の意味について理解できるか。	18
17		4		◎			
18		4		◎			
19		3		◎			
20		1		◎			
21		4		◎	俳句の鑑賞	俳句の内容を理解し、的確に鑑賞することができるか。 ①季語・季前を理解できるか。 ②表現上の特色(体言止め)が理解できるか。 ③内容理解と的確な鑑賞ができるか。	79
22	3	A		◎			
23		2		◎			
24		4		◎			
25		B		◎			
26		4		◎	文学的文章の読み取り	文学的文章の読解ができるか。 ①内容の理解・把握ができるか。 ②登場人物を取り巻く状況を的確に把握できるか。 ③登場人物の心情を読み取ることができるか。 ④文章中での語句の使い方について理解できるか。 ⑤人物像を正しく把握できるか。 ⑥文章中での表現上の特色が理解できるか。	78
27	1	2		◎			
28		4		◎			
29	4	1		◎			
30		2		◎			
31		しつかりと負けを認める強さ		◎	説明的文章の読み取り	説明的文章の読解ができるか。 ①内容の理解・把握ができるか。 ②文章とクラフとの関係を読み取ることができるか。 ③段落相互の関係が理解できるか。 ④要旨が把握できるか。	93
32		4		◎			
33		1		◎			
34	7	3		◎			
35	1	2		◎			
36	5	4		◎	古典の読み取り	古典の読解ができるか。 ①内容の理解・把握ができるか。 ②文章中での語句の使い方について理解できるか。 ③主語の把握ができるか。 ④歴史の脈名を正しく理解しているか。 ⑤地の文と会話を識別できるか。	79
37		1		◎			
38		4		◎			
39		3		◎			
40		1		◎			
41		2		◎	(さらばひて→)さらば(いて 年のよ(→)に候ふ	①内容の理解・把握ができるか。 ②文章中での語句の使い方について理解できるか。 ③主語の把握ができるか。 ④歴史の脈名を正しく理解しているか。 ⑤地の文と会話を識別できるか。	60
42	6	2		◎			
43		2		◎			
44		3		◎			
		3		◎			

◎…主たる観点

大問	大問のねらい	小問	正答	小問のねらい	通過率	誤答率	無答率	主な誤答例および誤答への反応(%)											
								1	2	3	4	5	6	7	8	他			
問一	話し合い活動の内容を正しく聞き取る力をみる。	ア	○	内容の理解	83	15	2												
		イ	×	"	90	8	2												
		エ	○	"	90	8	2												
		オ	2	展開の把握	79	19	2												
		ウ	1	内容の理解(図)	81	17	2												
問二	漢字の読字力、書字力をみる。	ア	ちくじ	読字 音読み	39	50	11												
		イ	しつき	"	55	30	15												
		エ	きゆうだん	"	22	67	11												
		オ	いぎとお・り	" 訓読み	22	58	20												
		ウ	とる	"	37	43	20												
問三	語句や文法に関する知識をみる。	ア	閲覧	書字 音読み	26	35	39												
		イ	携帯	"	34	36	30												
		エ	濃霧	"	25	32	43												
		オ	鉛	" 訓読み	56	14	30												
		ウ	濁・いた	"	18	51	31												
問四	文学的文章の内容や人物の心情を読み取る力をみる。	ア	4	慣用句	39	59	2												
		イ	4	文法(修飾の関係)	75	23	2												
		エ	3	熟語の意味	75	24	1												
		オ	1	季節感の理解	79	19	2												
		ウ	4	表現技法(体言止め)	58	39	3												
問五	読解的文章における内容の理解力をみる。	ア	2	内容の理解	47	51	2												
		イ	4	"	59	39	2												
		エ	5	"	69	29	2												
		オ	6	"	72	26	2												
		ウ	2	心情の理解	78	20	2												
問六	古典における内容の理解力をみる。	ア	4	歴史的仮名遣いの理解	60	32	8												
		イ	2	会話文の識別	38	52	10												
		エ	3	内容の理解	35	61	4												
		オ	3	内容の理解	35	61	4												
		ウ	3	内容の理解	35	61	4												

第3学年

(1) 聞き取り (問一)

今年度は新聞委員会の話し合いを聞き、その内容を的確に聞き取ることと、聞き取った情報と資料を結びつけて聞くことを取り入れた。全体的に高い通過率となり、内容がよくとらえられていた。

(平均通過率 84.6%)

(2) 言語事項 (問二)

ア 漢字の読み

2の「漆器」以外の小問の通過率が50%に届いておらず、漢字の読み問題としては例年よりも低い通過率であった。また、3「糾弾」を「きょうだん」とした誤答が39%、4「憤り」を「いかり」とした誤答が23%と似ている響きをもつ漢字と混同しての間違が多かった。同じ漢字を使った他の熟語などを取り上げながら指導していきたい。

(平均通過率 35.0%)

イ 漢字の書き

4の「鉛」以外の小問の通過率が50%に届かなかった。特に「渴」については、通過率18%と低く、同音異義語の「乾」とした誤答が29%と多かった。また、日常的に目に、耳にしているであろう2の「携帯」の通過率が34%にとどまっているところを見ると、日常的に使う言葉であっても漢字の書き取りとなると定着していないことが分かる。同音異字の意味の違いなどにも注目させながら既習の漢字を使って書く習慣を身につけさせたい。

(平均通過率 31.8%)

ウ～オ 語句や文法に関する知識

小問ウの慣用句の使い方を問う問題は通過率が39%と低かった。誤答もどれかに集中するのではなく、あまり差がなく散らばっているところを見ると、それぞれの慣用句についてもう一度確認をしておく必要性を感じる。小問エの文法問題、小問オの熟語の意味を問う問題は通過率は高かった。体に関する慣用句は多くあるので、機会があれば部位ごとに整理して指導していきたい。また、文法事項については、領域の学習と関連させて、繰り返し指導していくことが大切である。

(平均通過率 63.0%)

(3) 俳句 (問三)

今年度は動物・虫を詠んだ俳句という観点で題材を集めた。表現技法を問う小問イは基本的な「体言止め」について問うものであったが、通過率は58%であった。俳句だけではなく、詩などでも出てくる技法なので、さまざまな場面で表現技法にふれていきたい。また、技法名を覚えるだけではなく、その効果について考えさせる指導をしたい。

(平均通過率 64.0%)

(4) 文学的文章 (問四)

今年度は中学生の男女三人が登場人物である。同年代の登場人物がスポーツにかける思い、友情、恋心を描いたものである。心情を問う問題は全体的に高い通過率であったが、小問オの内容の理解を問う問題では、記述式の問題のためか、無答率16%であった。本文中に記述されている内容を問う問題なので、あきらめずに問題に取り組む指導をしたい。

(平均通過率 81.6%)

(5) 説明的文章 (問五)

文脈の把握・接続詞を問う問題の小問イ、内容理解の小問ウについてはよくできていた。小問エの内容理解の問題では誤答を「2」とする生徒が多く、本文を読み返さずに、思い込みにより理解してしまっていたように思われる。これは小問キでもいえることである。要旨をしっかりととらえ、筆者が述べている内容を丁寧に読み取り、文章全体の構成を考えさせたい。また、読むだけでなく、わかりやすく説明・記録する工夫についても考えさせたい。

(平均通過率 64.0%)

(6) 古典 (問六)

小問ウの歴史的仮名遣いの理解を問う問題では、例年、現代語訳を答えてしまう生徒が多いのだが、今回は「さらぼひて」という耳慣れない言葉だったため、現代語訳を答え誤答になった生徒は少なかった。小問エの文章中の会話文を答える問題では通過率が38%と低く、会話の終わりを表す「〜と」を見つけられなかったようである。また、内容の理解を問う小問オの通過率の低さを見ると、作品のおもしろさを理解できないまま読んでいることが分かる。音読を通して古典に親しむ中で内容を理解し、おもしろさを発見できるような指導をしていきたい。

(平均通過率 48.6%)

《出典》

- | | | |
|--------|-------|---------------|
| ・聞き取り | …………… | 作問委員による書き下ろし |
| ・俳句 | …………… | 諸家作品 |
| ・文学的文章 | …………… | 『空をつかむまで』 関口尚 |
| ・説明的文章 | …………… | 『子どもと自然』 河合雅雄 |
| ・古典 | …………… | 『徒然草』 吉田兼好 |

4. まとめ

聞き取りについては、昨年度と同等の放送時間となるように作問にあたった。また、3学年の出題は、単に聞き取るだけでなく、話し合いの際に提示した資料(図)を選ぶという設問も立て、話し合いの内容をより正確にとらえる出題となった。各学年ともに高い通過率を示していることから、正しく情報を聞き取ることやよりよい伝え方(話し方)についての理解は、定着してきていると判断できる。

漢字の読み書きの問題については、既習の漢字からの出題としたうえで、なるべく日常生活の中で用いる漢字、文意に沿って用いるべき漢字という要素を視野に入れた。結果として、1学年、2学年の一部、3学年の全般で通過率が低かった。正確に漢字を読んだり書いたりする機会を意識していっそう増やしていくことが必要になってくると思われる。なお、今年度も対象学年と難易度の関係がアンケートの中に挙げられている。特に書字の出題範囲、難易度について、来年度に向けての検討材料としたい。

語句に関する知識については、各学年ともに一部の通過率が低く、他分野との差が出る結果となった。1学年では文法(文節)・同音異義語・部首、2学年で類義語・送りがな・文法(自立語)、3学年で慣用句・文法(修飾の関係)・熟語の意味に関する出題であった。使用教科書の差異から、該当学年の出題範囲だけでは共通項に無理が出るため、履修済みの範囲も出題対象としている。昨年度の反省も含めて、出題範囲に「履修済みの範囲も含む」と明記する方向で検討材料としたい。

書写は1学年のみの出題で、行書の筆遣いと筆順についての出題であった。行書の筆遣いについての問題は、通過率が高かった。今後も書写の時間の中で行書と楷書との筆遣い、筆順の違いをしっかりと丁寧に指導し、定着させていきたい。

詩歌に関する問題は、詩、短歌、俳句をそれぞれ1学年、2学年、3学年の問題の素材とする形は従来どおりである。各学年ともに、おおむね満足できる結果であった。2学年においては、表現技法(句切れ)を理解する力に、3学年においては鑑賞する力に、それぞれ課題が見られた。詩、短歌、俳句に対して、各学年の単元としての学習だけでなく、学年を問わず日常生活の中でそれぞれのジャンルに触れる機会を増やすことが求められる。

文学的文章(小説)では、3学年は、全体的な内容理解に迫ることができたようで、高い通過率となった。逆に2学年は、全体の内容把握に苦戦したようである。ストーリーを追ったうえで、細かな描写や表現上の工夫、情景・心情を豊かに思い描く力を伸ばせるような指導を心がけたい。

説明的文章(説明文・論説文)では、各学年ともに資料や図表を取り入れた。1学年で全体的に通過率が伸びず、他分野にくらべて無答率も高い。最後まで問題に取り組む根気強さ、ねばり強さを育てる指導を引き続き心がけたいものである。また、ここ2、3年課題となっていた、資料・図表との関係や、段落相互の関係を問う問題は、今年度は通過率が上がってきたが、全体の内容理解を問う問題になると通過率が低い。各学年とも、文章全体の構成をとらえながら述べられている中心的内容をつかむ力を身につけさせる必要がある。

古典(古文)は、2・3学年ともに、会話文と地の文の識別について問う問題での通過率が低かった。内容の理解でも、それぞれ通過率が低い問題が見られた。古典の学習については、基礎的な知識をもとに、話の流れや全体像をつかむ力をつけさせたいと考える。

5. 「川崎市立中学校学習診断テストアンケート」のまとめ（抜粋）

「川崎市立中学校学習診断テストアンケート」へのご協力ありがとうございました。各校から寄せられたご意見を項目ごとにまとめました。△印で示したご意見につきましては、来年度の作問の際に参考にさせていただきたいと考えております。

（1）全般的事項について

- 全般的に問題の意図をつかみやすい良い問題だったと思います。
- 基礎・基本的な学力の定着をみる上で、適切な内容と思われま
- 各学年ともよく練って作問されており、良問だったと思います。
- 2，3年生の古典は、作問に適した題材だと思います。
- 全学年、バランスよく出題されていて、よいと思います。
- 聞き取り問題を含め、国語の力を問うバランスの良い出題であった。
- △2年生の問題の難易度がやや高いように思います。

（2）出題量と時間の関係について

- 生徒達の様子を見ると、あわてることもなく、落ちついて解答できる量だったと思います。
- 全学年、余裕をもって取り組める問題量でした。
- 問題文（文章）が長いと感じましたが、子どもたちの日々の読書量や読解の力が問われていると思います。
- 生徒が時間内に解答できる適正な出題数であった。
- △文章を読むことが大変な生徒も多いので、問題が長すぎる気がしました。（1年）
- △出題量をもう少し増やしてもよいかと思いました。（1年）
- △長文の本文が少し長いように思いますが、いかがでしょうか。生徒の力にもよるのですが、本文が読み切れなかったという声を耳にしました。

（3）出題内容の妥当性について

【第1学年】

- △漢字の書き取りで、熟語の場合は一部のみを解答させるのではなく、全体を書かせる様にした方がよいのではないかと思います。
- △問二ア 1. 驚異的→「きょういてき」と答えているものが多いです。問題文を変更すれば、こういう間違いが減ると思われます。
- △行書の形を問う問題は、なくてもよかったのではないか。
- △問三 この時期、行書の問題は早いのではないか。
- △問三 楷書と行書の違いを問うものですが、あまりにも易し過ぎるように感じました。
- △教科書通りにきちんと扱くと、「科学」まで進むのは難しいです。
- △部首名を問う問い方は、クイズのようにする必要はないのではないか。
- △問四ア 「この部分からわかること…」の問いかけですが、「この表現から読み取れ

ること…」の方が自然ではないかと思えます。

△問六ア 選択肢が紛らわしく感じた生徒が多かったように思います。

【第2学年】

△漢字「てへん」の許容で、横2本が平行だと×とあり、はねは許容。平行にこだわるのは筆順とのかねあいだとも考えられるが、ならば「はね」にもこだわるべき。平行ということだけにこだわるのはいかながなものか。また、書き5問の中に「てへん」の漢字が2問入るといふのもいかながなものか。

△漢字の書きとりについて 「手偏」の一面目と三画目が平行になっているものを誤答にするのは厳しいのではないか。また、問4と問5と連続で出題されているのは疑問を感じます。

△問二オ 「大事だ」を名詞+助詞とまちがえても答えはあってしまう。出題の仕方に工夫を加えるとよい。

△問三 ⑤の短歌はイメージするのが難しく、問題として使うのはどうかと思う。（正答には使われていないが…。）

④「をちこち」も注釈が必要。

△問五ウ 段落の後に一文を入れるが、番号ではなく、問題文にあるa～dで答えている。

△問六 古文の最後の一文が理解しにくい。少し〔注〕で補足してもいいと思われる。

△問六 出題範囲は中一の古典のはずですが、難易度が高すぎると思います。大人でもこの本文からおもしろさを読みとるのは難しいのではないのでしょうか。

△問六のイの選択肢3, 4は、エの問題とも重なるので、さけた方がよいのではないか。

△古典が難解だったように思います。

△全体的に問う内容が重複している。（問3アとウのD、問4オとカ、問5オとキとクなど）

【第3学年】

○漢字の読み書きが、よく考えて出題されていました。

△漢字はやや難しいと感じました。

△漢字の出題について、もう少し日常的に使う語だとより良いと思います。

△出題範囲でするので妥当性を欠くとは言えませんが、「携帯」以外は生徒たちの生活からかけはなれた出題だったように思います。

△問六ア 主語を選ばせる問題はやや難。高校生でもまちがえやすい箇所である。

△問六の出題文が3年生として妥当か。ウの注となっている箇所が仮名遣いのなおしになっているのはどうなのか。

△古典の歴史的仮名づかいの問題は、3年生の問題として妥当であるか。

【全体】

○日常的に使う漢字が出題されていて、生徒の力を図る良い内容でした。

○出題のねらいに見合った内容で、いずれも良問であった。

△漢字の難易度が例年より高く感じました。

△漢字の問題を、日常生活の中でももう少し頻度の高いものを出題した方がよいと思います。

(4) 配点の妥当性について

- 1年生の解答欄が見やすく、採点しやすい配置になっていたのととてもスムーズに採点することができました。
- 難易度が考慮された妥当な配点であった。

(5) その他

- 全体についてきちんと配慮がなされており、良問だと思いました。
- 漢字の書字の許容についても、生徒の指導の良い指針となりました。
- △採点の漢字の留意事項では、許容するものの基準が甘いものもある。(例「てへん」のはね、他とめている箇所など)漢字の意味にも関わってくるので再度検討をおねがいします。
- △書字の採点基準「てへん」については、はねているもの、微妙に傾斜のあるものなど、難しい部分もありました。
- △2年は「てへん」、3年は「さんずい」と同じ部首の漢字が2つ出題された。とくに「てへん」はどこまでを許容にするか迷った。5題しかない書きなので、部首も別々になるようお考えいただけないか。
- △説明的文章の、一文を当てはめる問題で、番号ではなく記号で答えてしまう生徒が目立った。(〔a〕〔b〕等の記号がとても目立つので、勘違いをしてしまった生徒がいたと推察されます)解答をする際の工夫をお願いしたい。
- △三省堂の試験範囲の漢字の指示をもう少し明確にしてほしい。「言葉のひろば」の何ページまでが範囲なのか。(1～3年)
- △1年生の文法で文節がでていたが、三省堂はp.118にあり、この時期に必ず学習済みとは限らないので、出題範囲をもう少し明確にしてほしい。

6. 来年度にむけて

今年度の結果から、日常の指導の中で育成していくことが必要な力として、次のような課題が挙げられる。

- 文章全体の構成をとらえながら、述べられている中心的内容をつかむ力を向上させること。
 - 細かな描写や表現上の工夫、情景・心情を豊かに思い描く力を身につけること。
 - 漢字一字一字がもつ意味や読みを確実に身につけ、文脈に沿って読んだり書いたりする力、特に、書字についてはより多くの漢字を習得できるようにすること。
- したがって、これらの力をみることのできる問題を、今後も引き続き出題の傾向として考えていくことが必要だと考える。

一方、今年度の作問過程で生じた疑問や各校から提出されたアンケートから、次のような課題も挙がっている。

- 漢字の読み・書き問題における難易度、また書字の出題範囲について。
- 漢字の採点基準、許容について。
- 言語に関する知識の、既習事項の出題について。
- 2社の教科書採択に起因する出題調整について。

なお、上記一番目と二番目の課題については、五教科調査委員会の参考意見を述べさせていただきます。

- ・漢字の読み・書き問題については、「日常的に使われるものを」という意見をいただくが、「日常的」の線引きは、指導者、生徒一人ひとりによって異なると考えている。作問の際に極力努力していくが、出題範囲、学ぶべき漢字がある限り、身に付くまでは同じ重さで学習するべきではないだろうか。
- ・漢字の採点基準については、平成22年12月10日付で各校に、「常用漢字表の改定に伴う中学校学習指導要領の一部改正等及び小学校、中学校、高等学校等における漢字の指導について（通知）」が配布された。ぜひ参照していただきたい。

新学習指導要領の完全実施が迫ってきた。来年度は、「検査の目的・趣旨」に即しつつも、今年度以上に「新指」の内容を意識した出題を検討していくことが課題となるだろう。

平成 22 年度

川崎市立中学校 学習診断テスト 社会科

誤答分析と学習指導上の考察

川崎市教育委員会
川崎市立中学校長会
社会科調査委員会

1. 作問にあたって

(1) 学習指導要領に示されている社会科の目標および内容の基礎的・基本的な事項について、いかに生徒に定着しているかを、観点別に調査・診断することを意図して問題を作成した。

(2) 作問は、本市使用の教科書を中心に行った。

(3) 出題の傾向

◎ 第1学年は、平成24年度に全面実施される学習指導要領に示されているもののうち、その移行期間の措置として本年度4月から10月までの学習内容について出題した。

◎ 第2学年は、学習指導要領に示されているもののうち、前年度11月から本年度10月までの学習内容について出題した。地理的分野では、身近な地域(川崎市・神奈川県)と関連する内容について出題した。時事的事項も取り入れた。

◎ 第3学年は、学習指導要領に示されているもののうち、前年度11月から本年度10月までの学習内容について出題した。時事的事項も取り入れた。

なお、出題範囲の決定にあたり、各学校より提出された学習指導に関するアンケート調査の集計結果を参考にした。

<誤答分析の表記について>

「考察」について、80%以上を「十分」、60～79%を「一応」、35～59%を「やや不十分」、34%以下を「不十分」の言葉を用いて表記した。また、各問題の観点・内容にあわせた文章を作成し、特別な間違いについても記述した。

.....
問題用紙写真提供

相川考古館／東京国立博物館／向日市文化資料館／奈良文化財研究所／アマナイメーヅ／PANA／ジェノバ市立海事博物館／高台寺／宮内庁三の丸尚蔵館／会津若松市／滋賀大学経済学部附属史料館／長崎歴史文化博物館／京都大学附属図書館／神戸市立博物館／徳川美術館／国立国会図書館／財団法人東洋文庫／国立劇場／田原市／人間文化研究機構国文学研究資料館／サンフォト／慶應義塾図書館／水産航空／毎日新聞社／朝日新聞社／AMDA／日本近代文学館／最高裁判所／法務省／日本弁護士連合会／共同通信社／CPC／独立行政法人国立公文書館／AFP＝時事／悠工房

2. 小問ごとの観点・ねらい・正答率

中学校第1学年社会

No	問題番号		正答	観点		問題の内容	出題のねらい	正答率(%)
	大問	小問		社会的な思考・判断	資料活用の技能・表現			
1	(ア)		道真/どうぐ(漢字かなまじり可)	○	◎		人類の発生とその発達について、資料を活用する力を問う。	78
2	(イ)	2		○			東アジアにおこった文明について、正しく理解しているかを問う。	81
3	(ウ)	1		◎	○		縄文時代の日本の様子について、正しく判断し理解しているかを問う。	31
4	(エ)	4			◎	①原始・古代の日本と世界	1世紀のわが国と東アジアとの関係について、資料を活用する力を問う。	29
5	(オ)	4	卑弥呼/ひみこ(漢字かなまじり可)	◎	○		邪馬台国の女王について、正しく理解しているかを問う。	86
6	(カ)	4		◎	○		古墳時代の政治について、正しく判断し理解しているかを問う。	60
7	(キ)	2		○	◎		古墳のまわりにならべられた埴輪について、資料を活用する力を問う。	90
8	(ク)	3		○	◎		渡来人が古代の日本に与えた影響について、正しく理解しているかを問う。	50
9	(ケ)	3		○	◎		聖徳太子の政治について、資料を活用する力を問う。	72
10	(イ)	1		○	◎		平安時代の仏教について、正しく理解しているかを問う。	49
11	(ウ)	3		○	◎		大化の改新について、正しく判断し理解しているかを問う。	87
12	(エ)	2		○	◎		聖武天皇について、正しく判断し理解しているかを問う。	63
13	(オ)	1		○	◎	②古代から中世の日本	桓武天皇について、正しく理解しているかを問う。	62
14	(カ)	4		○	◎		摂関政治について、正しく理解しているかを問う。	77
15	(キ)	2		○	◎		平氏が政権を握ったことについて、正しく理解しているかを問う。	35
16	(ク)	2		◎	○		律令制の社会のしくみについて、正しく判断し理解しているかを問う。	35
17	(ケ)	1		◎	○		平安時代の国風文化について、正しく判断し理解しているかを問う。	22
18	(ア)		源頼朝/みなもとのよりとも(漢字かなまじり可)	○	◎		鎌倉幕府の成立について、正しく理解しているかを問う。	54
19	(イ)	1		○	◎	③中世の日本と世界	鎌倉幕府の封建制度について、資料を活用し正しく理解しているかを問う。	60
20	(ウ)	4		○	◎		鎌倉幕府のしくみについて、正しく理解しているかを問う。	46
21	(エ)	4		○	◎		承久の乱後に設置された六波羅探題について、正しく理解しているかを問う。	51
22	(オ)	2		◎	○		元寇後の鎌倉時代の様子について、正しく判断し理解しているかを問う。	54
23	(カ)	1		◎	○		鎌倉仏教について、正しく判断し理解しているかを問う。	56
24	(ア)		稲作/いなさく(漢字かなまじり可)	◎	○	④原始から古代の農生活	縄文時代と弥生時代の生活の変化について、正しく判断し理解しているかを問う。	56
25	(イ)	3			◎		律令国家のもとの貴族の生活について、資料を活用し正しく理解しているかを問う。	37
26	(ア)	2		◎	◎		海洋と大陸について、資料を活用する力を問う。	49
27	(イ)	3			◎		陸地と海洋の面積について、正しく理解しているかを問う。	87
28	(ウ)	3		◎	◎		赤道の位置について、資料を活用する力を問う。	63
29	(エ)	1		○	◎	⑤世界の地域構成	南半球の気候について、資料を活用する力を問う。	65
30	(オ)	4	南アフリカ(共和国)		◎		世界の国の名称について、正しく理解しているかを問う。	49
31	(カ)	4	え		◎		地球上の対蹠点について、資料を活用する力を問う。	47
32	(キ)	4			○		州に所属する国について、正しく理解しているかを問う。	63
33	(ク)	2		◎	◎		面積と人口について、資料を活用する力を問う。	57
34	(ケ)	1		○	◎		経線と内陸国・島国について、正しく理解しているかを問う。	51
35	(ア)	1		◎	◎		ヨーロッパの風景について、資料を活用する力を問う。	67
36	(イ)	2		◎	◎		寒い地域の生活の特色について、資料を活用する力を問う。	66
37	(ウ)	4		◎	◎		アジアの伝統衣装について、資料を活用する力を問う。	91
38	(エ)	1		◎	◎	⑥世界各地の人々の生活と環境	暑い地域の生活の特色について、資料を活用する力を問う。	42
39	(オ)	4		◎	◎		オセアニア州の歴史的背景について、正しく判断し理解しているかを問う。	89
40	(カ)	2			◎		伝統的料理について、資料を活用する力を問う。	59
41	(キ)	2		◎	◎		インドの食習慣について、資料を活用する力を問う。	71
42	(ク)		イスラム(教)(カタカナのみ可)	○	◎		イスラム教の特徴と分布について、資料を活用する力を問う。	60
43	(ア)	3		○	◎		アジア発祥の文化について、正しく理解しているかを問う。	79
44	(イ)	3		◎	◎	⑦世界の諸地域(アジア)	アジアの人口と面積について、正しく判断し理解しているかを問う。	49
45	(ウ)	3		◎	◎		アジアの農業について、正しく判断し理解しているかを問う。	75
46	(エ)	4		◎	◎		アジアの貿易について、正しく判断し理解しているかを問う。	86
47	(ア)	4			◎		EUの通貨について、正しく理解しているかを問う。	88
48	(イ)	1		◎	◎	⑧世界の諸地域(ヨーロッパ)	ヨーロッパの労働者の移動について、正しく判断し理解しているかを問う。	75
49	(ウ)	3		◎	◎		ヨーロッパの環境保護について、正しく判断し理解しているかを問う。	54
50	(エ)	1		◎	◎		ヨーロッパの貿易について、正しく判断し理解しているかを問う。	83

◎…主たる観点

中学校第2学年社会

No	問題番号		正答 (選択式→番号、記述式→言葉)	観点			問題の内容	出題のねらい	正答率(%)
	大問	小問		社会的な思考・判断	資料活用の技能・表現	社会的事象についての知識・理解			
1		(ア)	1	○	◎	◎	①安土桃山時代	新航路の発見について、正しく地図を読み取り、適切に判断できるかを問う。	34
2		(イ)	3		◎	○		豊臣秀吉の政策について、内容を理解し、資料から読み取れるかを問う。	80
3		(ウ)	2		○	◎		桃山文化の代表的な人物について、資料を活用し、正しく理解しているかを問う。	53
4	1	(エ)	4	◎	○			江戸幕府における大名の統制について、資料を活用し、正しく判断できるかを問う。	70
5		(オ)	出島/でじま(漢字かなまじり可)			◎		江戸時代における鎖国下の交易・交流について、正しく理解しているかを問う。	61
6		(カ)	1	○	◎	◎		運政年使節について、適切に判断し、資料を選択できるかを問う。	65
7		(ア)	アヘン(戦争)(カタカナのみ可)		○	◎		アヘン戦争について、資料を参考し正しく理解しているかを問う。	75
8		(イ)	3		◎	◎		江戸時代における船主との関係について、正しく理解しているかを問う。	45
9		(ウ)	4	○		◎		享保の改革について、正しく理解し、適切に判断できるかを問う。	46
10		(エ)	2		◎	◎		ペリーの来航地について、正しく理解し、地図中から読み取れるかを問う。	74
11	2	(オ)	2		◎	◎		アメリカの独立戦争について、正しく理解しているかを問う。	76
12		(カ)	4		◎	○		元禄文化の特色と代表的な人物について、資料を活用し、正しく理解しているかを問う。	70
13		(キ)	寺子屋/てらこや(漢字かなまじり可)		○	◎		江戸時代の寺子屋について、資料を活用し、正しく理解しているかを問う。	54
14		(ク)	3		◎	◎		イギリスの産業革命について、正しく理解しているかを問う。	68
15		(ア)	4	◎				尊皇攘夷運動について、適切に判断できるかを問う。	46
16		(イ)	1		◎			戊辰戦争について、資料を活用し、地図中から読み取れるかを問う。	30
17	3	(ウ)	1		◎	○		新政府の諸改革について、内容を正しく理解し、適切に判断できるかを問う。	48
18		(エ)	2		◎	○		地租改正について、資料を活用し、適切に判断できるかを問う。	79
19		(オ)	3			◎		欧米視察団の内容について、正しく理解しているかを問う。	84
20		(ア)	2		◎	○		議会政治の始まりについて、時代の流れを理解し、正しく並び替えられるかを問う。	38
21		(イ)	1		◎	○		日清戦争前の朝鮮半島のように、正しく理解し、適切に判断できるかを問う。	12
22	4	(ウ)	4		○	◎		下関条約の内容について、正しく理解し、適切に判断できるかを問う。	72
23		(エ)	4		◎	◎		日本の社主義運動に関わる人物について、正しく理解しているかを問う。	43
24		(オ)	2		○	◎		明治時代の文化人について、資料を活用し、適切に判断できるかを問う。	83
25		(カ)	3			◎		条約改正の達成の背景について、正しく理解しているかを問う。	76
26		(ア)	3		◎			神奈川県気候と降水量について、資料を読み取り、正しく判断できるかを問う。	80
27		(イ)	1			◎		神奈川県人口構成の特色について、資料から読み取れるかを問う。	53
28		(ウ)	4			◎		神奈川県と近隣の都府県との位置関係を理解しているかを問う。	64
29	5	(エ)	2			◎		新しい政令指定都市について、理解しているかを問う。	66
30		(オ)	3		◎			神奈川県地形と農業地域について、資料を読み取り、正しく判断できるかを問う。	54
31		(カ)	3			◎		神奈川県工業の特色について、資料から読み取れるかを問う。	63
32		(キ)	京浜/けいひん(工業地帯) (漢字かなまじり可)			◎		資料にあてはまる工業地帯について、理解しているかを問う。	38
33		(ア)	2		◎			沖縄県の気候について、資料を選択できるかを問う。	76
34		(イ)	台風(漢字2字)		◎	◎		沖縄県でおこる自然災害について、理解しているかを問う。	85
35		(ウ)	3		◎	◎		沖縄県の人口構成の特色について、資料から読み取れるかを問う。	80
36	6	(エ)	4			◎		沖縄県とアジア各都市のむすびつきについて、その特色を資料から読み取れるかを問う。	62
37		(オ)	1			◎		沖縄県の土地利用について、資料を読み取り、正しく判断できるかを問う。	50
38		(カ)	4			◎		沖縄県の産業構造の特色について、資料から読み取れるかを問う。	78
39		(イ)	1		◎	○		中国の気候について、資料をもとにあてはまる場所を判断できるかを問う。	61
40		(ウ)	4		◎	◎		中国の人口の特色について、資料を読み取り、正しく判断できるかを問う。	64
41		(ウ)	3			◎		中国と日本の貿易の特色について、資料から読み取れるかを問う。	32
42		(エ)	上海/シャンハイ(漢字かなまじり可)			◎		中国のおもな都市について、理解しているかを問う。	58
43		(オ)	2			◎		中国の農業の特色について、資料から読み取れるかを問う。	51
44		(カ)	1		◎	◎		中国の工業の特色について、資料を読み取り、正しく判断できるかを問う。	50
45		(ア)	1		◎	○		アメリカ合衆国の地形の特色について、判断できるかを問う。	42
46		(イ)	ヒスパニック(カタカナのみ可)			◎		アメリカ合衆国の人種・民族について、理解しているかを問う。	43
47		(ウ)	2		◎	◎		アメリカ合衆国の貿易について、資料を読み取り、正しく判断できるかを問う。	44
48		(エ)	3		◎	◎		アメリカ合衆国の気候と農業地域について、資料を読み取り、正しく判断できるかを問う。	64
49		(オ)	1		○	◎		アメリカ合衆国の工業について、資料を選択できるかを問う。	46
50		(カ)	2			◎		アメリカ合衆国の文化について、理解しているかを問う。	77

◎…主たる観点

中学校第3学年社会

No	問題番号		正答 (選択式・番号、記述式・言葉)	観点			問題の内容	出題のねらい	正答率(%)
	大問	中問		小問	社会的な思考・判断	資料活用の技能・表現			
1		(ア)	3	◎		○	①現代日本の歩みと私たちの生活	日本の高度経済成長について、内容を正しく判断する力を問う。	86
2		(イ)	1			◎		日本とアメリカの貿易摩擦について、理解しているかを問う。	91
3	1	(ウ)	3			◎		NGOがどのような組織なのか、理解しているかを問う。	60
4		(エ)	3			◎		日本の核家族世帯の増加を、資料から正しく読み取る力を問う。	93
5		(オ)	4			◎		家族の中の65歳以上の人の数と割合を、資料から正しく読み取る力を問う。	78
6		(ア)	3	◎		○		天皇の国事行為について、内容を正しく判断する力を問う。	65
7		(イ)	3			◎		治安維持法について、資料から正しく読み取る力を問う。	67
8		(ウ)	2			◎		男女共同参画社会基本法について、資料から正しく読み取る力を問う。	67
9		(エ)	4			○		基本的人権の尊重について、内容を正しく判断する力を問う。	69
10	2	(オ)	2	◎		◎		平和主義について、内容を正しく判断する力を問う。	71
11		(カ)	4			○		生存権について、理解しているかを問う。	95
12		(キ)	公共の福祉／こうきよほうのふくし (漢字かなまじり可)			○		公共の福祉について、理解しているかを問う。	39
13		(ク)	1			◎		自己決定権について、資料から正しく読み取る力を問う。	92
14		(ア)	4			◎		国会の仕事について、理解しているかを問う。	55
15		(イ)	3			○		参議院について、内容を正しく判断する力を問う。	64
16		(ウ)	連立／れんりつ(政権) (漢字かなまじり可)			◎		連立政権について、理解しているかを問う。	45
17		(エ)	2	◎		○		衆議院の優越の理由について、内容を正しく判断する力を問う。	88
18	3	(オ)	3			○		内閣の仕事について、理解しているかを問う。	35
19		(カ)	1			◎		議院内閣制について、内容を正しく判断する力を問う。	66
20		(キ)	2			◎		三審制について、理解しているかを問う。	72
21		(ク)	裁判員／さいばいん(制度) (漢字かなまじり可)			◎		裁判員制度について、資料から正しく読み取る力を問う。	79
22		(ア)	4			◎		住民投票について、資料から正しく読み取る力を問う。	71
23		(イ)	1			◎		地方自治の仕事について、内容を正しく判断する力を問う。	53
24		(ウ)	2			◎		地方自治の選挙権、被選挙権について、正しく理解しているかを問う。	88
25		(エ)	4			◎		オゾン層減少について、資料から正しく読み取る力を問う。	71
26		(ア)	3			◎		第一次世界大戦が起きたころの国際関係について、正しく理解しているかを問う。	40
27		(イ)	1			◎		国際平和へ向けての取り組みについて、適切に判断し、理解しているかを問う。	58
28		(ウ)	2			○		朝鮮半島で起こった民衆運動について、資料を読み取り、理解しているかを問う。	46
29	5	(エ)	4			◎		世界恐慌の各国の対策について、適切に判断し、理解しているかを問う。	55
30		(オ)	4			○		政府の統制による国民生活の変化について、資料を読み取り、理解しているかを問う。	51
31		(カ)	3			◎		原子爆弾が投下された都市の位置について、理解しているかを問う。	86
32		(キ)	2			◎		政党政治を表現しようとする意識運動について、適切に判断し、理解しているかを問う。	33
33		(ク)	4			◎		日中関係のできごとについて、正しい順に並び替えることができるかを問う。	28
34		(ア)	3			◎		戦後の民主化政策について、理解しているかを問う。	40
35		(イ)	2			◎		日米安全保障条約について、適切に判断し、理解しているかを問う。	57
36	6	(ウ)	東海道／とうかいどう (漢字かなまじり可)			○		高度経済成長のころの交通の発達について、資料を読み取り、理解しているかを問う。	55
37		(エ)	2			○		冷戦下の東西の対立について、適切に判断し、理解しているかを問う。	26
38		(ア)	4			◎		冷戦後の世界のできごとについて、理解しているかを問う。	69
39		(ア)	3			◎		環太平洋造船山帯について、理解しているかを問う。	68
40		(イ)	1			◎		日本の自然災害について、理解しているかを問う。	42
41		(ウ)	2			◎		世界の人口構成について、資料を読み取る力を問う。	52
42		(エ)	2			◎		日本の人口について、資料を読み取る力を問う。	66
43		(オ)	3			◎		世界の発電について、資料を読み取る力を問う。	43
44		(カ)	1			◎		日本のエネルギー輸入について、資料を読み取る力を問う。	67
45		(キ)	2			◎		日本の企業の世界進出について、資料を読み取り、適切に判断しているかを問う。	70
46		(ア)	1			◎		日本の農業の課題について、理解しているかを問う。	66
47		(イ)	4			○		日本の第三次産業について、資料を読み取り、適切に判断しているかを問う。	28
48		(ウ)	1			◎		日本の交通の変化について、資料を読み取る力を問う。	24
49		(エ)	3			◎		日本の漁業について、資料を読み取り、適切に判断しているかを問う。	86
50		(オ)	1			◎		日本の文化について、理解しているかを問う。	91

◎…主たる観点

3. 出題のねらい

平成22年度 川崎市立中学校学習診断テスト 出題のねらい

社会科（第1学年 歴史的分野）

大問	小問	思	技	知	内 容
問1	ア	○	◎		人類の発生とその発達について、資料を活用する力を問う。
	イ	○		◎	東アジアにおこった文明について、正しく理解しているかを問う。
	ウ	◎		○	縄文時代の日本の様子について、正しく判断し理解しているかを問う。
	エ		◎	○	1世紀のわが国と東アジアとの関係について、資料を活用する力を問う。
	オ			◎	邪馬台国の女王について、正しく理解しているかを問う。
	カ	◎		○	古墳時代の政治について、正しく判断し理解しているかを問う。
	キ		◎	○	古墳のまわりにならべられた埴輪について、資料を活用する力を問う。
	ク	○		◎	渡来人が古代の日本に与えた影響について、正しく理解しているかを問う。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 原始・古代までの日本と東アジアの特徴やできごとを、資料を読み取り、正しく判断し、理解しているかを見ることをねらいとしている。 </div>					
問2	ア			◎	聖徳太子の政治について、資料を活用する力を問う。
	イ	○		◎	平安時代の仏教について、正しく理解しているかを問う。
	ウ	○		◎	大化の改新について、正しく判断し理解しているかを問う。
	エ	○		◎	聖武天皇について、正しく判断し理解しているかを問う。
	オ	○		◎	桓武天皇について、正しく理解しているかを問う。
	カ	○		◎	摂関政治について、正しく理解しているかを問う。
	キ	○		◎	平氏が政権を握ったことについて、正しく理解しているかを問う。
	ク	◎		○	律令制の社会のしくみについて、正しく判断し理解しているかを問う。
ケ	◎	○		平安時代の国風文化について、正しく判断し理解しているかを問う。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 飛鳥時代から平安時代までの各時代の特徴やしくみを、資料を読み取り、正しく判断し、理解しているかを見ることをねらいとしている。 </div>					
問3	ア		○	◎	鎌倉幕府の成立について、正しく理解しているかを問う。
	イ	○	◎		鎌倉幕府の封建制度について、資料を活用し正しく理解しているかを問う。
	ウ	○		◎	鎌倉幕府のしくみについて、正しく理解しているかを問う。
	エ	○		◎	承久の乱後に設置された六波羅探題について、正しく理解しているかを問う。
	オ	◎		○	元寇後の鎌倉時代のようにすについて、正しく判断し理解しているかを問う。
	カ	◎		○	鎌倉仏教について、正しく判断し理解しているかを問う。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 武家の政治が展開された鎌倉時代の特徴やしくみを、資料を読み取り、正しく判断し、理解しているかを見ることをねらいとしている。 </div>					
問4	ア	◎	○		縄文時代と弥生時代の生活の変化について、正しく判断し理解しているかを問う。
	イ		◎	○	律令国家のもとでの貴族の生活について、資料を活用し正しく理解しているかを問う。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 原始から古代までの日本の生活について、資料を読み取り、正しく判断し、理解しているかを見ることをねらいとしている。 </div>					

社会科（第1学年 地理的分野）

大問	小問	思	技	知	内 容
問5	ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ	◎ ◎ ◎ ○◎ ◎ ◎ ○◎ ◎ ○◎	○ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	<p>海洋と大陸について、資料を活用する力を問う。</p> <p>陸地と海洋の面積について、正しく理解しているかを問う。</p> <p>赤道の位置について、資料を活用する力を問う。</p> <p>南半球の気候について、資料を活用する力を問う。</p> <p>世界の国の名称について、正しく理解しているかを問う。</p> <p>地球上の対蹠点について、資料を活用する力を問う。</p> <p>州に所属する国について、正しく理解しているかを問う。</p> <p>面積と人口について、資料を活用する力を問う。</p> <p>経線と内陸国・島国について、正しく理解しているかを問う。</p>
<p>世界の地域構成に関して、緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置、地域区分などについて資料を活用し、正しく判断し、理解しているかをみることをねらいとしている。</p>					
問6	ア イ ウ エ オ カ キ ク	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ○◎	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ◎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	<p>ヨーロッパの風景について、資料を活用する力を問う。</p> <p>寒い地域の生活の特色について、資料を活用する力を問う。</p> <p>アジアの伝統衣装について、資料を活用する力を問う。</p> <p>暑い地域の生活の特色について、資料を活用する力を問う。</p> <p>オセアニア州の歴史的背景について、正しく判断し理解しているかを問う。</p> <p>伝統的料理について、資料を活用する力を問う。</p> <p>インドの食習慣について、資料を活用する力を問う。</p> <p>イスラム教の特徴と分布について、資料を活用する力を問う。</p>
<p>世界各地の人々の生活と環境に関して、世界各地における人々の生活の様子とその変容について、自然及び社会的条件と関連付けて資料を活用し、正しく判断し、理解しているかをみることをねらいとしている。</p>					
問7	ア イ ウ エ	○ ◎ ◎ ◎	◎ ○ ○ ○	◎ ◎ ◎ ◎	<p>アジア発祥の文化について、正しく理解しているかを問う。</p> <p>アジアの人口と面積について、正しく判断し理解しているかを問う。</p> <p>アジアの農業について、正しく判断し理解しているかを問う。</p> <p>アジアの貿易について、正しく判断し理解しているかを問う。</p>
<p>世界の諸地域に関して、アジア州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、地域的特色について資料を活用し、正しく判断し、理解しているかをみることをねらいとしている。</p>					
問8	ア イ ウ エ	◎ ◎ ◎ ◎	○ ○ ○ ○	◎ ◎ ◎ ◎	<p>EUの通貨について、正しく理解しているかを問う。</p> <p>ヨーロッパの労働者の移動について、正しく判断し理解しているかを問う。</p> <p>ヨーロッパの環境保護について、正しく判断し理解しているかを問う。</p> <p>ヨーロッパの貿易について、正しく判断し理解しているかを問う。</p>
<p>世界の諸地域に関して、ヨーロッパ州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、地域的特色について資料を活用し、正しく判断し、理解しているかをみることをねらいとしている。</p>					

平成22年度 川崎市立中学校学習診断テスト 出題のねらい

社会科（第2学年 歴史的分野）

大問	小問	思	技	知	内 容
問1	ア	○	◎		新航路の発見について、正しく地図を読み取り、適切に判断できるかを問う。
	イ		◎	○	豊臣秀吉の政策について、内容を理解し、資料から読み取れるかを問う。
	ウ		○	◎	桃山文化の代表的な人物について、資料を活用し、正しく理解しているかを問う。
	エ	◎	○		江戸幕府における大名の統制について、資料を活用し、正しく判断できるかを問う。
	オ			◎	江戸時代における鎖国下の交易・交流について、正しく理解しているかを問う。
	カ	○	◎		遣欧少年使節について、適切に判断し、資料を選択できるかを問う。
	近世の日本と世界に関する政策や社会のようす、文化の特色などについて、正しく判断し、適切に資料を選択し、理解しているかをみることをねらいとしている。				
問2	ア		○	◎	アヘン戦争について、資料を参考に正しく理解しているかを問う。
	イ			◎	江戸時代における蝦夷地との関係について、正しく理解しているかを問う。
	ウ	○		◎	享保の改革について、正しく理解し、適切に判断できるかを問う。
	エ		◎	○	ペリーの来航地について、正しく理解し、地図中から読み取れるかを問う。
	オ			◎	アメリカの独立戦争について、正しく理解しているかを問う。
	カ		◎	○	元禄文化の特色と代表的な人物について、資料を活用し、正しく理解しているかを問う。
	ク		○	◎	江戸時代の寺子屋について、資料を活用し、正しく理解しているかを問う。
17～19世紀の日本と世界に関する政治や外交、社会のようす、文化などについて、正しく判断し、適切に資料を選択し、理解しているかをみることをねらいとしている。					
問3	ア	◎			尊皇攘夷運動について、適切に判断できるかを問う。
	イ		◎		戊辰戦争について、資料を活用し、地図中から読み取れるかを問う。
	ウ	◎		○	新政府の諸改革について、内容を正しく理解し、適切に判断できるかを問う。
	エ	◎	○		地租改正について、資料を活用し、適切に判断できるかを問う。
	オ			◎	欧米視察団の内容について、正しく理解しているかを問う。
幕末から明治初期の社会の動きや新政府の政策について、正しく判断し、適切に資料を選択し、理解しているかをみることをねらいとしている。					
問4	ア	◎		○	議会政治の始まりについて、時代の流れを理解し、正しく並び替えられるかを問う。
	イ	◎		○	日清戦争前の朝鮮半島のようすについて、正しく理解し、適切に判断できるかを問う。
	ウ		○	◎	下関条約の内容について、正しく理解し、適切に判断できるかを問う。
	エ			◎	日本の社会主義運動に関わる人物について、正しく理解しているかを問う。
	オ	○	◎		明治時代の文化人について、資料を活用し、適切に判断できるかを問う。
	カ			◎	条約改正の達成の背景について、正しく理解しているかを問う。
近代日本の歩みについて、明治政府の政策や外交、社会のようすや文化の発達などの面から正しく判断し、適切に資料を選択し、理解しているかをみることをねらいとしている。					

社会科（第2学年 地理的分野）

大問	小問	思	技	知	内 容
問5	ア	◎			神奈川県気温と降水量について、資料を読み取り、正しく判断できるかを問う。 神奈川県人口構成の特色について、資料から読み取れるかを問う。 神奈川県と近隣の都県の位置関係を理解しているかを問う。 新しい政令指定都市について、理解しているかを問う。 神奈川県地形と農業地域について、資料を読み取り、正しく判断できるかを問う。 神奈川の工業の特色について、資料から読み取れるかを問う。 資料にあてはまる工業地帯について、理解しているかを問う。
	イ		◎		
	ウ			◎	
	エ			◎	
	オ	◎			
	カ		◎		
	キ			◎	
神奈川県自然環境や歴史、産業について、資料を正しく読み取り、適切に判断し、理解しているかをみることをねらいとしている。					
問6	ア	○	◎		沖縄県気候について、資料を選択できるかを問う。 沖縄県で起こる自然災害について、理解しているかを問う。 沖縄県人口構成の特色について、資料から読み取れるかを問う。 沖縄県とアジア各都市のむすびつきについて、その特色を資料から読み取れるかを問う。 沖縄県土地利用について、資料を読み取り、正しく判断できるかを問う。 沖縄県産業構造の特色について、資料から読み取れるかを問う。
	イ			◎	
	ウ		◎		
	エ		◎		
	オ	◎			
	カ			◎	
沖縄県自然環境や歴史、産業について、資料を正しく読み取り、適切に判断し、理解しているかをみることをねらいとしている。					
問7	ア	◎	○		中国気候について、資料をもとにあてはまる場所を判断できるかを問う。 中国人口の特色について、資料を読み取り、正しく判断できるかを問う。 中国と日本の貿易の特色について、資料から読み取れるかを問う。 中国のおもな都市について、理解しているかを問う。 中国の農業の特色について、資料から読み取れるかを問う。 中国の工業の特色について、資料を読み取り、正しく判断できるかを問う。
	イ	◎			
	ウ		◎		
	エ			◎	
	オ		◎		
	カ	◎			
中国自然環境や歴史、産業について、資料を正しく読み取り、適切に判断し、理解しているかをみることをねらいとしている。					
問8	ア	◎	○		アメリカ合衆国地形の特色について、判断できるかを問う。 アメリカ合衆国人種・民族について、理解しているかを問う。 アメリカ合衆国貿易について、資料を読み取り、正しく判断できるかを問う。 アメリカ合衆国気候と農業地域について、資料を読み取り、正しく判断できるかを問う。 アメリカ合衆国工業について、資料を選択できるかを問う。 アメリカ合衆国文化について、理解しているかを問う。
	イ			◎	
	ウ	◎			
	エ	◎			
	オ	○	◎		
	カ			◎	
アメリカ合衆国自然環境や歴史、産業について、資料を正しく読み取り、適切に判断し、理解しているかをみることをねらいとしている。					

平成22年度 川崎市立中学校学習診断テスト 出題のねらい

社会科（第3学年 公民的分野）

大問	小問	思	技	知	内 容
問1	ア	◎		○	日本の高度経済成長について、内容を正しく判断する力を問う。
	イ			◎	日本とアメリカの貿易摩擦について、理解しているかを問う。
	ウ			◎	NGOがどのような組織なのか、理解しているかを問う。
	エ	◎			日本の核家族世帯数の変化を、資料から正しく読み取る力を問う。
	オ	○◎			家族の中の65歳以上の人の数と割合を、資料から正しく読み取る力を問う。
移り変わる社会と私たちの暮らしについて、高度経済成長・貿易問題・NGOの諸問題を適切に判断し、理解しているかをみることをねらいとしている。					
問2	ア	◎		○	天皇の国事行為について、内容を正しく判断する力を問う。
	イ		◎	○	治安維持法について、資料から正しく読み取る力を問う。
	ウ		◎	○	男女共同参画社会基本法について、資料から正しく読み取る力を問う。
	エ	◎	○		基本的人権の尊重について、内容を正しく判断する力を問う。
	オ	◎			平和主義について、内容を正しく判断する力を問う。
	カ		○◎		生存権について、理解しているかを問う。
	キ		○◎		公共の福祉について、理解しているかを問う。
	ク		◎		自己決定権について、資料から正しく読み取る力を問う。
暮らしの中に生きる憲法について、その内容を資料から読み取り、内容を適切に判断し、理解しているかをみることをねらいとしている。					
問3	ア	○		◎	国会の仕事について、理解しているかを問う。
	イ	◎		○	参議院について、内容を正しく判断する力を問う。
	ウ			◎	連立政権について、理解しているかを問う。
	エ	◎			衆議院の優越の理由について、内容を正しく判断する力を問う。
	オ	○		◎	内閣の仕事について、理解しているかを問う。
	カ	◎		○	議院内閣制について、内容を正しく判断する力を問う。
	キ			◎	三審制について、理解しているかを問う。
	ク		◎	○	裁判員制度について、資料から正しく読み取る力を問う。
暮らしとつながる政治について、資料を正しく読み取り、適切に判断し、理解しているかをみることをねらいとしている。					
問4	ア	○◎			住民投票について、資料から正しく読み取る力を問う。
	イ	◎			地方自治の仕事について、内容を正しく判断する力を問う。
	ウ			◎	地方自治の選挙権、被選挙権について、正しく理解しているかを問う。
	エ		◎		オンブズマン制度について、資料から正しく読み取る力を問う。
地方自治のはたらきとしくみについて、その内容を資料から読み取り、適切に判断し、理解しているかをみることをねらいとしている。					

社会科（第3学年 歴史的分野・地理的分野）

大問	小問	思	技	知	内 容
問5	ア			◎	第一次世界大戦が起きたころの国際関係について、正しく理解しているかを問う。
	イ	◎		○	国際平和へ向けての取り組みについて、適切に判断し、理解しているかを問う。
	ウ		◎	○	朝鮮半島で起こった民衆運動について、資料を読み取り、理解しているかを問う。
	エ	○		◎	世界恐慌の各国の対策について、適切に判断し、理解しているかを問う。
	オ		◎	○	政府の統制による国民生活の変化について、資料を読み取り、理解しているかを問う。
	カ			◎	原子爆弾が投下された都市の位置について、理解しているかを問う。
	キ	◎		○	政党政治を実現しようとする護憲運動について、適切に判断し、理解しているかを問う。
	ク	◎			日中関係のできごとについて、正しい順に並び替えることができるかを問う。
第一次世界大戦から第二次世界大戦までの日本の動きを考察し、適切に判断し、資料を正しく読み取り、理解しているかをみることをねらいとしている。					
問6	ア			◎	戦後の民主化政策について、理解しているかを問う。
	イ	○		◎	日米安全保障条約について、適切に判断し、理解しているかを問う。
	ウ		○	◎	高度経済成長のころの交通の発達について、資料を読み取り、理解しているかを問う。
	エ	○		◎	冷戦下の東西の対立について、適切に判断し、理解しているかを問う。
	オ		◎		冷戦後の世界のできごとについて、資料を読み取り、理解しているかを問う。
第二次世界大戦後の日本の様子や国際社会について、適切に判断し、資料を正しく読み取り、理解しているかをみることをねらいとしている。					
問7	ア			◎	環太平洋造山帯について、理解しているかを問う。
	イ			◎	日本の自然災害について、理解しているかを問う。
	ウ		◎		世界の人口構成について、資料を読み取る力を問う。
	エ	○	◎		日本の人口について、資料を読み取る力を問う。
	オ	○	◎		世界の発電について、資料を読み取る力を問う。
	カ	○	◎		日本のエネルギー輸入について、資料を読み取る力を問う。
	キ	◎	○		日本の企業の世界進出について、資料を読み取り、適切に判断しているかを問う。
世界と比べた日本の特色について、資料を正しく読み取り、適切に判断し、理解しているかをみることをねらいとしている。					
問8	ア	◎		○	日本の農業の課題について、理解しているかを問う。
	イ	◎	○		日本の第三次産業について、資料を読み取り、適切に判断しているかを問う。
	ウ		◎		日本の交通の変化について、資料を読み取る力を問う。
	エ	◎	○		日本の漁業について、資料を読み取り、適切に判断しているかを問う。
	オ			◎	日本の文化について、理解しているかを問う。
日本の産業と文化について、適切に判断し、資料を正しく読み取り、理解しているかをみることをねらいとしている。					

4. 誤答分析

第1学年 1 歴史的分野

大問	小問	小問の内容	応答率%				考 察
			1	2	3	4	
1	ア	人類の発生と発達	石器・武器 78	その他 21	無答 1		人類の発達について、資料を読み取ることが一応できている。 誤答例 土器、石
	イ	東アジアの文明	4	81	5	9	古代中国の文明についての理解が、十分できている。
	ウ	縄文時代のようす	31	6	9	53	縄文時代のようすについての判断が、不十分である。
	エ	わが国と東アジアの関係	18	17	34	29	1世紀の東アジアの外交について、資料を読み取ることが不十分である。
	オ	邪馬台国の女王	卑弥呼 86	その他 9	無答 5		邪馬台国の女王についての理解が、十分できている。 誤答例 小野妹子
	カ	古墳時代の政治	6	10	24	60	古墳時代の政治についての判断が、一応できている。
	キ	埴輪	3	90	1	5	古墳について、資料を読み取ることが十分できている。
	ク	渡来人の影響	27	10	50	11	渡来人の影響についての理解が、やや不十分である。
2	ア	聖徳太子の政治	3	21	72	2	聖徳太子の政治について、資料を読み取ることが一応できている。
	イ	平安時代の仏教	49	30	10	9	平安時代の仏教についての理解が、やや不十分である。
	ウ	大化の改新	8	2	87	1	大化の改新についての理解が、十分できている。
	エ	聖武天皇の政治	17	63	11	8	聖武天皇についての理解が、一応できている。
	オ	桓武天皇の政治	62	10	11	16	桓武天皇についての理解が、一応できている。
	カ	摂関政治	6	6	11	77	藤原氏の政治についての理解が、一応できている。
	キ	平氏政権	25	35	24	16	平氏の政治についての理解が、やや不十分である。
	ク	大宝律令	10	35	40	15	律令政治についての判断が、やや不十分である。
3	ア	源頼朝	源頼朝 54	その他 33	無答 13		鎌倉幕府の誕生についての理解が、やや不十分である。 誤答例 平清盛、坂上田村麻呂
	イ	封建制度	60	21	12	6	鎌倉時代の封建制度について、資料を読み取ることが一応できている。
	ウ	鎌倉幕府のしくみ	19	26	9	46	鎌倉幕府のしくみについての理解が、やや不十分である。
	エ	六波羅探題	11	19	18	51	承久の乱後のようすについての理解が、やや不十分である。
	オ	元寇後のようす	24	54	6	16	元寇後のようすについての判断が、やや不十分である。
	カ	鎌倉新仏教	56	11	25	7	鎌倉仏教についての判断が、やや不十分である。
	4	ア	稲作の伝来	稲作 56	その他 34	無答 10	
イ		律令制度の税	33	18	37	10	律令制度の税について、資料を読み取ることがやや不十分である。

第1学年 2 地理的分野

大問	小問	小問の内容	応答率%				考 察
			1	2	3	4	
5	ア	海洋と大陸の位置	34	49	9	7	海洋と大陸の位置について、資料を活用する力がやや不十分である。
	イ	陸地と海洋の面積	0	10	87	2	陸地と海洋の面積についての理解が十分である。
	ウ	赤道の位置	3	26	63	7	赤道の位置について、資料を活用する力が一応身についている。
	エ	南半球の気候	65	12	10	11	南半球の気候について、資料を活用することが一応できている。
	オ	世界の国の名称	<small>南アフリカ</small> 49	<small>その他</small> 39	<small>無答</small> 12		世界の国の名称についての理解が、やや不十分である。 誤答例 アフリカ、中華人民
	カ	地球上の対蹠点	あ 25	い 10	う 15	え 47	地球上の対蹠点について、資料を活用する力がやや不十分である。
	キ	州に所属する国	6	16	14	63	州に所属する国についての理解が、一応できている。
	ク	面積と人口	3	57	7	31	面積と人口について、資料を活用する力がやや不十分である。
	ケ	経線と内陸国・島国	51	17	25	6	経線と内陸国・島国についての理解がやや不十分である。
6	ア	ヨーロッパの風景	67	5	20	8	ヨーロッパの風景について、資料を活用することが一応できている。
	イ	寒い地域の生活の特色	12	66	13	9	寒い地域の生活の特色について、資料を活用することが一応できている。
	ウ	アジアの伝統衣装	1	5	3	91	アジアの伝統衣装について、資料を活用することが十分できている。
	エ	暑い地域の生活の特色	42	36	10	12	暑い地域の生活の特色について、資料を活用する力がやや不十分である。
	オ	オセアニア州の歴史的背景	4	5	2	89	オセアニア州の歴史的背景についての判断が十分できている。
	カ	伝統的料理	10	59	5	26	伝統的料理について、資料を活用する力がやや不十分である。
	キ	インドの食習慣	18	71	6	5	インドの食習慣について、資料を活用することが一応できている。
	ク	イスラム教の特徴と分布	<small>イスラム</small> 60	<small>その他</small> 33	<small>無答</small> 7		イスラム教の特徴と分布について、資料を活用することが一応できている。 誤答例 ヒンドゥー、キリスト
7	ア	アジア発祥の文化	6	6	79	9	アジア発祥の文化について、理解が一応できている。
	イ	アジアの人口と面積	13	20	49	18	アジアの人口と面積について、資料を活用し判断する力がやや不十分である。
	ウ	アジアの農業	15	7	75	3	アジアの農業について、資料を活用し判断することが一応できている。
	エ	アジアの貿易	6	5	3	86	アジアの貿易について、資料を活用し判断することが十分できている。
8	ア	EUの通貨	2	4	6	88	EUの通貨について、理解が十分できている。
	イ	ヨーロッパの労働者の移動	75	11	9	5	ヨーロッパの労働者の移動について、資料を活用し判断することが一応できている。
	ウ	ヨーロッパの環境保護	12	14	54	19	ヨーロッパの環境保護について、資料を活用し判断する力がやや不十分である。
	エ	ヨーロッパの貿易	83	4	5	7	ヨーロッパの貿易について、資料を活用し判断することが十分できている。

第2学年 1 歴史的分野

大問	小問	小問の内容	応答率%				考 察
			1	2	3	4	
1	ア	新航路の発見	34	26	11	28	新航路についての資料の読み取りが不十分である。
	イ	豊臣秀吉の政策	6	8	80	5	豊臣秀吉の政策について十分理解できている。
	ウ	桃山文化	17	53	10	19	桃山文化の代表的人物の理解がやや不十分である。
	エ	江戸幕府の大名統制	11	10	8	70	江戸幕府の大名統制についての判断が一応できている。
	オ	鎖国下の交易・交流	出島 61	その他 19	無答 20		江戸時代における鎖国下の交易・交流についての理解が一応できている。
	カ	遣欧少年使節	65	13	6	2	遣欧少年使節に関する判断が一応できている。 誤答例「う」14%
2	ア	アヘン戦争	アヘン 75	その他 17	無答 8		アヘン戦争についての理解が一応できている。
	イ	蝦夷地との関係	6	23	45	26	江戸時代の蝦夷地との関係の理解がやや不十分である。
	ウ	享保の改革	13	20	20	46	享保の改革についての判断がやや不十分である。
	エ	ペリーの来航	5	74	7	13	ペリーの来航地についての理解が一応できている。
	オ	アメリカ独立戦争	14	76	4	5	アメリカ独立戦争について一応理解できている。
	カ	元禄文化	15	10	5	70	元禄文化の特色と代表的人物を一応理解できている。
	キ	寺子屋	寺子屋 54	その他 30	無答 16		江戸時代の寺子屋についての理解がやや不十分である。
ク	イギリス産業革命	4	21	68	7	イギリスの産業革命について一応理解できている。	
3	ア	尊皇攘夷運動	16	26	11	46	尊皇攘夷運動についての判断がやや不十分である。
	イ	戊辰戦争	30	12	45	13	戊辰戦争に関する理解が不十分である。
	ウ	新政府の諸改革	48	13	13	26	新政府の諸改革の内容の理解がやや不十分である。
	エ	地租改正	8	79	5	8	地租改正について一応理解できている。
	オ	明治初期の外交	4	4	84	7	欧米使節団の内容について十分理解できている。
4	ア	議会政治の始まり	24	38	20	18	議会政治が始まる時代の流れの理解がやや不十分である。
	イ	日清戦争前の朝鮮半島	12	40	21	25	日清戦争前の朝鮮半島についての理解が不十分である。
	ウ	下関条約	15	7	5	72	下関条約の内容について一応理解できている。
	エ	日本の社会主義運動	22	6	28	43	社会主義運動に関わる人物の理解がやや不十分である。
	オ	明治時代の文化人	2	83	11	4	明治時代の文化人に関して資料から十分判断できる。
	カ	条約改正	11	7	76	5	条約改正達成の背景について一応理解できている。

第2学年 2 地理的分野

大問	小問	小問の内容	応答率%				考 察
			1	2	3	4	
5	ア	神奈川県的气温と降水量	8	5	80	6	気温と降水量について、資料をもとに判断することが、十分できている。
	イ	神奈川県の人口	53	9	28	10	人口構成の特色について、資料から読み取る技能が、やや不十分である。
	ウ	神奈川県と近隣都県の位置関係	11	12	12	64	近隣都県との位置関係についての理解が、一応できている。
	エ	新しい政令指定都市の名称	13	66	13	7	新しい政令指定都市の名称についての理解が、一応できている。
	オ	神奈川県の地形と農業	14	15	54	17	地形と農業地域について、資料をもとに判断することが、やや不十分である。
	カ	神奈川県の工業	8	17	63	11	工業の特色について、資料から読み取る技能が、一応身についている。
	キ	工業地帯の名称	京浜 38	その他 37	無答 25		工業地帯の名称についての理解が、やや不十分である。 誤答例 川崎、横浜、埋め立て地
6	ア	沖縄県の気候	2	76	5	16	気候について、資料を選択する技能が、一応身についている。
	イ	沖縄県の自然災害	台風 85	その他 9	無答 6		自然災害についての理解が、十分できている。 誤答例 大風
	ウ	沖縄県の人口	3	4	80	12	人口構成の特色について、資料から読み取る技能が、十分身についている。
	エ	沖縄県とアジア各都市のむすびつき	12	13	12	62	アジア各都市とのむすびつきの特色について、資料から読み取る技能が、一応身についている。
	オ	沖縄県の土地利用	50	19	23	6	土地利用について、資料をもとに判断することが、やや不十分である。
	カ	沖縄県の産業構造	6	8	7	78	産業構造の特色について、資料から読み取る技能が、一応身についている。
7	ア	中国の気温と降水量	61	22	8	8	気候について、資料をもとに判断することが、一応できている。
	イ	中国の人口	13	10	12	64	人口の特色について、資料をもとに判断することが、一応できている。
	ウ	中国と日本の貿易	15	29	32	23	日本との貿易の特色について、資料から読み取る技能が、不十分である。
	エ	都市の名称	上海 58	その他 27	無答 15		おもな都市の名称についての理解が、やや不十分である。 誤答例 ペキン、東京都
	オ	中国の農業	21	51	13	13	農業の特色について、資料から読み取る技能が、やや不十分である。
	カ	中国の工業	50	14	15	18	工業の特色について、資料をもとに判断することが、やや不十分である。
8	ア	アメリカの地形	42	19	20	16	地形の特色についての判断が、やや不十分である。
	イ	アメリカの人種・民族構成	ヒスパニック 43	その他 38	無答 19		人種・民族構成についての理解が、やや不十分である。 誤答例 スペイン、インディアン
	ウ	アメリカの貿易相手国	20	44	15	17	貿易について、資料をもとに判断することが、やや不十分である。
	エ	アメリカの気候と農業	8	16	64	9	気候と農業地域について、資料をもとに判断することが、一応できている。
	オ	アメリカの先端産業	46	17	16	18	工業について、資料を選択する技能が、やや不十分である。
	カ	アメリカの文化	2	77	9	8	文化についての理解が、一応できている。

第3学年 1 公民的分野

大問	小問	小問の内容	応答率%				考 察
			1	2	3	4	
1	ア	高度経済成長	1	9	(86)	4	日本の高度経済成長について、内容を正しく判断する力が、十分身についている。
	イ	貿易摩擦	(91)	7	1	1	日本とアメリカの貿易摩擦についての理解が、十分できている。
	ウ	NGO	7	9	(60)	24	NGOがどのような組織なのか一応理解できている。
	エ	核家族世帯	(93)	5	1	1	日本の核家族世帯数の変化について、資料を読み取る技能が、十分身についている。
	オ	高齢化社会	3	11	8	(78)	家族の中の65歳以上の人の数と割合について、資料を読み取る技能が、一応身についている。
2	ア	国事行為	4	23	(65)	8	天皇の国事行為について、内容を正しく判断する力が、一応身についている。
	イ	治安維持法	3	9	(67)	21	治安維持法について、資料を読み取る技能が、一応身についている。
	ウ	男女共同参画社会	31	(67)	1	1	男女共同参画社会基本法について、資料を読み取る技能が、一応身についている。
	エ	基本的人権	13	11	7	(69)	基本的人権の尊重について、内容を正しく判断する力が、一応身についている。
	オ	平和主義	10	(71)	11	8	平和主義についての理解が、一応できている。
	カ	生存権	0	3	2	(95)	生存権についての理解が、十分できている。
	キ	公共の福祉	公共の福祉 (39)	その他 55	無答 6		公共の福祉についての理解が、やや不十分である。 誤答例 法律、憲法、天皇
3	ク	自己決定権	(92)	1	5	2	自己決定権について、資料を読み取る技能が、十分身についている。
	ア	国会の仕事	17	19	9	(55)	国会の仕事についての理解が、やや不十分である。
	イ	衆議院	14	10	(64)	12	参議院について、内容を正しく判断する力が、一応身についている。
	ウ	連立政権	連立 (45)	その他 29	無答 26		連立政権についての理解が、やや不十分である。 誤答例 多党、民主、国家
	エ	衆議院の優越	3	(88)	4	5	衆議院の優越の理由についての理解が、十分できている。
	オ	内閣の仕事	8	42	(35)	15	内閣の仕事についての理解が、やや不十分である。
	カ	議院内閣制	(66)	6	11	17	議院内閣制について、内容を正しく判断する力が、一応できている。
	キ	三審制	10	(72)	8	10	三審制についての理解が、一応できている。
4	ク	裁判員制度	裁判員 (79)	その他 11	無答 10		裁判員制度について、資料を読み取る技能が、一応身についている。 誤答例 自由、議院内閣、選挙
	ア	住民投票	9	18	3	(71)	住民投票について、資料を読み取る技能が、一応身についている。
	イ	地方自治の仕事	(53)	7	25	15	地方自治の仕事について、内容を正しく判断する力が、やや不十分である。
	ウ	地方自治の選挙権・被選挙権	4	(88)	3	5	地方自治の選挙権、被選挙権についての理解が、十分できている。
エ	オンブズマン制度	18	9	2	(71)	オンブズマン制度について、資料を読み取る技能が、一応身についている。	

第3学年 2 歴史的分野・地理的分野

大問	小問	小問の内容	応答率%				考 察
			1	2	3	4	
5	ア	第一次世界大戦の頃の国際関係	25	8	40	27	第一次世界大戦が起きたころの国際関係について、理解がやや不十分である。
	イ	国際平和へ向けての取り組み	58	9	20	13	国際平和へ向けての取り組みについて、判断がやや不十分である。
	ウ	朝鮮半島で起こった民衆運動	20	46	17	17	朝鮮半島で起こった民衆運動について、資料を読み取る技能がやや不十分である。
	エ	世界恐慌の各国の対策	9	27	8	55	世界恐慌の各国の対策について、理解がやや不十分である。
	オ	国民生活の変化	3	37	8	51	政府の統制による国民生活の変化について、資料を読み取る技能がやや不十分である。
	カ	原爆が投下された都市の位置	11	1	86	2	原子爆弾が投下された都市の位置について、理解が十分である。
	キ	護憲運動	31	33	13	22	護憲運動についての判断が不十分である。
	ク	日中関係のできごと	22	22	27	28	日中関係のできごとについての判断が不十分である。
6	ア	戦後の民主化政策	22	7	40	29	戦後の民主化政策について、理解がやや不十分である。
	イ	日米安全保障条約	12	57	11	20	日米安全保障条約について、理解がやや不十分である。
	ウ	高度経済成長期の交通の発達	東海道 55	その他 30	無答 15		高度経済成長期の交通の発達について、理解がやや不十分である。誤答例 上越、のぞみ、小田急
	エ	冷戦下の東西の対立	25	26	15	33	冷戦下の東西の対立について、理解が不十分である。
	オ	冷戦後の世界のできごと	20	5	5	69	冷戦後の世界のできごとについて、資料を読み取る技能が一応身についている。
7	ア	環太平洋造山帯	6	23	68	2	環太平洋造山帯について、理解が一応できている。
	イ	日本の自然災害	42	37	12	7	日本の自然災害について、理解がやや不十分である。
	ウ	世界の人口構成	15	52	14	18	世界の人口構成について、理解がやや不十分である。
	エ	日本の人口	10	66	18	5	日本の人口について、資料を読み取る技能が一応身についている。
	オ	世界の発電	25	10	43	21	世界の発電について、資料を読み取る技能がやや不十分である。
	カ	日本のエネルギー輸入	67	10	13	9	日本のエネルギー輸入について、資料を読み取る技能が一応身についている。
	キ	日本の企業の世界進出	5	70	7	16	日本の企業の世界進出についての判断が、一応できている。
8	ア	日本の農業の課題	66	7	2	24	日本の農業の課題についての判断が、一応できている。
	イ	日本の第三次産業	21	23	27	28	日本の第三次産業についての判断が不十分である。
	ウ	日本の交通の変化	24	49	16	10	日本の交通の変化について、資料を読み取る技能が不十分である。
	エ	日本の漁業	4	2	86	7	日本の漁業についての判断が十分である。
	オ	日本の文化	91	3	2	3	日本の文化について、理解が十分である。

5. 各分野の作問の意図と考察

第1学年

歴史的分野

「原始・古代の日本と世界」に関しては、各時代の特徴や社会のしくみについて、カード形式をもとに資料の読み取り、正しく判断しているかをみることをねらいとして出題した。各時代の特徴的な遺物についての知識や判断はできているが、大陸からの伝来物に関する知識や資料から外交関係を読み取る問題では正答率がやや低かった。

「古代から中世にかけての日本」に関しては、各時代の特色や社会の様子について、略年表をもとに、正しく判断し理解しているかをみることをねらいとして出題した。各時代の政治についての理解は比較的正確率が高かったが、飛鳥時代から奈良時代に政治が移行する部分や、平安時代の国風文化についての判断はやや不十分であった。

「中世の日本と世界」に関しては、鎌倉時代の特色やしくみについて、資料を読み取り、正しく判断し、理解しているかをみることをねらいとして出題した。鎌倉時代の知識は定着しているが、幕府のしくみや元寇、鎌倉仏教についての資料を読み取り、正しく判断する問題では、正答率がやや低かった。

「原始から古代の食生活」に関しては、資料を活用し、正しく判断し、今までの知識とつなげることをねらいとして出題した。原始の食生活については、稲作の影響は一応理解されているが、古代の律令制における税についての問題では正答率がやや低かった。

全体的に、一問一答形式などによる歴史的事象の知識を問う問題は、概ね理解されている。しかし、歴史の流れや、時代の特徴をつかむ問題、諸外国との関係から歴史の流れや特徴をつかむ問題の正答率が低かった。特に仏教を中心とした文化面の知識についてもやや不十分であることがわかった。

2年後に全面実施される学習指導要領において、『その時代を大観し、自分の言葉で表現する』ことが求められている。そのためにも、学習した内容をまとめ、前史と比較・関連付け・総合し、その時代を自分の言葉で表現し、意見交換する学習活動をすすめる必要があると考える。

地理的分野

「世界の地域構成」に関して、海洋・大陸の位置や面積の割合、赤道と南半球、州に所属する国や世界の国の名称、日本と比較した地球上の対蹠点や面積と人口、経線と内陸国・島国についての基礎的な知識や技能をみることをねらいとして出題した。陸地と海洋の面積の割合や赤道の位置、州に所属する国などの理解は概ね定着していると思われるが、海洋と大陸の位置、地球上の対蹠点、0度の経線の位置、面積と人口の資料に関しての理解や技能がやや不十分であった。統計資料や地球儀、地図の活用に関する技能と理解の定着が不十分であると思われる。

「世界各地の人々の生活と環境」では、暑い地域と寒い地域の生活の特色、特徴的な衣・食・住、社会的条件(イギリス連邦自治領)、生活と宗教のかかわりについて、略地図と写真資料・イラスト資料をもとに出題した。世界各地の人々の生活や環境の多様性を理解していくために必要と思われる、資料を活用する力および考察する力をみることをねらいとして出題した。世界の生活の多様性について概ね理解できているようだが、衣食住の特色に関して一部の問題で活用する技能がやや不十分であった。

「世界の諸地域」に関しては、「アジア州」、「ヨーロッパ州」を取り上げた。

「アジア州」については、歴史的な分野の影響もあると思われるが、アジア発祥の文化については一応理解されていた。一方、さまざまなグラフやカレンダーなどの資料を読み取ることはできているが、そこから読み取れる数値について計算し思考していく力は十分ではないことがわかった。

「ヨーロッパ州」については、EU の通貨についての問題の正答率が高く、基礎的な知識は定着していることがわかった。ヨーロッパ域内の労働力移動、貿易について、資料を活用し判断する問題は一定の正答率があった一方で、環境保護の仕組みについての問題では正答率がやや低かった。

全体を通しては、基本的・基礎的な知識の習得は概ねできている。また、略地図をもとに資料を活用していくことや、グラフなどの資料を読み取ることはできているが、『そこから何が考えられるか』考察し判断していく問題になると正答率が低くなっている。今後の授業では、地理的な見方や考え方の基礎を、小学校において学習した世界の国に関する知識や関心を生かしながら、世界の地域構成を大観できるよう、知識の定着を図っていきたい。

平成 24 年度に全面実施される学習指導要領における『イ 世界各地の人々の生活と環境』および『ウ 世界の諸地域』については、その学習の基礎となる資料を活用する力について、地球儀・統計資料・略地図・雨温図・様々な種類のグラフを繰り返し授業で扱い、『資料からわかること』を読み取る力をつけていきたい。また、今回出題したアジア州・ヨーロッパ州に限らず、その州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を様々な面から取り上げ、『そこに生きる人々はどうのように生活を営んでいるのか』を考察し理解していくことが必要である。そのために、① 課題を設定する、② 資料をもとに話し合い活動などの作業を通じて考察する、③ 地域的特色を一般的共通性と地方的特殊性の視点から追究し理解する。これらのことを学習で取り入れていく必要があると考える。

第2学年

歴史的分野

「近世の日本と世界に関する政策や社会のようす、文化の特色」などについて、カルタ形式の資料をもとに、資料を適切に選択し、正しく判断し、理解しているかをみることをねらいとして出題した。歴史的事象についての知識は概ね定着しているが、新航路の開拓、桃山文化に関する資料の読み取りについては正答率が低く、今後の課題となった。

「17～19世紀の日本と世界」に関しては、略年表をもとに、政治や外交、社会のようす、文化などについて正しく理解し、資料から正しく判断できるかをねらいとして出題した。江戸時代の改革や蝦夷地との関係についての理解がやや不十分であった。

「近代日本の歩み」について、幕末から明治初期の社会の動きや新政府の政策に関する新聞形式の出題では、尊皇攘夷運動や戊辰戦争の資料の選択や判断が不十分であった。また、議会政治が始まる時代の流れの理解や、日清戦争の因果関係に関する理解が不十分であった。

全般的に、歴史的事象についての基礎的・基本的な知識を問う問題は、概ね理解されている。しかし、因果関係やその後の影響、諸外国との関係などを相互に関連づけ、歴史の流れを大観し、時代の特色を多面的に捉える視点にやや欠けている結果となった。また、資料の読み取りや考察なども不十分な点が見られる。今後の学習において、それぞれの時代の特色をつかむ授業の構成や課題にせまる資料の精選、資料の読み取りから生徒が考え判断していく活動などを取り入れていく必要があると考えられる。

地理的分野

地理的分野については、都道府県や世界の国々について、資料を正しく読み取り、適切に判断し、理解しているかをみることをねらいとした。

日本地理に関しては、「神奈川県」、「沖縄県」を取り上げた。

「神奈川県」については、気温と降水量の関係についての問題では正しく判断できていた。一方で、人口構成の特色、工業地帯の名称についての問題では正答率が低かった。

「沖縄県」については、自然災害や人口構成の特色についての問題では判断や理解ができていたが、土地利用についての問題では正答率が低かった。

世界地理に関しては、「中国」、「アメリカ合衆国」を取り上げた。

「中国」については、人口の特色や気温と降水量の関係についての問題では正答率が高かった。一方で、貿易、農業、工業の特色についての問題では正答率が低かった。特に貿易については、グラフから数値を正しく読み取る力が不十分であった。

「アメリカ合衆国」については、気候と農業地域や文化についての問題では正答率が高かったが、地形や民族構成については、正答率がやや低かった。

全般的に、地形や気候といった自然条件の特色については、資料をもとに適切に理解しているが、貿易や工業、農業といった産業の特色については資料を深く読み取って適切に判断できていない解答が多く、理解が不十分であった。資料から情報を読み取る力をさらにつけていくとともに、その情報をもとに適切に判断する力も伸ばしていく必要があると考えられる。また、複数の資料を比較検討する機会を増やし、より多くの視点から地理的事象を捉える力も磨いていく必要があると考えられる。

第3学年

公民的分野

「移り変わる社会と私たちの暮らし」について、高度経済成長、日米貿易問題、NGOの諸問題の内容を適切に判断し理解しているかをみることをねらいとして出題した。よく理解されていた。

「社会の中で生きる」について、資料を正しく読み取り、理解しているかをねらいとして出題した。資料の表現している内容を読み取る技能が、十分身についていた。

「暮らしのなかに生きる憲法」について、その内容を資料から読み取り、内容を適切に判断し、理解しているかをみることをねらいとして出題した。治安維持法、男女共同参画社会、自己決定権などの資料の読み取りや天皇の国事行為、基本的人権の尊重などの内容を問う問題は一応理解し、身につけている。生存権については、十分理解している。

「暮らしとつながる政治」について、その内容を適切に判断し、資料を正しく読み取り、理解しているかをみることをねらいとして出題した。理解を問う問題では、衆議院の優越や、三審制については理解できているが、国会の仕事、内閣の仕事についての理解は、やや不十分である。参議院や議院内閣制の内容を問う問題に対しての理解は、一応できている。連立政権についての語句の理解がやや不十分であるが、資料から裁判員制度の語句を読み取ることは、一応身につけている。

「地方自治のはたらきとしくみ」について、その内容を資料から読み取り、適切に判断し、理解しているかをみることをねらいとして出題した。住民投票、オンブズマン制度などの資料からの読み取りは一応理解し、身につけているが、地方自治の仕事についての理解が、やや不十分であった。地方自治の選挙権、被選挙権については、十分理解していた。

全体的に語句を問う問題や資料を読み取る問題では、正答率が高くなるが、資料を活用し、正しく判断する問題では、正答率が低くなる傾向がみられた。また、すでに学んだ知識を応用し解く問題でも正答率が低くなった。今後は教科書からの語句の暗記で終わらせるのではなく、新聞や雑誌などを教材として取り上げ、生徒にとって授業で学んだことが社会の中でどう生かされているのかを、まとめ・整理させていく必要があると考えられる。

歴史的分野

「二つの世界大戦と日本」について、世界や日本の動きを考察し、資料から読み取り、正しく理解しているかをみることをねらいとして出題した。当時の国際関係や資料の読み取りについては理解がやや不十分であり、時代の流れや時代背景を問う問題については理解が不十分であった。

「現代の日本と世界」について、戦後の日本の様子や国際社会について、正しく判断し、適切に考察し、理解しているかをみることをねらいとして出題した。冷戦後の世界の様子については一応理解されているようだが、戦後の民主化政策、戦後の国際関係、高度経済成長期の日本の様子については理解がやや不十分であった。さらに、冷戦下での国際情勢については理解が不十分であった。

全体的に、知識を問う問題は一応理解されているが、資料にもとづく問題や時代の流れ・背景から考察する問題については正答率が高いとはいえない。

今後は、各時代の特色や国際関係など、様々な要素を関わらせ、時代を考察する授業を展開していくことが重要になると思われる。

地理的分野

「世界と比べてみた日本」について、資料を正しく読み取り、適切に判断し、理解しているかをみることをねらいとして出題した。資料から、日本のエネルギー輸入、日本の人口の増減を読み取る問題については、正答率が高かったが、日本の自然災害や人口ピラミッド、世界の国々の発電量の内訳については理解がやや不十分であった。

「日本の産業と文化」について、資料を正しく読み取り、適切に判断し、理解しているかをみることをねらいとして出題した。日本の漁業・文化については十分理解されている。また、日本の農業については、一応理解されている。資料から、日本の交通の変化を読み取る問題については、正答率が低かった。

全体的に、資料の読み取りはできているが、資料を適切に選択し、考察する力が不足していると思われる。今後は、資料を利用する際、授業者が意図していることだけでなく、さまざまな角度から資料を読み取らせ、自らの考えを言葉に表現させていくことが重要になると思われる。

6. 指導にあたって

平成22年度の学習診断テストの結果を分析して、学習指導の課題として見えてくると、その改善のための指導の留意点を、分野別に記したい。

(歴史的分野)

全学年を通して、歴史的事象についての基礎的・基本的な知識を問う問題は、概ね理解されている。しかし、各時代の特色を多面的に捉える問題、歴史的な背景や因果関係、諸外国との関係などを相互に関連付ける問題の正答率が低かったように思われる。

指導の留意点としては、それぞれの時代の特色をつかむため、授業の構成の工夫や、資料の読み取りから生徒が考え判断していく指導の充実をはかることが求められる。具体的には、前の時代と比較し、様々な要素を結びつけながら相違点や転換点を考察し、まとめていく学習活動などが考えられる。また、探究した内容を言葉で表現し、意見交換する中で学習内容が深まり、多面的に捉える視点も培われると考える。

作問においても、各時代の枠に捉われずに歴史の流れを大観するテーマに沿った問題や、政治・経済・文化などについて諸外国の関係や歴史的因果関係についての問題を出題することによって、さまざまな視点から時代の特色をつかむ学習活動を意識したものを取り入れていきたい。

(地理的分野)

各学年とも、略地図やグラフなどの資料を読み取る問題は、概ね理解されている。しかし、資料を選択する技能や、既習の学習内容をもとに考察し、判断する力が不足しているように思われる。

指導の留意点として、1年生では小学校で習得した知識をもとに、地図や地球儀、写真資料などを活用しながら、様々な地理的事象に関心をもち多面的・多角的に追究する学習活動の展開が考えられる。

また、2・3年生では、より多くの統計・グラフ資料を用いて情報を読み取り、その情報をもとに適切に判断し、考察する力を伸ばしていく必要があると考えられる。さらに、複数の資料を比較検討する中で、生徒相互が言葉で表現し、様々な視点から地理的事象を捉える力を磨いていく必要があると考えられる。

作問においても、世界的視野から見た地域的特色を考えさせるような資料や地図を精選して出題していきたい。

(公民的分野)

断片的な知識を問う問題や資料を読み取る問題は、概ね理解されている。しかし、文章を読み取る力を問う問題や語句が意味している内容を問う問題では、正答率が低下する傾向がみられた。

指導の留意点としては、語句の説明だけでなく、新聞記事やインターネットなどからの情報を資料として活用し、身近な話題や問題をテーマとした課題解決学習をより多く取り入れることが求められる。そのような学習を継続しておこなうことで、生徒は実生活に即した問題としてとらえる視点が培われると考える。また自分の考えをまとめ、表現する活動に取り組むことにより、様々な視点から探求する力につながる学習を展開していきたい。

作問においても、時事的な問題を取り上げながら、現代社会でおきている事柄を身近なものとして捉えることができる問題を出題していきたい。

平成 22 年度

川崎市立中学校 学習診断テスト 数 学 科

誤答分析と学習指導上の考察

川崎市教育委員会
川崎市立中学校長会
数学科調査委員会

1. 作問にあたって

○学習診断テストの趣旨をふまえて現学習指導要領にある各領域の内容について、

- ①生徒は、基本的な事項がどの程度理解されているのか。
- ②生徒は、理解が不十分であるならば、どこで、どのようなつまずきがあるのか。
- ③教師は、どのように教えているのか。
- ④教師は、どのように単元を扱っているのか。

の、上記4点が生徒・教師の双方から診断できるよう留意した。

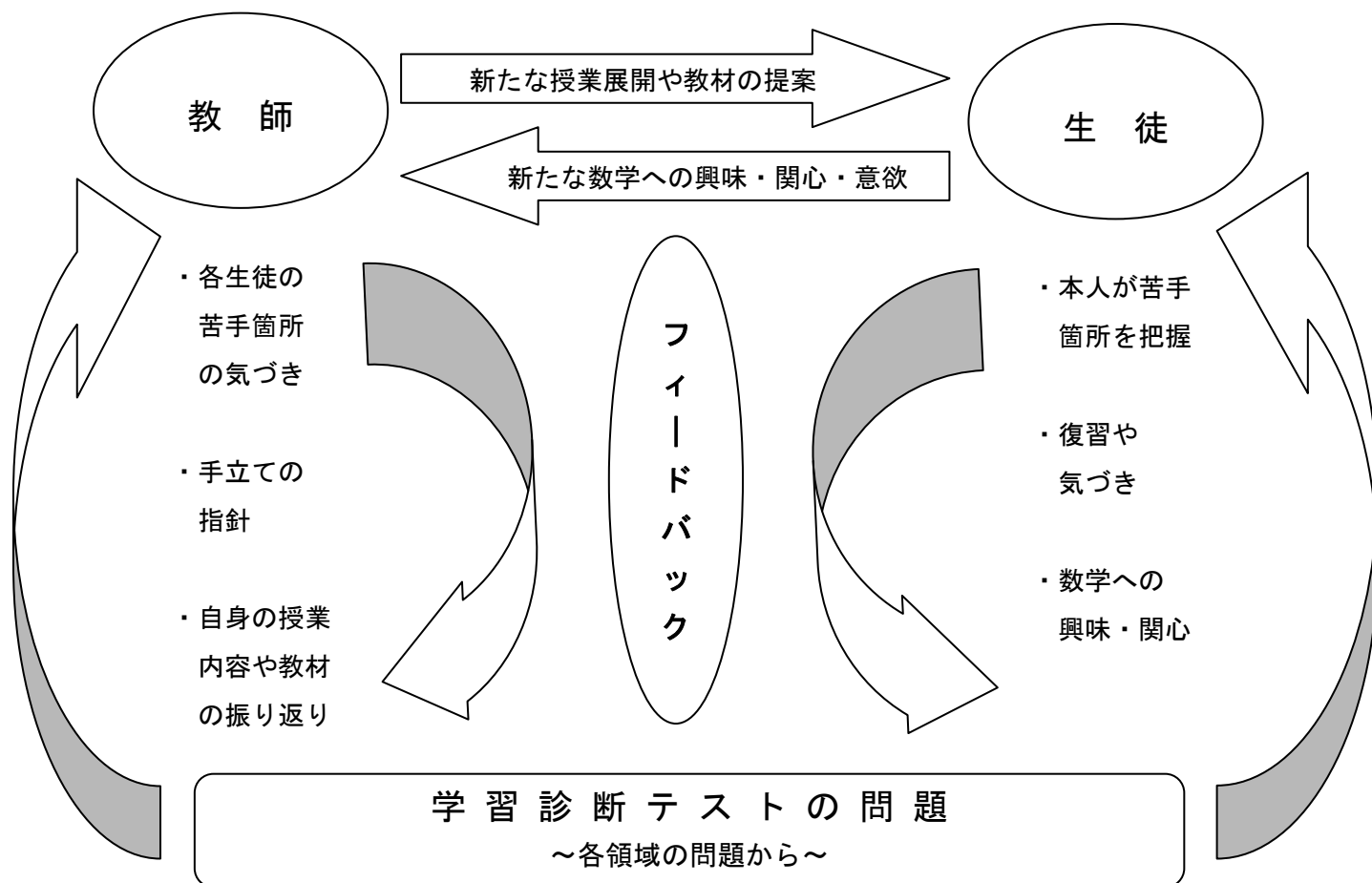
○問題の難易度については幅広く出題し、単に知識として覚えているからできるというものではなく、なぜそのようになるのかと理論や理屈も大事にした。また、数学的な見方や考え方がどの程度自らの言葉で説明して表現・処理ができるのかを見られるようにした。

○形式については、今までの傾向を重んじながらも新学習指導要領も意識し、今現在求められている数学の力が身につけられるようにした。また、文章表現は、現在使用の教科書に準ずることにした。

○範囲については、例年と同様に前学年の既習事項と現学年の履修事項とし、無理なく各学校で学習できるようにした。また、移行措置で学習している内容も新しく作問した。

○数学への関心・意欲・態度については、試験の答案からのみ評価するのは困難と考え、出題や観点へ加えなかった。

○復習用の手立てのプリントを作成して、年度内に再度定着ができるようにした。



2. 出題のねらい

問題	1 年	2 年	3 年
問1	【正の数・負の数の計算】 ・正の数・負の数の四則計算をすることができる。 [表現・処理]	【文字式の計算】 ・単項式や多項式の四則計算ができる。 [表現・処理]	【展開】 ・乗法公式を使って、式を展開することができる。 [表現・処理]
問2	【数の大小・絶対値】 ・正の数・負の数の大小関係を、不等号を用いて表すことができる。 [表現・処理] ・絶対値の意味を理解している。 [知識・理解]	【等式の変形・式の値】 ・数量の間の関係を表す式を目的に応じて変形することができる。 [表現・処理] ・与えられた文字式を的確に処理し、式の値を求めることができる。 [表現・処理]	【因数分解】 ・式の形に着目して、共通因数による因数分解・公式による因数分解、及びその利用ができる。 [表現・処理]
問3	【正の数・負の数の意味】 ・正の数・負の数の表す意味を、日常生活の具体的な場面と結びつけて理解している。 [知識・理解]	【連立方程式の解法】 ・加減法や代入法を用いて、連立方程式を解くことができる。 [表現・処理]	【平方根の計算】 ・平方根の四則計算ができる。 ・分母に根号を含む式を、分母に根号を含まない形に直すことができる。 [表現・処理]
問4	【文字式の約束】 ・文字を用いた式を約束にしたがって適切に表すことができる。 [知識・理解]	【連立方程式の利用】 ・文章問題から2元1次方程式を立式することができる。 [見方や考え方] ・2元1次方程式において、与えられた条件に適した解を求めることができる。 [表現・処理] ・立式した連立方程式を解き、その解が問題に適しているか判断し、問題を解決することができる。 [見方や考え方]	【2次方程式の解き方】 ・2次方程式を、平方根の考えや因数分解を使って、問題に適した方法で解くことができる。 [表現・処理]
問5	【文字式の計算】 ・文字式の四則計算ができる。 [表現・処理]	【中1の内容－比例・反比例】 ・比例、反比例の特徴を表・式・グラフを関連づけて考えることができる。 [見方や考え方] ・比例、反比例の関係を表・式・グラフに表すことができる。 [表現・処理]	【2次方程式の利用】 ・2次方程式について理解し、それを用いて考察することができる。 [見方や考え方] ・2次方程式の意味を理解し、具体的な場面で活用することができる。 [表現・処理]
問6	【文字式の立式】 ・事象の中にある数量や、数量の関係を見出し、それを文字式で表し、式の意味を読み取ることができる。 [表現・処理]	【中1の内容－空間図形・平面図形】 ・基本的な立体の体積を求めることができる。 [知識・理解] ・空間図形を平面図形上に表現して性質を読み取ったりすることができる。 [見方や考え方] ・基本的な作図のしかたとその性質を理解し問題解決に活用できる。 [見方や考え方]	【中2の内容－平行線と角・多角形の角】 ・平行線や三角形の角、多角形の角に関する性質を利用して、角の大きさを求めることができる。 [表現・処理]
問7	【式の値】 ・式の値の意味や代入の意味を理解している。 [知識・理解] ・式の値を求めることができる。 [表現・処理] ・簡単な比例式を解くことができる。 [表現・処理]	【平行線と角・多角形の角】 ・平行線や三角形の角、多角形の角に関する性質を利用して、角の大きさを求めることができる。 [表現・処理]	【中2の内容－確率】 ・樹形図や表を利用して、場合の数を順序よく整理し、簡単な場合について確率を求めることができる。 [表現・処理]
問8	【1次方程式の解法】 ・等式の性質を使って、1次方程式を解くことができる。 [表現・処理]	【三角形の合同】 ・三角形の合同条件を用いて、2つの三角形が合同であることを証明することができる。 [見方や考え方]	【中2の内容－1次関数の利用】 ・1次関数のグラフを的確に読み取ることができる。 [知識・理解] ・1次関数のグラフから具体的な事象を読み取ることができる。 [見方や考え方] ・1次関数で表される事象を、グラフで表すことができる。 [表現・処理]
問9	【1次方程式の利用】 ・文章題から1次方程式を立式することができる。 [見方や考え方] ・解が問題に適しているか判断し、問題の答えが求められる。 [見方や考え方]	【資料の活用】 ・ヒストグラムから分かることを理解し、その意味を捉えられる。 [知識・理解] ・資料の傾向を読み取り、説明することができる。 [見方や考え方] [表現・処理]	【中2の内容－平行四辺形に関する論証】 ・平行四辺形の性質や平行四辺形になるための条件を利用して、図形の性質を証明することができる。 [見方や考え方]
問10	【小学校－比例・図形の計量】 ・比例関係にある2つの数量について、それらの関係を考察することができる。 [表現・処理] ・比例のグラフをかくことができる。 [表現・処理] ・基本的な図形の面積の求め方を理解し、それを用いて図形の面積を求めることができる。 [表現・処理]	【課題学習（読解力を問う問題）】 ・与えられた情報から推論・比較して意味を理解し、自らの知識や経験に位置づけて理解・評価することができる。 [見方や考え方] ・数学的な表現を用いて、自分の考えを述べる [見方や考え方]	【相似な図形】 ・2つの三角形が相似であることを証明することができる。 [見方や考え方] ・相似な図形の性質を用いて、線分の長さを求めることができる。 [表現・処理]
問11	【課題学習（読解力を問う問題）】 ・与えられた情報から推論・比較して意味を理解し、自らの知識や経験に位置づけて理解・評価することができる。 [見方や考え方] ・数学的な表現を用いて、自分の考えを述べる [見方や考え方]		【課題学習（読解力を問う問題）】 ・与えられた情報から推論・比較して意味を理解し、自らの知識や経験に位置づけて理解・評価することができる。 [見方や考え方] ・数学的な表現を用いて、自分の考えを述べる [見方や考え方]

3. 小問ごとの観点・ねらい・正答率

中学校第1学年数学

No	問題番号		正答		観点			問題の内容	出題のねらい	正答率(%)
	大問	小問	(選択式→番号、記述式→言葉)	数学的な見方や考え方	数学的な表現・処理	数量、図形などについての知識・理解				
1		①			5	◎		①正の数・負の数の計算	正の数・負の数の四則計算をすることができる。	85
2		②			-9	◎				95
3	1	③			-16	◎				50
4		④			17	◎				61
5		⑤			-9/10	◎				58
6		①			-1/3>-1/2	◎	○			59
7	2	②			B.A.C	○	◎	②数の大小、絶対値、数の集合	正の数・負の数の大小関係を、不等号を用いて表すことができる。 絶対値の意味を理解している。 数の集合と四則計算の可能性を理解している。	84
8		③			ウ	◎				45
9		④			B	◎				76
10		①			9(月)30(日の方が)2(℃高い)	◎		③正の数・負の数の意味	正の数・負の数の表す意味を、日常生活の具体的な場面と結びつけて理解している。	88
11	3	②			(10月)4(日)	◎				44
12		③			21.5(℃)	◎				31
13	4	①			-a ² b	○	◎	④文字式の約束	文字を用いた式を約束にしたがって適切に表すことができる。	77
14		②			5x-y/2	○	◎			76
15		①			x+4	◎	○	⑤文字式の計算	文字式の四則計算ができる。	70
16	5	②			-3x-1	◎	○			35
17		③			4x-9	◎	○			51
18		①			5x	◎		⑥文字式の立式	事象の中にある数量や、数量の関係を見出し、それを文字式で表し、式の意味を読み取ることができる。	82
19	6	②			x/4+y/3=1	○				17
20		③			あるクラス数の合計人数	○	◎			52
21	7	①			16	○	◎	⑦式の値	式の値の意味や代入の意味を理解している。 式の値を求めることができる。	61
22		②			320(g)	◎	○			66
23		①			x=5	◎				78
24		②			x=1/2	◎				56
25		③			x=3	◎		⑧1次方程式の解法	等式の性質を使って、1次方程式を解くことができる。	73
26		④			両辺6倍する 3(x-3)=2(x-1) 3x-9=2x-2 3x-2x=-2+9 x=7	◎				46
27	9	①			A...x/10=x/8-4 I...10x=8(x+4) ウ...10(x-4)=8x	◎	○	⑨1次方程式の利用	文章題から1次方程式を立式することができる。 解が問題に適しているか判断し、問題の答えが求められる。	18
28		②			160(ページ)、16(日)、20(日)	◎	○			31
29		7			3	◎				58
30		1			10	◎		⑩小学校一比例・図形の計量	比例関係にある2つの数量について、それらの関係を考察することができる。 比例のグラフをかきとることができる。 基本的な図形の面積の求め方を理解し、それを用いて図形の面積を求めることができる。	48
31		グラフ			(グラフ略)	◎	○			39
32		②			942(cm ²)	◎	○			38
33	11	①			16(%)、8(%)	◎		⑪課題学習	与えられた情報から推論・比較して意味を理解し、自らの知識や経験に位置づけて理解・評価することができる。 数学的な表現を用いて、自分の考えを述べることができる。	39
34		②			まちがいの(説明略)	◎				57

◎…主たる観点

中学校第2学年数学

No	問題番号		正答 (選択式-番号, 記述式-言葉)	観点			問題の内容	出題のねらい	正答率(%)
	大問	小問		数学的な見方や考え方	数学的な表現・処理	数量・図形などについての知識・理解			
1		①	$3x^2 + 6x$		◎		①文字式の計算	単項式や多項式の四則計算ができる。	84
2	1	②	$-x + 18y$		◎		②等式の変形・式の値	数量の間の関係を表す式を目的に応じて変形することができる。 与えられた文字式的的確に処理し、式の値を求めることができる。	78
3		③	$8b^3$		◎		③連立方程式の解法	加減法や代入法を用いて、連立方程式を解くことができる。	64
4		④	$2x - 5y/9$		◎		④連立方程式の応用	文章問題から2元1次方程式を立式することができる。 2元1次方程式において、与えられた条件に適した解を求めることができる。 立式した連立方程式を解き、その解が問題に適しているか判断し、問題を解決することができる。	48
5	2	①	$(b-a) \cdot 2a + 9/5$		◎		⑤比例・反比例	比例、反比例の特徴を表・式・グラフを関連づけて考えることができる。 比例、反比例の関係を表・式・グラフに表すことができる。	58
6		②	-36		◎		⑥空間図形・平面図形	基本的な立体の体積を求めることができる。 空間図形を平面図形上に表現して性質を読み取り活用することができる。 基本的な作図のしかたとその性質を理解し問題解決に活用できる。	45
7	3	①	$(x=)1$ ($y=)2$		◎		⑦平行線と角・多角形の角	平行線や三角形の角、多角形の角に関する性質を利用して、角の大きさを求めることができる。	81
8		②	$(x=)3$ ($y=)5$		◎		⑧三角形の合同	三角形の合同条件を用いて、2つの三角形が合同であることを証明することができる。	64
9		③	$(x=)2$ ($y=)4$		◎		⑨資料の活用	ヒストグラムから分かることを理解し、その意味を捉えられる。 資料の傾向を読み取り、説明することができる。	71
10		①	$6x + y = 111$	◎	○		⑩課題学習	与えられた情報から推論・比較して意味を理解し、自らの知識や経験に位置づけて理解・評価することができる。 数学的な表現を用いて、自分の考えを述べることができる。	54
11	4	②	51(人)	○	◎				74
12		③	(1か所の公園の人数)6(人) (校庭の人数)75(人)	◎	○				27
13			ウ		○				
14	5	①	イ	◎	○				43
15			ウ		◎				
16		②	$y = 16/x$	◎	○				26
17		①	エ		◎				25
18	6	②	ア		◎				51
19		③	(図略)	◎	○				40
20	7	①	70(度)		◎				33
21		②	18(度)		◎				47
22	8	①	(記号)イ、DB=PB	◎	○				31
23		②	ウ	◎	○				53
24		①	ア		◎				38
25	9	②	イ	◎	○				26
26		①	エ	◎	○				45
27		②	(図略) 経路は、線対称な図形である。	◎	○				35

◎…主たる観点

中学校第3学年数学

No	問題番号		正答 (選択式→番号, 記述式→言葉)	観点		問題の内容	出題のねらい	正答率(%)
	大問	小問		数学的な見方や考え方	数学的な表現・処理 数量・図形などについての知識・理解			
1		①	$2ab-3a+8b-12$		◎	①展開	乗法公式を使って、式を展開することができる。	94
2	1	②	$16x^2-24xy+9y^2$		◎			79
3		③	$-4x-1$		◎			73
4		①	$3ab(2a-3b)$		◎	②因数分解	式の形に着目して、共通因数による因数分解・公式による因数分解、及びその利用ができる。	90
5	2	②	$(x-3)(x+4)$	○	◎			95
6		③	$2(3x+1)(3x-1)$	○	◎	③平方根の計算	平方根の四則計算ができる。 分母に根号を含む式を、分母に根号を含まない形に直すことができる。	74
7		①	$-\sqrt{2}$		◎			95
8		②	$2\sqrt{3}$		◎			85
9		③	$4\sqrt{6}$		◎			66
10		④	$3\sqrt{7}$		◎			82
11		①	$x = \pm\sqrt{10}$ ($x=$ がなくても可)		◎	④2次方程式の解き方	2次方程式を、平方根の考えや因数分解を使って、問題に適した方法で解くことができる。	81
12		②	$x=0, x=6$ ($x=$ がなくても可)		◎			70
13		③	$x=-6, x=1$ ($x=$ がなくても可)		◎			74
14		④	$x=-2 \pm\sqrt{3}$ ($x=$ がなくても可)		◎			72
15		①	工		○	⑤2次方程式の利用	2次方程式について理解し、それを用いて考察することができる。 2次方程式の意味を理解し、具体的な場面で活用することができる。	70
16		②	$(x+4)(x+6)=2x^2$		○			53
17		③	(理由略)12(m)		○			54
18		6	76(度)		◎	⑥平行線と角・多角形の角	平行線や三角形の角、多角形の角に関する性質を利用して、角の大きさを求めることができる。	16
19		①	12(通り)		◎	⑦確率	楕円図や表を利用して、場合の数を順序よく整理し、簡単な場合について確率を求めることができる。	51
20		②	$1/3$		◎			37
21		①	(分速)50(m)		○	⑧1次関数の利用	1次関数のグラフを的確に読み取ることができる。 1次関数のグラフから具体的な事実を読み取ることができる。 1次関数で表される事象を、グラフで表すことができる。	85
22		②	$y=-1000x+4200$		○			19
23		③	(図略)		○			67
24		理由 I	イ		○			68
25		ab	(a)DF=AE, (b)EF=AD		○	⑨平行四辺形に関する論証	平行四辺形の性質や平行四辺形になるための条件を利用して、図形の性質を証明することができる。	58
26		理由 II	キ		◎			75
27		②	工		○			48
28		①	(略)		○	⑩相似な図形	2つの三角形が相似であることを証明することができる。 相似な図形の性質を用いて、線分の長さを求めることができる。	19
29		②	20(cm)		◎			82
30		①	6(cm)		◎	⑪課題学習	与えられた情報から推論・比較して意味を理解し、自らの知識や経験に位置づけて理解・評価することができる。 数学的な表現を用いて、自分の考えを述べることができる。	59
31		②	ア、(理由略)		◎			58

◎…主たる観点

4. 誤答分析と考察

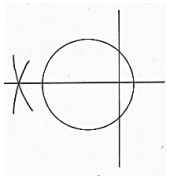
1 学年

問	小問	正答率	誤答率	無答率	誤答例	%	誤答例の考察
1	①	85	15	0	-13	5	$(-4)(-9)$ の考えで計算している。さらに、符号の決定が乗法と混同してしまい、13とする解答も4%あった。
	②	95	5	0	9	2	$-5+2-6=-3-6=9$ としている。符号について加法と乗法の区別がついていない。
	③	50	49	1	16	22	-4^2 と $(-4)^2$ の累乗の計算を理解していない。
	④	61	27	2	-8	15	計算の順序を理解していない。
	⑤	58	33	9	$-\frac{32}{5}$	3	除法をせず、まず約分してしまっている。また、数だけ見て約分できる数ができる限りやってみるという誤答もあった。
2	①	59	40	1	$-\frac{1}{3} < -\frac{1}{2}$	37	負の数の大小関係を理解していない。
	②	84	16	0	BCA	4	Bを基準としてAとCを比べている。また大きい順に答えたCABも7%あった。
	③	45	54	1	ア	24	題意を理解せず、料金で答えてしまっている。
	④	76	23	1	C	15	$-10 \div 5 = -\frac{10}{5}$ として分数は数の範囲としている。
3	①	88	9	3	9月30日の方が0°C高い	2	10月1日と比べている。
	②	44	54	2	10月3日	51	基準が前日にあることを理解せず、表の値から判断している。
	③	31	65	4	21.25°C	19	10月1日を基準として計算している。
4	①	77	29	1	$-a^2b$	16	文字式の表し方を理解していない。 $(-1)a^2b$ や $a^2b(-1)$ の誤答も多く見られた。
	②	76	22	2	$\frac{5x-y}{2}$	4	計算順序を無視し、 $(x \times 5 - y) \div 2$ として表している。
5	①	70	29	1	5x	9	$2x+4-x=x+4=5x$ としている。同類項の計算の理解が不十分である。
	②	35	60	5	$-3x+1$	14	分配法則での符号のミスが多い。また約分をしていない式 $-\frac{12x+4}{4}$ も目立った。
	③	51	37	2	$4x+11$	10	()をはずすときに、 $-(2x-1)=-2x-1$ としている。

										×の記号の省略を忘れている。
6	②	17	75	9	3	$x \times 5$	$4x + 3y = 1$	26	11	速さ・道のり・時間の数量関係が理解できていない。他に $4x + 3y$ の解答が18%あった。
	③	52	39	9	9	人数を表している		9	9	言葉の説明が不十分であったり、式の事実を説明している解答が目立った。
7	①	61	33	6	6	5		12	12	代入した式を、 $10 - 2 - 3$ と計算している。 $-2x$ の意味を理解できていない。
	②	66	25	10	10	360		4	4	2つの比の関係が読み取れず、 3×120 の計算をしている。
	①	78	21	1	1	$x = -13$		8	8	$x = -9 - 4$ として計算している。移項したときに、符号を変えていない。
8	②	56	43	1	1	$x = 2$		21	21	$x = 8 \div 4$ として計算をしている。等式の性質が理解できていない。
	③	73	26	2	2	$x = 3$		18	18	移項は正しくできてきているが、最後の $3x = -9$ の両辺を3で割る計算で、符号のミスがあった。
	④	46	38	16	16	解は正しいが、途中式の間違え		5	5	解く手順は理解できているが、途中の式を正しく書くことができない。
	①ア	0	40			$10x + 8x = 4$		2	2	数量関係を読み取らずに、目についた数で式をつくってしまった。
9	①イ	17	22	8	8	$10x = 8x + 4$		4	4	AさんがBさんより4日早く読み終えたことと、本のページ数との間の数量関係を読み取れずに式をつくってしまった。
	①ウ	1	13			$10x = 8(x + 4)$		2	2	「Bさんは本をx日で読み終えた」として式をつくるはずが、「Aさんは本をx日で読み終えた」として式をつくってしまった。
	②	31	39	29	29	160ページ・16日・12日		3	3	AさんとBさんの日数が逆になっている。
	①ア	58	32	10	10	9		16	16	下段の数値が、(ア) $\dots \cdot 12 \cdot \dots \cdot 15$ となっているので、3の倍数で9と答えている。同様に6と解答しているのが10%あった。ともに変わる2つの変数に着目していない。
10	①イ	48	40	12	12	11		13	13	2つの数の差に着目して4になるように、11と答えている。アと同じように、ともに変わる2つの変数に着目していない。
	①グラフ	39	42	19	19	折れ線グラフ 途切れている		16	16	座標の点が取れずに折れ線グラフになっている。 また同じ割合で、座標は取れているが、途中で途切れてしまっているグラフもあった。
	②	38	46	16	16	62.8cm^2		8	8	円の面積の求め方が理解できていない。
	①	39	51	10	10	ア 8% イ 16%		7	7	問題文から「日用品」と「雑誌・本」の間の売上金の関係を読み取れずに、逆になっている。
11	②	57	30	13	13	どちらも10%だから		19	19	「割合」の意味を理解できずに、どちらも「10%」ということから判断している。

2 学年

問	小問	正答率	誤答率	無答率	誤答例	%	誤答例の考察
1	①	84	14	2	$11x^2 + 6x$	4	$-4x^2$ の項を $+4x^2$ と間違えて計算している。
	②	78	19	4	$-x - 6y$	5	$-4(x - 3y)$ を計算する際に、 y の項の符号を間違えている。
	③	64	28	8	$2b$	4	$\times(-2b)$ を $\div(-2b)$ と間違えて計算している。
	④	48	33	18	$2x - 5y$	4	方程式のように、分母をはらって計算している。
2	①	58	26	16	$b = \frac{2a+9}{5}$	4	$2a$ を移項した時に、符号を変えていない。
	②	45	35	20	$18xy$	5	代入していない。
3	①	81	13	6	$x = \square, y = 2$	6	y の値は求められたが、 y の値を求める際に代入の計算を間違えている。
	②	64	23	13	$x = 3, y = \square$ $x = \square, y = -5$	7	加減法や代入法で片方の値は求められるが、もう一方の値を求める際に代入の計算を間違えている。
	③	71	15	14	$x = 2, y = 4$	9	x の値は求められたが、 y の値を求める時に負の数の割り算を間違えている。
4	①	54	27	19	$x + y = 111$	21	公園を清掃した人数は6か所ともそれぞれ x 人であることが理解できていない。
	②	74	12	14	101	3	公園を清掃した人数の合計を10人と間違えて、計算している。
	③	27	39	34	$x : 2, y : 99$	12	②の話と混同しており、1日目の公園を清掃した人数60人に39人を足して、 y を求めている。
5	①	43	52	5	ウ、イ、イ	11	表と式は同じ関係のものを選べたが、式の a の値とグラフの傾きの関係を理解していない。
	②	26	45	29	$y = \frac{x}{4}$	20	反比例の関係を式に表した場合の式の形を覚えていない。

6	①	25	72	3	ウ	32	球の体積が理解できていない。
	②	51	47	2	イ	19	立体を展開図で表した時の位置関係を理解していない。
	③	40	41	19		5	垂直二等分線の作図が理解できていない。
7	①	33	47	20	60° 80°	10 10	平行線と角の関係が成り立っている部分を見つけれられていない。見た目で求めている。
	②	47	35	19	30°	7	多角形の内角、外角の大きさについて理解していない。見た目で求めている。
8	①	31	58	11	ウ	37	証明をするために示さなければいけない、2つの三角形の対応する辺を理解していない。
	②	53	41	6	イ	22	見た目や二辺が等しいということだけで選んでいる。三角形の合同条件を理解していない。
9	①	38	58	4	エ	44	ヒストグラムの階級の幅が理解できていない。最小値、最大値が理解できていない。
	②	26	70	4	ア	67	Bさんのヒストグラムから65歳以上の人数が読み取れていない。
10	①	45	53	2	ウ	39	絵柄は正しいものを選べているが、反転する円の中の位置が変化することを見落としている。
	②	35	46	19	絵柄○ 説明不十分	34	点対称まで考えている。(7%) 線対称であることを正しい言葉で説明できていない。(5%)

3学年

問	小問	正答率	誤答率	無答率	誤答例	%	誤答例の考察
1	①	94	6	0	$2ab - 3a + 6b - 12$	2	4と2bの乗法を間違えて、6bとしている。
	②	79	20	1	$16x - 24xy + 9y$	4	xとyを2乗するのを忘れている。
	③	73	25	2	$-4x - 9$	10	符号を間違え、定数項を-9としている。
2	①	90	6	4	$3ab(2a + 3b)$	2	符号を間違えている。
	②	95	4	1	$(x - 1)(x + 12)$	2	計算間違いをしている。
	③	74	16	10	$2(9x^2 - 1)$	8	因数分解の途中で終わっている。
3	①	95	5	0	$-1\sqrt{2}$	2	余分な1が入っている。
	②	85	7	8	$12\sqrt{3}$	2	平方根の計算が理解できていない。
	③	66	18	16	$\frac{\sqrt{6}}{\sqrt{4}}$	2	平方根の中は正しく計算しているが、整数部分の計算を間違えている。
	④	82	11	7	4	3	$4\sqrt{7} - \sqrt{7} = 4$ としている。
4	①	81	16	3	$x = 0, x = 10$	5	因数分解の仕方を間違えている。(2次方程式の解法の基本を間違えている。)
	②	70	19	11	$x = 6$	8	$x = 0$ も解であることを理解していない。
	③	74	18	8	$x = 6, x = -1$	4	因数分解を間違えている。
	④	72	13	15	$x = 2 \pm \sqrt{3}$	3	+2を移項する時、符号を間違えている。
5	①	70	27	3	ア イ ウ	10 13 3	式の意味を理解していない。
	②	53	24	23	$(x + 4)(x + 6) = 2x$	5	もとの花だんの面積を勘違いしている。
	③	54	20	26	-2を代入すると、面積が長方形より正方形の方が大きくなるから	3	吟味の意味を理解していない。

6		16	65	19	82度	20	△AFDを二等辺三角形と考慮してしまっている。
7	①	51	48	1	8通り	7	女子の座り方と男子の座り方の場合の数を足している。
	②	37	62	1	$\frac{1}{6}$	16	AさんとDさんがとなりになるすべての場合を考慮していない。
	①	85	9	6	1000m	2	兄の速さを求めている。
8	②	19	46	35	$y = 1000x$	4	グラフから傾きや切片を求めることができていない。
	③	67	18	15		3	Aさんは歩きから途中で兄と車に乗って帰るが、速さを変えずにグラフをかいている。
	①理由Ⅰ	68	31	1	ウ	13	問題文から三角形のどの辺や角が等しいのかを判断できていない。
9	①a・b	58	29	13	DA=FE・AE=DF	3	aとbに入る式を逆に書いている。
	①理由Ⅱ	75	22	3	カ	5	aとbに入る式をもとに平行四辺形になるための条件を判断できていない。
	②	48	49	3	ウ	29	証明することの意義を理解できていない。
10	①	19	54	27	根拠の②が正しく書けていない。または、書かれていない。	28	平行線の同位角は等しいという根拠を使って説明できていない。
	②	82	11	7	40cm	5	比の計算の途中で終わっている。
	①	59	25	16	40cm	7	水そうの形とグラフを対応させて考えていない。
11	②	58	31	11	イ・AはBに比べて最初水そうの形が小さく、途中で大きくなるから。	19	yを水そうの体積として考えている。

5. 全体的な考察

全体的な出題傾向は例年からの傾向を引き継ぎながらも、新学習指導要領の移行措置の学習内容を考慮して難易度は変えずに出題した。難問や奇問、いわゆるひっかけ問題を出し、どこでひっかかったかを調べるのではなく、数学的にどこで・何につまずいているのかを診断できるようにした。新学習指導要領からの移行措置で学習している範囲については、川崎市の統一テストである学習診断テストが先行して出題し、それが提言になるように作問した。

また、ある事柄を説明することができる表現力や論理的に説明する力を養えるようにするために、現在どの程度の記述力があるのかも診断できるようにした。その後、生徒や教師が何をすればいいのか、何が分かればいいのかをフィードバックできるような問題にした。

これは生徒だけではなく、そのつまずきを見た教師が過去の授業を振り返り、今後どのような授業をしていくべきか、何に気をつけて授業を行うべきなのかの指針になるようにした。そこで、普段の授業で解説をするときにそのまま題材や教材として使用できるようにも配慮した。

現在の教育課程の学習内容の中で、単に計算ができる、問題が解けるということに留まらず、数学的にこのようになるのはこういう理論から成り立つというポイントが分かるように問題の出題の仕方を工夫した。

最後の読解力を問う問題では、数学的に自分の考えを論理的に説明し、表現する力を診断できるようにした。

全体的な考察のまとめとして、指導が重要と思われる事項について各学年でまとめてみた。

1 学年

- ・ 計算順序、文字式の表し方、分配法則、方程式など、計算に必要な知識の定着を図ること。
- ・ 式や文章の意味を理解すること。
- ・ 数学的な表現を用いて自分の考えを述べること。(途中の式を正しく書くことや説明できること)
- ・ グラフや文章から、なぜそうなるのかを理解していること。また、それが数学的に説明できること。
- ・ グラフや文章から理解し、対比させて総合的に判断すること。
- ・ 図形の面積が求められること。

2 学年

- ・ 符号を含めた指数や累乗の計算、等式の変形、代入、文字と数値のやりとりができること。
- ・ 問題の文章の意味を理解すること。
- ・ 関数とはどんな関係なのか、式から意味を理解できること。
- ・ なぜそのように作図するとこうなるのかという理論も含めて理解していること。
- ・ 図形において、錯角や多角形など角度を求めるためにいろいろな見方ができること。
- ・ 数学的な表現を用いて自分の考えを述べること。(途中の式を正しく書くことや説明できること)
- ・ 式や図形が、なぜそうなるのかが数学的に説明できること。
- ・ 文章からだけではなく、式や表・グラフなどの資料から総合的に判断できること。
- ・ 関数について、表・式・グラフの3つのどれからも同様に読み取れること。

3 学年

- ・ 分配法則，因数分解，展開，根号等，計算の定着を図ること。
- ・ 根号や展開については，意味も正しく理解していること。
- ・ 2次方程式において解の吟味をする訳を理解していること。
- ・ 樹形図の意味や，樹形図を使って確率を考えられること。
- ・ 証明の理由を書く訳や証明の道筋，流れ，同様にできること等，理論を理解していること。
- ・ 数学的な表現を用いて自分の考えを述べること。（途中の式を正しく書くことや説明できること）
- ・ 図やグラフから，なぜそうなるのかが数学的に説明できること。
- ・ 文章からだけではなく，式や表・グラフなどの資料から総合的に判断できること。

◎いずれの学年においても，単に「計算ができる」「公式を使える」「問題が解ける」と，「数学的な見方や考え方ができる」「数学的に物事をとらえ，表現することができる」「自分の言葉で数学的に説明できる」は，決して同様ではないことがわかる。ことあるごとに「なぜそうなると思う？」「どうしてこう計算していいの？」「この部分は何を表している？」「この部分は何を意味しているの？」等，普段の授業から教師側が積極的に発問し，生徒が「数学的に考えること」「数学的に説明すること」を頻繁に行える授業を提案したい。

6. 指導にあたって

指導にあたっての留意点

- ①単に計算ができる，公式を覚えればよい，機械的に手順を踏めばよい等，数学的な理屈や理論から離れずに授業を展開し，なぜそうなるのか，なぜそれが必要なのか，どうしてそうなるのか，どうしてそれが成り立つのか等，考えさせて納得できるような時間を授業中に常につくりたい。
- ②知識がある，というだけでは解けない問題，または数学的な学力が十分ではない生徒にも対応できる問題という相反したような問題を授業中やテストにも常に取り扱いたい。
- ③身のまわりにある事柄と数学を結び付けられるような授業展開や，身のまわりの事柄を数学的に考察できるような題材を取り扱うために，日々様々な事柄から常に教材研究の目線を忘れずに過ごしたい。
- ④評価の観点である「数学における関心・意欲・態度」を見とれるようなテスト問題を作成することによって，知識だけに頼らない力をつけさせたい。
- ⑤学校の定期テストでも説明させる問題や，式や図に限らず理論や見方を問う問題を出題することで表現力の向上につなげていきたい。

指導事例

基本的にはすべての問題から指導案や授業ができ、診断テストの問題を使用することがそのまま授業に活かせることができるように出題した。特に文章問題はそのまま授業で扱い、細かな疑問や理論を解説してもらいたい。また、文章の文言にも注目してもらいたい。

年度内に再度定着を図れるように、各学年用に手立ての復習プリントを作成した。

以下のように指導事例（各学年の指導の注意点）を挙げておく。

1 学年

問2 ③ 不等号の意味について、文章から読み取れるようにする。

問2 ④ 図を使い数の概念について説明する。

問3 正負の数の意味を文書から読み取れるようにする。

問8 ④ 途中の式を様々な解き方から解説する。

問9 ① 自分で決めた文字から解く。

問11 グラフと文章から全体を把握し、説明できる。

2 学年

問5 ① 表・式・グラフから、連動して関数の表す意味を理解する。

問6 ③ 作図について、なぜそのようにかくのかを理解する。

問9 積極的にこの単元の作問をし、比べて説明することを通じて表現力を養う。

問10 教えることだけでなく、説明できるようにする。

3 学年

問5 ① 解けるだけではなく式の意味も理解する。

③ 解の吟味をする訳を理解する。

問7 樹形図をかいてみることから始まることを理解する。

問9 ① 証明をするにあたって、その筋道をまず考えられるようにする。

② 違う図形でも同様に証明できることが納得できる。

問11 図やグラフから理解したことを、数学的に説明する。

7. 授業改善にむけて

「教師が教える」から「課題から生徒が自ら学ぶ」授業へ変化をさせていきたい。そのためには課題選びや提示の仕方、教師の発問の仕方にかかっている。常に教材研究や情報交換をし、教師がアンテナを張るところからすべてが始まる。しかし、急にすべてが改善されることはなく日々の努力を続けることになるが、まずは常に生徒が「自ら考え、表現すること」を授業の軸にして発問してはどうだろうか。「教える」から「説明してもらおう」という授業の主体を変え、それを続けることで現在の課題は多少改善されるのではないだろうか。こうするとこうなると教えてきたものを、こうするとこうなるのはなぜだと思う？と発問し、理解することの楽しさを実感してもらいたい。

平成 22 年度

川崎市立中学校 学習診断テスト 理 科

誤答分析と学習指導上の考察

川崎市教育委員会
川崎市立中学校長会
理科調査委員会

1. 作問にあたって

- (1) 学習診断テストの趣旨をふまえ、学習指導要領に示されている内容の基礎的・基本的事項が理解されているかどうか、また、どこにつまずきがあるかを判断できる問題になるよう努めた。
- (2) 基本的な科学概念や自然のしくみの理解について、わかりやすい表現で診断できる問題となるよう心がけた。
- (3) 「自然事象についての知識・理解」、「科学的な思考」、「観察・実験の技能・表現」、「自然事象に対する関心・意欲・態度」の4つの観点について、それぞれの「基礎・基本」について診断できる問題づくりに努め、「知識・理解」に偏ることのないように配慮した。
- (4) 観察・実験の技能・表現に関して、器具や操作についての知識だけを問う問題にならないように配慮し、実際の観察・実験が想起できるような展開になるよう努めた。
- (5) 科学概念と身近な現象や日常での体験の関連を意識し、獲得した概念の応用、適用という観点から思考力をみる問題の作成に努めた。
- (6) 各単元の学習内容、順序に配慮し、下位概念から無理なく問題に取り組めるようストーリー性をもった問題になるよう心がけた。
- (7) 国際学力調査（PISA・TIMSS）の結果を受け、「読解力」について診断できる問題を出題した。
- (8) 学習診断テストの趣旨をふまえ、各学校におけるこれからの学習指導の見直しに役立てることのできる問題づくりに努めた。
- (9) 各単元の内容量、学習配当時間を考慮し、幅広くほぼ全内容を網羅するように問題数を調整した。なお、出題範囲は各学年とも前年度11月から1年間（10月まで）の学習内容とした。
- (10) 小問どうしが関連し、連続的に正解をしないと解答できないような出題を避け、各小問が独立した問題となるように工夫した。
- (11) 新学習指導要領への移行期間になり、すべての学年で新しい指導内容が追加されたことをふまえ、追加項目は出題するよう心がけた。

2. 出題のねらい

問題	1 年	2 年	3 年
問 1	【光の性質】 ・光が物質の境界面で反射・屈折するときの規則性を理解しているか。	【物質のすがた】 ・身の回りにある物質の性質について理解しているか。	【化学変化の規則性】 ・物質の分解や物質の成り立ち、化合などで起こる現象や考え方について理解しているか。
問 2	【光の性質】 ・凸レンズのはたらきについて物体の位置と像の位置および大きさの関係について理解しているか。	【物質のすがた】 ・気体の種類やその性質、発生方法について理解しているか。	【化学変化の規則性】 ・化学変化の前後では質量に一定の関係があることを理解しているか。
問 3	【音の性質】 ・音の性質や音の高低・大小について、物体の振動と状態の違いについて理解しているか。	【物質のすがた】 ・物質の状態変化について理解しているか。	【力と運動】 ・運動を調べる方法や、運動の規則性を理解しているか。
問 4	【力の性質】 ・力のはたらきによって、物体の形が変わったり、運動が変化したりすることを理解しているか。	【水溶液】 ・水溶液の状態や性質について理解しているか。	【仕事とエネルギー】 ・仕事量や仕事率を理解しているか。力学的エネルギーは保存されることを理解しているか。
問 5	【圧力の性質】 ・圧力について力の大きさと面積に関係があることや、気圧・水圧・浮力について理解しているか。	【電流】 ・回路を流れる電流と電圧の関係、発熱量について理解しているか。	【水溶液とイオン】 ・電子とイオンの関係を理解しているか。電池で電気エネルギーを取り出すしくみを理解しているか。
問 6	【身近な植物の観察】 ・生息環境と植物の種類についてや、コケ・シダ植物のなかまのふやし方を理解しているか。観察における技能が身についているか。	【電流】 ・電子の性質と電流との関係について理解しているか。	【金属資源と酸素の化学変化】 ・酸化と還元は同時に起きることや、化学変化には熱の出入りが伴うことを理解しているか。
問 7	【栄養分をつくるしくみ】 ・光合成のしくみを理解しているか。	【電流の利用】 ・電流と磁界の関係について理解しているか。	【大気中の水】 ・霧や雲の発生のしくみを理解し、気圧、気温、湿度と関連させてとらえているか。
問 8	【種子植物のつくり】 ・被子植物と裸子植物のつくりを理解しているか。	【火山と地震】 ・地下のマグマが岩石となるとき、組織の違いを成因と関連づけて考えることができるか。	【大気中の水】 ・観測方法や記録のしかたを身につけ、気象要素と天気の見出すことができるか。
問 9	【栄養分を運ぶしくみ】 ・水や栄養分を運ぶしくみについて理解しているか。	【地層と過去のようす】 ・地層のでき方を岩石やボーリングによる特徴と関連づけて考えたり、大地の変動について理解しているか。	【大気の動きと変化】 ・前線と前線付近の天気を関連づけて理解しているか。
問10	【植物のなかまわけ】 ・種子植物の分類ができるか。孢子植物のなかまについて理解しているか。	【火山と地震】 ・地震の記録などをもとに、地震の揺れの大きさや伝わり方の規則性に気づき、地震発生のしくみを理解しているか。	【細胞と生物の成長】 ・体細胞分裂の観察方法を理解し、細胞分裂と生物の成長を関連づけてとらえているか。
問11		【動物のなかま】 ・動物の体のつくりから特徴を比較し、いくつかの仲間に分類されることや、生物に共通する細胞の構造について理解しているか。	【生物のふえ方】 ・生物のふえ方と形質の伝わり方を理解しているか。
問12		【動物のからだのつくりと働き】 ・受け取った刺激を神経系との反応として理解し、血液の循環や血管構造について理解しているか。	【生物のふえ方】 ・実験に基づいて、形質が伝わるときの規則性を理解しているか。
問13		【動物のからだのつくりと働き】 ・栄養分の分解から始まった消化から吸収までのはたらきについて総合的に理解しているか。	
問14		【動物のからだのつくりと働き】 ・生物がどのように進化してきたのかを動物同士の変化の特徴として理解しているか。	

3. 小問ごとの観点・ねらい・正答率と誤答分析 中学校第1学年理科

No	問題番号		正答 (選択式・番号、記述式・言葉)	観点			問題の内容	出題のねらい	正答率(%)
	大問	小問		科学的な 思考	観察・実験 の技能・表 現	自然現象 についての 知識・理解 欲・態度			
1	a	5	◎			①光の性質	光が空気中から半円形レンズへ進むとき、一部の光が反射していることから反射の法則を理解しているか。 光が空気中から半円形レンズへ進むとき、境界面で光が屈折していることを理解しているか。	60	
2	b	2	◎					58	
3	c	全反射	◎				光が水中から空気中へ進むとき、入射角を一定条件満たすと、光が全反射することを理解しているか。	50	
4	a	焦点	◎				凸レンズに光を通して像ができるまでの理屈を理解しているか。	62	
5	b	(図略)	◎				凸レンズが作る実像が上下左右反対になっていることを理解しているか。	40	
6	c	3		◎			凸レンズに像ができる条件として、焦点距離との関係を理解しているか。	22	
7	d	(図3):1、(図4):3	◎				虚像について理解しているか。	42	
8	e	虚像	◎				虚像について理解しているか。	60	
9	a	音は小さくなる。	◎			②音の性質	音が空気を伝わることと理解しているか。	64	
10	b	(ことば):振幅、(番号):3	◎				オシロスコープの波形から、振幅と音の大小の関係を理解しているか。	42	
11	c	2	◎				モノコードの長さによって、音の高さが違うことを理解しているか。	42	
12	d	350(m/秒)	◎				音の伝わる速さについて、速さを求める計算を理解しているか。	36	
13	a	1、2	◎			③力の性質	力がはたらき、物体に起こる様々な現象について理解しているか。	10	
14	b	1、5	◎				力にはさまざまなものがあることを理解しているか。	28	
15	c	4	◎				力の3要素について理解しているか。	42	
16	d	(図略)	◎				はねに加わる力とはねの伸び方、力の関係について理解しているか。	40	
17	e	1	◎				力の作用について理解しているか。	48	
18	f	3	◎				質量と重さについて、その違いを理解しているか。	34	
19	a	50(N/m ²)	◎			④圧力の性質	圧力についてその求め方を理解しているか。	18	
20	b	3	◎				力の大きさと面積の関係を理解しているか。	58	
21	c	4	◎				大気にも重さがあり、圧力があることを理解しているか。	42	
22	d	(上下):2、(左右):6	◎				水中における圧力を理解しているか。	42	
23	e	0.3(N)	◎				浮力について理解しているか。	72	
24	a	3	◎		◎	⑤身近な植物 の観察	生息環境と植物の種類について理解しているか。	28	
25	b	胞子	◎				シダ植物のなかまのふやし方を理解しているか。	38	
26	c	空気を入れないようにする。	◎				プレハラのつくり方を理解しているか。	72	
27	d	2	◎				顕微鏡の使い方を理解しているか。	66	
28	e	2	◎				身近な水生生物にはどのようなものがあるかを知っているか。	82	
29	a	3	◎			⑥栄養分をつ くるしくみ	光合成には二酸化炭素が必要であることを理解しているか。	76	
30	b	対照実験	◎				対照実験について理解しているか。	64	
31	c	1	◎				光合成によって発生する気体を理解しているか。	88	
32	d	(図略)	◎				光合成はどこで行われているかを理解しているか。	58	
33	e	葉緑体	◎				光合成でデンプンをつくるはたらきについて、正しく理解しているか。	72	
34	a	子房	◎			⑦種子植物の つくり	被子植物のつくりを理解しているか。	62	
35	b	(記号):0、(ことば):胚珠	◎				受精が起こると、花のどの部分が成長して種子をつくるかを理解しているか。	56	
36	c	雌花	◎				裸子植物のつくりを理解しているか。	26	
37	d	6	◎				被子植物と裸子植物のつくりやはたらきを理解しているか。	32	
38	e	道管	◎			⑧栄養分を運 ぶしくみ	根から吸収した水や水にとけた養分を運ぶしくみを理解しているか。	52	
39	a	2	◎				植物の気孔の役割を理解しているか。	66	
40	b	蒸散	◎				植物の蒸散について理解しているか。	64	
41	c	(図略)	◎				気孔の位置を理解しているか。	36	
42	d	3	◎				植物の光合成と呼吸のはたらきを理解しているか。	70	
43	e	4	◎			⑨植物のなか ま分け	単子葉類と双子葉類の特徴を理解しているか。	92	
44	a	4	◎				根毛の特徴を理解しているか。	50	
45	b	1	◎				被子植物のなかま分けができるか。	76	
46	c	双子葉類	◎				シダ植物とコケ植物の特徴を理解しているか。	4	
47	d	1、6	◎						

◎…主たる観点

第1学年					
大問	小問	正答	正答率%	誤答例 (%)	考察
1	a	5	60	4 (10) 1、2 (8)	光の反射・屈折についてはその現象が見られる時の角度についても合わせて理解を深めていきたい。 また、全反射のように理科の専門的な語句についても定着させたい。
	b	2	58	4 (10) 5 (8)	
	c	全反射	50	無答 (24)	
2	a	焦点	62	無答 (22)	焦点・虚像のような語句は概ね定着している。凸レンズに映る像を作図で示すことに慣れておらず、多くは光の道筋が理解できていない。 また、スクリーンに映し出される像は上下左右が逆さになるが、指導の際に観察する場所によって見え方が変わることにも触れておきたい。 実験のまとめとして物体とレンズとスクリーンの位置関係は、作図を関連させながら理解させたい。
	b	(作図省略)	40	光の道筋作図間違い(40) 無答 (16)	
	c	3	22	4 (50)	
	d	(図3): 1、(図4): 3	42	図3: 1、図4: 2(22) 図3: 3(22) 図4: 1(22) 4(18)	
	e	虚像	60	無答 (20)	
3	a	音は小さくなる。	64	振動・波 (10) 高く (4) 大きく (2)	音が空気を伝わっていくことは概ね定着している。音の高低・大小の変化が振動数・振幅の変化によるものだということを理解させたい。 また、そのときの波形の様子も合わせて定着させたい。音速を求める問題では計算間違いが非常に多く、授業で取り上げる際に式や単位の意味まで含めて理解させたい。
	b	(ことば): 振幅、(番号): 3	42	ことば: 無答 (26) 番号: 1 (22)	
	c	2	42	4 (28) 3 (16)	
	d	350 (m/秒)	36	計算間違い (34) 無答 (20) 340 (m/秒) (8)	
4	a	1、2	10	2を含む誤答 (48) 1を含む誤答 (26) 1、2を含む誤答 (10)	力が加わることによって見られる現象は具体的な例題を示し指導したい。力の種類については抗力を解答に含めたケースが多く見られ、抗力に関して理解がされていない。力の3要素は定着はしているようだが、支点と作用点の区別ができておらず、違いについて授業でふれておきたい。 グラフについては、記録点を打点することは概ね定着しているが、線をどのように引いたらいいのかが理解されていない。 力の矢印は長さや始点の意味を正確に理解させたい。特に重心に力が加わっていると見なすことにはふれておきたい。質量と重さを混同して考えている生徒が多い。
	b	1、5	28	1を含む誤答 (20) 5を含む誤答 (14) 1、5を含む誤答 (20)	
	c	4	42	2 (30) 3 (18)	
	d	(グラフ省略)	40	線が引けてない (30) 記録点が打点できない(18) 無答 (12)	
	e	1	48	4 (24)	
	f	3	34	4 (32)	

大問	小問	正答	正答率%	誤答例 (%)	考察
5	a	50 (N/m ²)	18	無答 (34) 計算間違い (26) 桁間違い (22)	<p>圧力・浮力の計算問題は無答も多く、式の意味や考え方を実験結果などから実際的に理解させたい。</p> <p>圧力に関して面と力の関係は概ね定着しているが、気圧のように目に見えないものになるとイメージがわからない傾向が見られる。</p> <p>水圧は深さによって大きさが変化していくことを実験などを通して注目させ、体験の中で指導していきたい。</p>
	b	3	58	1 (20)	
	c	4	42	2 (26)	
	d	(上下) : 2、(左右) : 6	42	3、6 (20) 1、6 (10)	
	e	0.3(N)	28	無答 (36) 計算間違い (36)	
6	a	3	72	1 (18)	<p>生物の生息環境について概ね理解しているが、日向や日陰に生息する植物や動物についての認識が不足している。スギナ(つくし)のようなシダ植物も野外観察で着目したいところである。</p> <p>近年では確実に観察できる完成品のプレパラートが販売されており、プレパラートを作る機会が少ないせいか「カバーガラスが傷つく、割れないように」などの破損に生徒の注意がむいてしまう傾向がある。また顕微鏡の使い方の出題であるdの誤答で、1または3の選択肢を選ぶ割合が多い。ピントの合わせ方についての指導が不十分であることがわかる。</p> <p>eの正答率は8割を超え、水中に生息する微生物の観察が徹底されていることがわかる。</p>
	b	孢子	38	花粉 (48)	
	c	空気を入れないようにする。	72	カバーガラスをわらないようにする スライドガラスが傷つくから	
	d	2	66	1 (16) 3 (12)	
	e	2	82	3 (8)	
7	a	3	76	2 (10)	<p>ほとんどの出題で高い正答率だったことから、光合成のはたらきについて概ね理解していると思われる。</p> <p>dの葉緑体を答える問題では、作図はできているが、ことばを答えられない傾向があり、解答に「でんぷん」と書いているものもあるので、観察をしているが何を観察しているかを理解していないと思われる。実験のねらいを明確にする必要がある。</p> <p>eの誤答から、植物の光合成と呼吸のはたらきによる気体の出入りが混同されている様子が見える。</p>
	b	対照実験	64	無答 (28)	
	c	1	68	2 (10) 4 (12)	
	d 図	(作図省略) 図の細胞内の葉緑体を黒く複数個塗りつぶしていること。	82	細胞壁も黒く塗る (4) 無答 (4)	
	d ことば	葉緑体	58	無答 (14)	
	e	4	72	1 (14)	

大問	小問	正答	正答率%	誤答例 (%)	考察
8	a	子房	62	胚珠 (10)	cの正答率が低いことから、裸子植物のつくりについて理解が不十分である。また、前年度に引き続き出題した、被子植物と裸子植物のつくりのうち、共通したはたらきをする部位を選ぶ問題であるdの正答率が低い。また、誤答のうち、5%前後が漢字の間違ひによるものであることにも着目したい。
	b	(記号) : Q (ことば) : 胚珠	56	(ことば) を無答 (12)	
	c	雌花	26	めしべ (14) 雄花 (14) 無答 (10)	
	d	6	32	3 (28) 2 (24)	
9	a	道管	52	師管 (12) 維管束 (10)	植物が水や養分を運ぶしくみについて概ね理解できていると思われる。ただ、気孔についての認識を間違えている割合が5割と多いことに注意したい。孔辺細胞を気孔と間違った認識をしない指導が必要である。
	b	2	66	4 (16)	
	c	蒸散	64	無答 (10) 光合成 (8)	
	d	(作図省略) 孔辺細胞の間のみ、黒く塗りつぶしていること。	36	孔辺細胞のみ、黒く塗りつぶしている (50)	
	e	3	70	4 (12) 2 (10)	
10	a	4	92		植物のなかま分けについて概ね理解しているが、dの正答率が極端に低いことから、シダ植物とコケ植物の共通点や相違点について理解がされていないことがわかる。また、誤答で選んだ選択肢が集中していないことから、シダ植物とコケ植物を混同している様子がうかがえる。
	b	1	50	2 (12) 3 (18) 4 (12)	
	c	双子葉類	76	無答 (10)	
	d	1、6	4	誤って選択している番号 2 (30) 3 (38) 4 (46) 5 (36)	

中学校第2学年理科

No	問題番号		正答			観点	問題の内容	出題のねらい	正答率(%)
	大問	小問	科学的な思考	観察・実験の技能・表現	自然現象についての関心・意欲・態度				
1	a	3			◎	金属の性質について理解しているか。	金属の性質について理解しているか。	56	
2	b	2, 3, 4			◎	有機物と無機物に分類することができるか。	有機物と無機物に分類することができるか。	31	
3	c	4			◎	プラスチックの性質について理解しているか。	プラスチックの性質について理解しているか。	49	
4	d	2.70(g/cm ³)	◎			密度を計算で求めることができるか。	密度を計算で求めることができるか。	37	
5	a	ア			◎	①物質のすがた	空気にして理解しているか。	61	
6	b	イ			◎		気体の性質と補集方法について理解しているか。	59	
7	c	3	◎				気体の性質と確認方法について理解しているか。	56	
8							融点から、物質を区別することができるか。	50	
9	a	パルミチン酸	◎				状態変化と温度の関係について理解しているか。	42	
10	b	4			◎		状態変化と温度の関係について理解しているか。	39	
11	c	1			◎		状態変化と粒子の集まり方や運動の速いについて理解しているか。	36	
12	a	23(%)			◎	②水溶液	質量パーセント濃度を計算で求めることができるか。	22	
13	b	1					飽和水溶液について理解しているか。	9	
14	c	水を蒸発させる。(図解)		◎			再結晶の仕方について理解しているか。	40	
15	a						電流と電圧の関係を、グラフに表すことができるか。	50	
16	b	1			◎		電流と電圧の値から、抵抗値を計算で求めることができるか。	51	
17	c	150(mA)	◎				直列回路を流れる電流の大きさについて理解しているか。	15	
18	d	300(J)			◎	③電流	発熱量を求めることができるか。	17	
19	a	6			◎		電子の性質について理解しているか。	56	
20	b	電子			◎		電子について理解しているか。	55	
21	c	4			◎		直流と交流について理解しているか。	54	
22	a	2			◎	④電流の利用	電流が流れる導線の周りに生じる磁界の向きについて理解しているか。	49	
23	b	エ			◎		電流の向きと受ける力の向きとの関係に気付いているか。	49	
24	c	3			◎		誘導電流の向きと磁界の向きについて理解しているか。	35	
25	a	等粒状組織			◎		深成岩の特徴的なつくりについて理解しているか。	28	
26	b	4			◎	⑤火山と地震	冷やし方の違いによる結晶のでき方から深成岩の特徴的なつくりについて考えることができるか。	54	
27	c	3			◎		図をしながら、火成岩とそれに含まれる鉱物の特徴について考えることができるか。	53	
28	a	6			◎	⑥地層と過去のようす	地形の様子や柱状図を活用し、地層の特徴を理解することができるか。	26	
29	b	石灰岩			◎		堆積岩の特徴を理解しているか。	18	
30	c	しゅう曲			◎		大地の動きが地層に及ぼす影響を理解しているか。	23	
31	a	1			◎		初期微動と主要動のグラフから、二つの揺れの違いや特徴について読み取ることができるか。	68	
32	b	2			◎	⑤火山と地震	揺れの伝わる時間のグラフから、離れた土地へ初期微動が伝わる時間を考えることができるか。	50	
33	c	1			◎		初期微動継続時間を論理的に正しく理解しているか。	63	
34	d	1			◎		プレートによる地震発生のしくみを理解しているか。	46	
35	a	軟体動物			◎	⑦動物のなかま	無せきしい動物の仲間わけについて理解しているか。	58	
36	b	2, 3, 5			◎		草食動物のからだの特徴を理解しているか。	28	
37	c	4			◎		生物に共通の細胞のつくり、名称を理解しているか。	38	
38	a	2			◎		刺激を受け取る部位や神経系へのつながりを正しく理解しているか。	55	
39	b	危険から身を守ること。			◎		反射の利点について理解しているか。	49	
40	c	3			◎		肺での物質交換と血液によって酸素が運ばれていくことを理解しているか。	54	
41	d	2			◎		静脈の構造と特徴を理解しているか。	54	
42	a	だ液のはたらきだけを確かめたいから。			◎	⑧動物のからだのつくりと働き	対照実験の意義を理解しているか。	24	
43	b	語群 I			◎		消化酵素の実験手法を理解しているか。	69	
44	c	語群 II			◎		さまざまな消化のはたらきを段階的に理解しているか。	55	
45	d	5			◎		さまざまな動物の特徴などから進化について考察することができるか。	54	
46	a	3			◎		せききしい動物の特徴などから進化について理解しているか。	53	
47	b	2, 5 相同器官			◎		進化の証拠である器官の変化について理解しているか。	27	

◎…主たる観点

第2学年					
大問	小問	正答	正答率%	誤答例 (%)	考察
1	a	3	56	2 (22) 1 (18)	金属の性質では、金属は必ず磁石につくと考えている生徒が多い。また、有機物の性質として、燃えると二酸化炭素を生じることを理解していない。プラスチックの性質については、表の読み取りが正しくできていないようである。密度については、質量と体積の関係から導き出すことができていない。小数点の位置を間違えている生徒もおり、計算力をつけさせることが必要である。
	b	2、3、4	31	1、2、3、4 (20) 1、2、3、6 (14)	
	c	4	49	1 (36)	
	d	2.70(g/cm ³)	37	無答 (12) 桁間違い (12)	
2	a ア	窒素	61	酸素 (20)	気体の性質・種類については、概ね理解できている。酸素、二酸化炭素の順に空気中の含有量が多いと考えたり、気体の性質から、気体の特定や、気体の収集方法に結びつけることができない生徒も多い。気体の性質については、多くの単元で必要となるため、知識の定着を図ってきたい。
	a イ	酸素	59	二酸化炭素 (22)	
	b	3	50	5 (24) 4 (12)	
	c	2	56	1 (14) 3 (12) 4 (10)	
3	a	パルミチン酸	42	無答 (14) 塩化ナトリウム (8)	グラフから、物質がどのような状態なのかを読み取れない生徒が多い。物質の特定では、表にない物質を書く生徒もいた。融点、沸点に達するまでは、固体のみ、気体のみ状態であることを理解できていない。
	b	4	39	5 (30) 2 (18)	
	c	1	36	2 (60)	
4	a	23 (%)	9	3 (%) (20) 無答 (14)	質量パーセント濃度については、溶質の質量を溶媒の質量で割っていたり、小数点の位置を間違えているなど、ほとんどの生徒が理解できていない。また、温度と溶解度の関係についても理解できていない。再結晶の方法については、蒸発と蒸留を混同している生徒が多い。
	b	1	22	3 (30) 2 (26) 4 (12)	
	c	水を蒸発させる。	40	無答 (16) ろ過する (14) 冷やす (8)	
5	a	(グラフ省略)	50	1点減点 (10) 無答 (10) 直線を2本 (10)	グラフの書き方については、概ね理解できている。抵抗値を求める問題では、抵抗器Xと抵抗器Yを混同していたり、公式の使い方や割り算の方法が理解できていない。直列回路については、抵抗器YにもXに加えたものと同じ電圧がかかっていると考えている。消費電力(W)を求められずに、電圧×秒で答えている生徒が多いなど熱量の求め方が理解できていない。
	b	1	51	2 (20) 無答 (10) 4 (8)	
	c	150(mA)	15	310(mA) (24) 無答 (12)	
	d	300(J)	17	600(J) (42)	

大問	小問	正答	正答率%	誤答例 (%)	考察
6	a	6	5 6	2 (2 2)	電子という言葉や、その性質については、実験結果から読み取ることができている。直流、交流では、電流の向きや、発光ダイオードの性質の理解ができていない。
	b	電子	5 5	粒子 (1 2) 無答 (1 2)	
	c	4	5 4	3 (3 0) 2 (1 4)	
7	a	2	4 9	1 (2 2) 3 (1 6) 4 (1 2)	電流によって生じる磁界の向きや、磁針の極の示す向きについては、まだ理解が十分でない。電流が磁界によって受ける力では、電流の向きを逆にとすると、磁界の向きが逆になること、それによって受ける力の方向も変わることが理解されていない。なぜ、その方向に力が生じるのか、電流と磁界の関係など、実験を通して理解を深める必要がある。
	b	エ	4 9	オ (4 8)	
	c	3	3 5	2 (3 4) 1 (2 0)	
8	a	等粒状組織	2 8	無答 (2 4) 火山岩 (8) 斑状組織 (6)	組織の名称として「等粒状組織」や「斑状組織」という言葉は定着しており、正答率は高かった。しかし、組織の名称と具体物の区別は混同していた。深成岩の成り方や岩石の特徴を読み取る問題についてもよく理解していた。表から鉱物の割合によって火成岩の色が決まることを読み取ることは苦手としていた。
	b	4	5 4	2 (1 6) 3 (1 6)	
	c	3	5 3	5 (1 8) 4 (8) 1 (8)	
9	a	6	2 6	1 (2 8) 4 (1 2) 5 (1 2)	岩石の粒の大きさについては順番は覚えているが、どちらが早く沈むのか、なぜそのように沈むのか、までは定着していない。石灰岩やしゅう曲について答える問題については他の語句との混同が多くみられた。特にしゅう曲については断層や地層といった間違いが多く見られた。
	b	石灰岩	1 8	無答 (3 2) 石炭岩 (4) 凝灰岩 (4)	
	c	しゅう曲	2 3	無答 (3 2) 断層 (1 4) 地層 (6)	
10	a	1	6 8	4 (8)	aの問題については高い理解度が示された。重要語句として定着している。bは、グラフから読み取り、かつ計算も求められる問題であったが、よくできていた。cやdの問題についても約半数が正答しており、知識として定着していることがわかった。全体として地震についてはよく理解しているように感じられた。
	b	2	5 0	3 (2 6)	
	c	1	6 3	3 (1 8) 2 (1 2)	
	d	1	4 6	3 (2 2) 4 (2 2)	

大問	小問	正答	正答率%	誤答例 (%)	考察
1 1	a	軟体動物	5 8	無せきつい動物 (1 2) 魚類 (6)	新学習指導要領についての問題を多く取り入れた。出題形式については今後、更なる検討が必要と思われる。aの問題では図が入り、無せきつい動物の一覧表もあることから記述問題、新学習指導要領の問題としてはよくできていた。 むしろbの問題では、肉食動物と草食動物の目の位置や歯の種類について完全に理解している生徒は少数であった。特に門歯については理解が不足している様子がうかがえた。
	b	2、3、5	2 8	2、5 (5 6) その他、不完全解答多数	
	c	4	3 8	3 (3 0) 1 (1 2)	
1 2	a	2	5 5	4 (2 4)	a、c、dの選択問題ではどの問題も概ね理解されていた。しかし、文章説明問題で間違った生徒の中には、例文を参考にすることなく解答する生徒が見られた。反射の知識としての定着と同時に、問題文を読み、その中から得られる情報を活用する力が必要なのではないかと考えられる。
	b	危険から身を守ること。	4 9	無答 (2 2) 具体的な動作に関する説明	
	c	2	5 4	1 (1 8) 3 (1 6)	
	d	3	5 4	1 (1 6)	
1 3	a	だ液のはたらきだけを確認したいから。	2 4	無答 (1 2) 比較するため 対照するため	「なぜ、対照実験をするのか」「対照実験によって何がわかるのか」「対照実験をしないとどのような不都合が生じるのか」を問う問題として作成した。実験を行う上で、着目する条件を明確にして比較することの重要性や、該当する実験からわかること・わからないことについては、生徒の中であやふやな部分が見られるので、授業において解説することは非常に重要であると考えられる。 また、ベネジクト溶液については実験を通しての体験が色の変化等についての知識を高めていることを確認できる。
	b 語群 I	1	6 9	2 (1 8) 4 (1 2)	
	b 語群 II	5	5 5	4 (1 6) 3 (1 0)	
	c	3	5 4	1 (1 6)	
1 4	a	2、5	5 3	5のみ (8) その他、不完全解答多数	aの問題では表や図から読み取る問題であり、複数完答という形であったがよく答えられていた。やはり、図や表を活用する力は非常に高いと感じられる。 bの問題では〇〇器官という言葉であることは覚えているようであるが、やはりあやふやな知識であることが感じられた。新学習指導要領の内容として今後、更なる定着が求められる。
	b	相同器官	2 7	無答 (3 0) 感覚器官 (8) 進化器官 (6)	

中学校第3学年理科

No	問題番号		正答 (選択式一番号、記述式一言葉)	科学的な 思考	観点		問題の内容	出題のねらい	正答率(%)
	大問	小問			観察・実験 の技能・表 現	自然現象 についての 関心・意 欲・態度			
1	a	3		◎		①化学変化の 規則性	水酸化ナトリウム水溶液に電気を通したときの電極の反応を理解しているか。 水の電解分解を化学反応式で表すことができるか。	32	
2	b	$2\text{H}_2\text{O} \rightarrow 2\text{H}_2 + \text{O}_2$		◎			水は水素と酸素からできることを理解し、その化学反応を原子モデルで表すこ とができるか。	28	
3	1	(図略) 水		◎			実験結果より、反応前とは異なる物質が生じたことを見出すことができるか。 一定量の金属に化す酸素の質量には限界があることを理解しているか。	44	
4	c	1		◎			金属の質量と化合した酸素の質量の間には比例の関係があることを理解して いるか。	68	
5	d	2		◎			質量保存の法則を理解しているか。	80	
6	a	0.50(g)		◎			記録テープの結果より、平均の速さを求められるか。 斜面の角度が一定ならば、物体にはたらく力の大きさは同じであり、速さはしだ いに大きくなる運動であることを理解しているか。	38	
7	b	147.00(g)		◎			等速直線運動では、物体の移動距離が経過時間に比例していることを理解 し、データをグラフ化することができるか。	46	
8	c	35(cm/秒)		◎			台車にはたらく力の向きによって運動のようすが変化することを理解している か。	14	
9	a	(ア): 1、(イ): 2		◎			仕事の量を求めることができるか。	72	
10	b	(図略)		◎			仕事の原理を理解しているか。	64	
11	3	(ア): 1、(イ): 2 (台車と床とがはたらく力(面)で)運動の向 きと逆向きのはたらく力(面)はたらく力から。		◎			位置エネルギーと運動エネルギーの移り変わりを、正しく理解しているか。 原子の構造を理解しているか。 イオンの構造を理解しているか。	42	
12	d	100(J)		◎			塩化銅水溶液に電流を通したときの電極付近で起る反応を理解しているか。	50	
13	a	2(m)		◎			基本的な電池のしくみを理解しているか。	54	
14	b	(記号): Y、(仕事率): 2(倍)		◎			酸化と還元は同時に起きていることを理解しているか。	46	
15	c	3		◎			身近にある鉄などの金属について知っていると知っているか。	46	
16	d	4		◎			鉄の酸化反応が発熱反応であり、日常生活に利用されていることを知っている か。	64	
17	a	1		◎			露点の測定方法が身についているか。	90	
18	b	2		◎			飽和水蒸気量と温度の関係について理解しているか。	28	
19	c	降水		◎			雲のでき方を理解しているか。	60	
20	d	76(%)		◎			降水の原理を理解しているか。	38	
21	a	(図略)		◎			乾湿計を読み取り、湿度を求めることができるか。	44	
22	b	1016(hPa)		◎			天気、風力、風向の記号を覚え、使うことができるか。	24	
23	c	1		◎			気圧配置の図から気圧を読み取ることができるか。	44	
24	d	3		◎			気圧配置と風の吹き方の関係を理解しているか。	66	
25	a	ウ、キ		◎			前線面の様子を理解しているか。	50	
26	b	イ細胞壁、工業結晶、才液胞 のうちの2つの組み合わせ		◎			日本付近の低気圧、高気圧の移動を理解しているか。	72	
27	c	1		◎			日本付近の主な気団の様子を理解しているか。	72	
28	d	ウ、キ		◎			核が染色液で染まることを理解しているか。	76	
29	a	1		◎			動物と植物の体細胞のつくりの違いを説明することができるか。	68	
30	b	2		◎			細胞の実験で塩酸を使用する理由を理解しているか。	88	
31	c	3		◎			細胞分裂をさせる根の細胞の様子を理解しているか。	80	
32	d	6		◎			細胞分裂した細胞の成長について理解しているか。	78	
33	a	受精卵		◎			動物の生殖細胞を理解しているか。	68	
34	b	5		◎			動物の有性生殖のしくみを理解しているか。	94	
35	c	3		◎			被子植物の受精のしくみを理解しているか。	72	
36	d	2、5		◎			無性生殖でふえる生物を理解しているか。	64	
37	a	優性(形質)		◎			細菌同士のかげあわせでは、雑種第一代に優性形質が現れることを理解して いるか。	54	
38	b	1、4		◎			減数分裂のしくみを理解しているか。	32	
39	c	(まるい種子・しわのある種子=)3:1		◎			遺伝子の組み合わせとその割合を理解しているか。	76	
40	d	2		◎			DNAや遺伝子に関する科学技術について知っているか。	74	

◎…主たる観点

第3学年					
大問	小問	正答	正答率%	誤答例 (%)	考察
1	a	3	3 2	2 (4 0) 1 (2 2) 4 (6)	水酸化ナトリウム水溶液に電気を通したときの反応や、それを化学反応式で表すことへの理解は十分とはいえない。しかし、化学反応式を原子モデル図で表すことや、水が水素と酸素からできていることは概ね理解しているといえる。また、実験結果から反応前と異なる物質が生成したことを見出すことはあまりできていないと思われる。
	b	$2\text{H}_2\text{O} \rightarrow 2\text{H}_2 + \text{O}_2$	2 8	無答 (3 0) その他 (4 2) $2\text{H}_2\text{O} \rightarrow \text{H}_2 + \text{O}_2$ $2\text{NaOH} \rightarrow \text{Na} + \text{H}_2\text{O}$	
	c I、II	(作図省略)	4 4	無答 (6) その他 (5 0) I : ●● II : ●● I : ●● II : ●●○	
	c ア	水	6 8	無答 (1 4) その他 (1 8) H_2O 酸素	
	d	1	3 4	2 (3 0) 3 (1 8) 4 (1 8)	
2	a	2	8 0	無答 (2) 1 (8) 3 (8)	一定量の金属に化合する酸素の質量には限界がある事をよく理解しているといえる。しかし、金属の質量と、化合した酸素の質量との間には比例関係がある事や、質量保存の法則についての理解は十分ではないといえる。
	b	0.50 (g)	3 8	無答 (1 0) その他 (5 2) 2.00 0.25	
	c	147.00 (g)	4 6	無答 (1 6) 148 (6) 148.25 (6) 146 (6)	
3	a	3.5 (cm/秒)	1 4	無答 (6) 3 (2 4) 2 0 (1 0) 6 0 (1 0)	記録テープの実験結果をもとに平均の速さを求めたり、実験データを読み取り、グラフ化することの技能が不十分である。台車にはたらく力の向きによって運動のようすが変化することを考察したり、斜面の角度が一定ならば、物体にはたらく力の大きさは同じで、速さはしだいに大きくなるということについての理解は、概ねできているといえる。
	b	(ア) : 1、(イ) : 2	7 2	無答 (2) その他 (2 6)	
	c	(グラフ省略)	4	無答 (2 6) 1点減点 (2 2) その他 (4 8)	
	d	(台車と床とがふれ合う面で) 運動の向きと逆向きの力がはたらいたから。	6 0	無答 (1 4) その他 (2 6) 運動の向きに力がはたらかなくなった	
4	a	100 (J)	6 4	無答 (8) 1 0 (2 2) 1 0 0 0 (4)	仕事量を求めることや仕事の原理については概ね理解しているといえる。また、仕事率や、力学的エネルギーにおいて、位置エネルギーと運動エネルギーの移り変わりを考察することも概ねできているといえる。
	b	2 (m)	6 4	無答 (6) 5 (1 0) 1 (1 0)	
	c	(記号) : Y、(仕事率) : 2 (倍)	4 2	無答 (6) 記号 : X 仕事率 : 2 (3 0) 記号 : X 仕事率 : 4 (4)	
	d	1	5 0	2 (1 8) 4 (1 8) 3 (1 2)	

大問	小問	正答	正答率%	誤答例 (%)	考察
5	a	3	40	1 (28) 2 (20) 4 (12)	原子の構造については、十分理解しているとはいえないが、イオンの構造や基本的な電池のしくみ、塩化銅水溶液に電気を通したときの電極付近の反応については、概ね理解しているといえる。
	b	4	52	1 (16) 5 (16) 3 (10)	
	c	2	50	3 (26) 4 (14) 1 (10)	
	d	1、5	54	1、2、5 (12) 1 (6)	
6	a	(ア): O ₂ 、(イ): CO ₂	46	無答 (14) ア: 2CuO、イ: CO ₂ (6) ア: O、イ: CO ₂ (2)	酸化銅の還元や、その時に同時に酸化が起きているということについては、理解が十分でないと思われる。しかし、鉄などの金属の酸化についての知識は、概ね定着しているといえる。鉄の酸化による発熱反応と日常生活での利用を結びつけて考えることについては、十分にできているとはいえない。
	b	(物質名): 銅、(化学変化): 還元	46	無答 (16) 漢字間違い (6) 物質名: 銅 化学変化: 誤答(12) 物質名: 誤答 化学変化: 還元(3)	
	c	4	64	2 (14) 3 (12) 1 (8)	
	d	携帯用カイロ、花火 など	46	無答 (38) 燃料電池 発電機 ヨーグルト	
7	a	4	90	3 (6)	露点の実験については、各学校で実験を行っていることがわかる。小数の計算の誤答、温度同士を割った誤答が目立った。雲の発生の原理では、半数以上が理解しているが、湯気を連想するのか、温度の上昇を選ぶ誤答が多く見られた。露点の実験と関連づけて学習させたい。
	b	64 (%)	28	無答 (16) 60 (6) 67 (6)	
	c	2	60	1 (18) 3 (14)	
	d	降水	38	無答 (36) 再結晶、凝固など	
8	a	76 (%)	44	88 (16) 74 (12)	aは、目盛りの数え方を間違えているものが多い。bは、風向の表し方の定着があいまいである。cの読み取りは、基準となる線の探し方と等圧線の気圧の差が理解されていない。この分野は、実習によって習得するものが多いので、繰り返し問題に取り組む必要がある。
	b	(作図省略)	24	南東の風 (28) 晴れ (14) 風力違い (8)	
	c	1016 (hPa)	44	無答 (14) 1004(hPa) (6)	
	d	1	66	4 (12) 3 (10)	

大問	小問	正答	正答率%	誤答例 (%)	考察
9	a	3	50	4 (28) 2 (14)	前線面の気団の様子と雲では、寒気と暖気の位置の間違いは少なかったが、断面の様子までは不十分であることがわかる。前線の移動や日本の気団の影響に関しては、正答率が高い。これは、新聞やニュースの天気予報など、関心を持ちやすいためと思われる。
	b	6	72	1 (12) 2 (4)	
	c	1	72	2 (14) 4 (14)	
10	a	ウ、キ	76	ウ、エ、キ (4)	この分野はよく理解されていることがわかる。bでは、各つくりの名称を覚える必要もある。細胞分裂の際に、繰り返し細胞分裂をすると細胞が小さくなると考える生徒が少なくないので、気をつけたい。
	b	イ 細胞壁 エ 葉緑体 オ 液胞 のうち2つの組み合わせ	2点68 1点14	ア 細胞壁 (4) 記号のみ (6) 無答 (6)	
	c	1	88	4 (8)	
	d	6	80	3 (4)	
	e	3	78	1 (12)	
11	a	受精卵	68	卵細胞 (6) 受精 (6)	発生の順番の理解はかなり高いことがわかった。無性生殖では、個体の一部が新しい個体になることは理解しているが、新しい個体の誕生と1つの個体の成長が混乱しているなので、気をつけて指導していきたい。
	b	5	94		
	c	3	72	4 (14) 1 (10)	
	d	2、5	64	2、3、5 (12)	
12	a	優性 (形質)	54	漢字間違い (18) 劣性 (6)	優性形質の漢字間違いは、多く見られた。誤答率が最も高かったのは、子の生殖細胞の染色体である。減数分裂をすることは理解していても、生殖細胞と体細胞の区別はあいまいであるので丁寧に指導する必要がある。
	b	1、4	32	2、3、5 (36)	
	c	3 (:) 1	76	無答 (8)	
	d	2	74	4 (18)	

4. 全般的考察

- ・植物、地震、生物の殖え方の分野で、正答率が高いものが多い。逆に、力や圧力、化学変化の規則性の分野で正答率の低いものが多い。
- ・新たに追加された単元（孢子植物、運動する粒子のモデル化、地層と過去のようすなど）では、正答率が低い傾向が見られる。
- ・小数点を含む計算問題の正答率が極端に低い。公式の意味を理解していない場合と、単純に計算が苦手である場合が考えられる。
- ・グラフを作成する問題を各学年で出題したが、比較的理解されている。グラフの作成の指導が徹底してきている様子が見える。
- ・PISA型の説明や表現を重視する問題での正答率は依然として低く、無解答率も高い。文章を読んだり書いたりする機会が減少していることも背景にあると思われる。
- ・問題量と時間の関係を見直した結果、時間内に問題を一通り終えるだけの配慮はできた。その反面、出題できずに残された範囲もあり、出題内容の精選は今後も必要である。
- ・正答率から見た分析については、70%以上を「よく理解している」、30%未満を「理解が不足している」とみることを目安とした。各校の分析にも応用してほしい。

5. 各単元についての考察

(1) 第1分野

①身近で起こる不思議な現象

光については、凸レンズを通った光の進み方の作図や現象の理解に不足が見られる。語句や規則性の理解は進んでいるだけに、実際の場面で考察を促したい。音については、比較的定着が進んでいるが、音速の計算に不安が残る。力については、力の分類について具体的な例の理解が不足している。特に抗力についての誤答が多く見られた。圧力や浮力については、面と力の関係はよく理解されているようだが、明確なイメージはわからない傾向が見られる。計算問題に無解答が多く、実験結果から実際に求める経験が必要である。

②身のまわりの物質

物質については、個々の物質の特徴を混同している様子が見られる。表からその性質を読み取り、理解につなげることができていない。気体では、気体の性質を間違えて理解している生徒が多く見られる。状態変化では、結果のグラフから状態を読み取るなどのデータ処理ができていない。多くの問題で、データ処理が大切になってくる。普段の実験を通して、結果のまとめ方、データ処理の方法を身につけさせる必要がある。

③電流とその利用

グラフの書き方については、だいぶ理解がされてきた。今後も実験を通して習得させたい。電流や電圧の大きさについては、抵抗が複数になった回路など、まだ不安が残る。実験だけではなく、復習をして定着させたい。電流と磁界、生じる力については、まだ理解が不十分である。基礎知識の定着、実験を通しての体験学習から理解につなげたい。

④化学変化と原子・分子

水の電気分解では、水酸化ナトリウムを溶かす理由の理解が不十分である。化学反応式の作成や気体が発生する極などでの誤りが多く見られた。化学反応の原子モデル図での表記について、理解は進んだが分子数が足りないなどの誤答が多く見られた。銅の酸化については、結果は理解しているが、関係を用いて計算する力は不足している。考察する力を伸ばしたい。

⑤運動とエネルギー

運動については、速さの求め方を間違えて計算したり、縦軸と横軸の量を間違えてグラフ化するなどの誤答が見られた。結果を処理する力を伸ばしたい。仕事量の公式の意味を理解できていない誤答があった。仕事率も含めて、公式の意味を正確に理解させたい。エネルギーについては、エネルギーの変換は理解しているが、図の読み解きができていない誤答が見られた。

⑥化学変化とその利用

化学反応で、酸化と還元が同時に起きることは理解されているが、それを化学反応式で表すのは難しいようである。酸化であることを理解していると思われる誤答も多く見られた。金属の性質についても基本的な知識は概ね身につけているが、身近な例と結びつけることは苦手としている。知識と実生活を結びつける指導が必要である。

⑦水溶液とイオン

電子の授受によるイオンのでき方と、塩化銅水溶液に電気を通したときの電極付近の反応を問う設問については、5割程度の正答率である。イオンの電荷を間違えるなどの誤答が多く、それぞれのイオンのでき方を理解することで、実験結果の扱いや考察を正しく行うことができると思われる。電池の仕組みについては、電解質水溶液と2種類の金属を用いることは概ね理解している。

(2) 第2分野

①植物のくらしとなかま

この単元では、十分な理解がされている設問が多く見られたが、裸子植物やシダ植物、コケ植物についての設問については、正答率が低い傾向が見られた。被子植物と裸子植物の共通したはたらきをする部位を選ぶ設問は、毎年出題されているものの正答率が未だに低いので注意を要すべきである。孢子植物については、取り扱いが復活し、まだ十分な指導が行き渡る環境ではないことを示している。今後の指導者側の理解も含めて、深めていくことが求められる。

②活きている地球

火成岩については、名称は理解していても実際のつくりと結びつかない誤答が多く見られた。また、鉱物の割合によって、火成岩の色が決まることを表から読み取れない生徒も多かった。堆積岩については、粒の大きさの違いは理解しているが、堆積の順序が決まるしくみまでは定着していない。石灰岩やしゅう曲の用語を答える設問でも、他との混同が見られる。地震については、グラフからの読み取りなど内容は難しかったが、半数以上が正解しており、よく理解されていた。

③動物のくらしとなかま

動物の分類については、無脊椎動物も含めた分類の様子がよく理解されていた。むしろ、目の位置や歯の発達と食物の関係を問う設問での理解が不十分であった。つくりとはたらきについては、比較的正確率は良かった。ただし、文章で説明する問いや、理由を答える問いでは正答率が下がることから、実験結果から得られる情報の活用や、その意味については、生徒の理解があやふやなままであることが予想される。解説をていねいに行いたい。相同器官を答える設問の正答率が低い。新たに追加された項目でもあるので、知識の定着に努めたい。

④天気の変化

天気図の読み取り、作図の技能はあいまいな部分が多い。繰り返し学習する時間を取り、定着を図りたい。小数の計算問題を苦手としている様子が見られた。方法はわかっているにもかかわらず生徒には、数学科との協力で、計算の基本技能を身につけさせたい。

⑤生物の細胞と生殖

概ねこの単元の理解度は高かった。基本の用語の定着をさらに向上させたい。減数分裂に関しては、体細胞分裂と混同するケースが見られたので、違いをきちんと理解させたい。また、知識の定着だけに留まらず、実験や身近な現象を通して、直接的に体験する機会を多く作るようにしたい。

6. 各観点についての考察

(1) 自然事象に対する関心・意欲・態度

1・3年で出題したが、正答率も高く比較的理解がされていた。身近な例と習得した知識を結びつけることは大切なので、今後も出題を続けたい。

(2) 科学的な思考

実験のねらいや操作の意味を問う設問での正答率が低かった。結果を知識としては理解しているも、実験のデータから考察することは苦手としているようである。また、実験・観察のねらいを理解しないまま、操作や結果だけを暗記しているような実態も見える。また、公式を用いて計算するような問いでも、公式の意味を理解せずに計算ミスをする様子も見られるので注意が必要である。

(3) 観察・実験の技能・表現

グラフの作成については各学年で出題したが、正答率が向上した。指導が徹底してきている様子うかがえる。逆に小数点を含む計算でのミスが目立った。特に割り算を含む計算に無解答を含めて誤答が多い。実験操作を問う設問は正答率も改善されている。言葉による説明を苦手とする傾向は、従来同様に高い。他との連携も含めて、指導に工夫が必要かもしれない。

(4) 自然事象についての知識・理解

全般的に正答率が高いが、力や圧力の分野では実体が見えないこともあり理解が不十分であった。見えるモデルを導入するなど、指導に工夫が必要と思われる。

7. 類似問題についての経年観察およびその考察

平成20年度から平成22年度について、類似している問題の正答率を比較して考察した。

(第1学年)

内容

凸レンズの作図による 光の屈折の作図	H20	H21	H22
	問3c	問2c	問2b
	42%	40%	40%

考察

○ 3年連続での出題にもかかわらず、正答率はあまり変わっていない。引き続き、指導の改善と工夫が必要と思われる。

力の作図	H20	H21	H22
	問6b	問4c	問4e
	26%	44%	48%

○ 今年度は重力の作用点と大きさを問う出題だったが、少々向上した。作用点の判断の仕方などは、重点的に指導することが大切と思われる。

ルーペ（顕微鏡）の 使い方	H20	H21	H22
	問8a	問8b	問6d
	58%	58%	66%

○ 20、21年度はルーペ、22年度は顕微鏡の使い方に関する出題だが、操作方法に関する理解は比較的高い。安全面もしっかりと押さえない項目である。

(第2学年)

内容

金属の性質	H21	→	H22
	問1b		問1a
	37%		56%

考察

○ 金属はすべて磁石につくという誤答の多かった21年度に比べると、多少改善された。試験結果が実際の指導の改善に役立っているといえる。

初期微動	H20	H21	H22
	問11a	問10b	問10b
	70%	70%	50%

○ 22年度はグラフから初期微動の速度を読み取って計算する問題だが、設定速度を変えたところ正答率が激減した。グラフの読み取りについて、指導を継続していきたい。

(第3学年)

内容

記録テープの長さから 速さを求める	H20	H21	H22
	問3a	問2a	問3a
	72%	42%	14%

考察

○ グラフから台車が進んだ距離を読み取り、速さを求める設問だったが、計算ミスが多数見られた。問題が意図する条件を正確に読み取る力が不足している。

遺伝の規則性	H21	→	H22
	問14a		問12c
	76%		76%

○ 遺伝の規則性については、比較的新しい項目だがよく理解されている。指導法の開発が積極的に行われている成果の表れと思われる。

8. 改善すべき点および提案事項

(1) 改善すべき点

- ・ 時間と作図問題の量の関連について、改善を行った。解答用紙の制限もあり、これ以上の作図問題は増やせないと思われるが、出題すべき範囲と問題内容との関連は今後も吟味していく必要があるだろう。グラフの出題方法やねらいについても検討し、採点に負担のないように工夫したい。
- ・ 新学習指導要領への移行により、学習内容が増えて試験範囲が広すぎるとの意見があった。参考文献で検討した結果は授業時数に不足はないとの結論で従来同様の試験範囲としたが、実際の学校現場での時数不足は否めない。しかし、毎年経過調査としての学習診断テストでもあり、単純には削れない事情もあるので、この時期に実施されることを前提に各校でも指導計画の見直し等も行ってほしい。
- ・ 新学習指導要領に追加された部分を重点的に出題したことで、逆に従来学習事項を出題する設問数が減り、思うように全体を網羅できなかった。追加事項を知識として定着させた後、出題項目を厳選する検討が望まれる。
- ・ 一部の設問で、問題の内容が把握しにくいとの意見があった。質問の方法を吟味し、生徒にわかりやすい問いかけ方を今後も検討する必要がある。

(2) 提案事項・その他

- ・ PISAの結果をふまえ、今後も記述式の問題を各学年各分野に出題したい。
- ・ 新学習指導要領への移行に伴い、今後も追加指導項目については積極的に出題し、定着を促したい。
- ・ 昨年度、多くの意見が寄せられた解答用紙のレイアウトについては、改善の結果、概ね好評をいただいた。また、解答基準を正答表の裏面に設けたことも、採点時に他教科の応援をもらうには好都合であるとの意見が多かった。2年の解答用紙に氏名欄があったことを削除して、今後の基本形式になるように整備したい。
- ・ 実験のねらいや、結果から得られた情報を活用する問いなど、今回のテストで特に正答率が低かった設問については、引き続き出題し、理解の向上に努めたい。
- ・ 疑義やアンケートでいただいた意見をふまえて、今後の作問に活かしたい。

9. 指導にあたって

(第1学年)

- ・ 簡易光学台での実験については、観察者の位置に注意したい。また、実験に使用する道具が変わっても、結果は変わらないことにも十分にふれたい。レンズのつくる像の作図にも通じる大切な部分である。
- ・ 音速、圧力、浮力などの割り算が入る計算を苦手とする傾向があるので、計算力の向上に努めたい。ただ計算するだけでなく、身近な例や実験内容を取り上げて、様々なケースで問題演習に取り組むことが効果的である。
- ・ 力の分類はケースを分けて理解させたい。正答率は低かったが、一部はあっている場合が多かったので、理解できていないのではなく、知っている具体例が少ないことが原因であると思われる。特に「抗力」についての誤答が多かったので、抗力＝対抗または抵抗しようとする力であることを十分にふれておきたい。
- ・ 質量と重さの違いは、今までの生活での考え方とは違い、生徒はとらえにくい。体重計などは単位が「kg」のため特に誤解されやすい。その物の量＝構成している原子の量であることを十分にイメージしながら指導する必要がある。

- 植物は実際に実物に触れさせ、ルーペや顕微鏡などを利用して観察させる機会を増やすことが大切である。屋外での観察を増やすことで植物の種類によって生息環境が異なることにも気づかせたい。特に、シダ植物やコケ植物は維管束の有無や胞子のうや胞子については、実物を使って観察させると同時に、種子植物同様に身近に生息していることにも気づかせたい。
- プレパラートの作り方や光学顕微鏡などの実験・観察器具の正しい使い方の習慣は、より良い観察ができるだけではなく、生徒の知的好奇心を高めることにもつながるので、徹底した指導が必要と考えられる。また、生徒の安全面からも重要なので、日頃より正しい使い方をマスターさせたい。
- 漢字の間違いによる誤答が多かった。以前に比べ、文字を書く機会が減少していることから、日頃から漢字で書く習慣をつけることと、漢字（言葉）の意味を教えることが必要となっていると思われる。
- 実験・観察において、そのねらいが重要であるのは周知のことだが、知識の定着を図る上でも、指導者側は「何を観察しているのか」「どの部分を見るのか」など、具体的な指示を出すだけではなく、話し合い活動や生徒との対話の中で確認する必要がある。

〈第2学年〉

- 表やグラフから実験結果を読み取ることや、結果から求める答えが導き出せるように、実験を通して、結果のまとめ方や、そこから何がわかるのかなど、考える力をつけていきたい。
- 密度や質量パーセント濃度、オームの法則の利用など、計算力が必要な学習内容が多い。普段の授業を通して計算力も身につけさせたい。
- 語句を答える問題については、空白が目立った。PISAの調査と同様にわからないと諦めてしまう傾向を強く感じた。正しいことであっても、間違っていることであっても授業の中で言葉として出し、自分の考えを表明していく雰囲気作り、授業作りが重要であると考えられる。
- 対照実験の問題については「対照実験を行う理由」「対照実験を行うことで何がわかるのか」「対照実験をやらないとどんな不都合が生じるのか」などを理解させたい。生徒の中には知識先行に偏ってしまい、実験結果から読み取るのではなく、知識として実験結果を活用してしまうケースも見られた。「実験結果からの考察、およびその活用」という指導が重要と考えられる。

〈第3学年〉

- 水の電気分解の実験では、水素と酸素が発生してくることは理解しやすいと思われるので、水酸化ナトリウムを溶かす理由や、何極に何の気体が発生するか、というところを徹底して身につけさせたい。また、水の電気分解の化学反応式は、これ以降に出てくる化学変化の化学反応式を作っていく際に、一番基本となる部分であるので、原子モデルを利用しながら、「化学反応の前後で原子の種類や数が変わったり、なくなったりしない」などの原子の基本概念と併せて定着させていく必要があると思われる。また水の合成の化学反応も、反応の意味を理解させながら化学反応式を組み立てさせると、分解と合成、化学反応式の作り方の理解度がより上がるのではないかとと思われる。
- グラフから情報を読み取る問題は、実際に銅と酸素の化合の実験を行い、「加熱回数と酸化銅の質量」、「加熱回数と化合した酸素の質量」、「銅の質量と酸化銅の質量」、「銅の質量と化合した酸素の質量」といったように、横軸と縦軸にとる量を変えながら、様々なグラフをかかせるとうまいのではないだろうか。そのような経験を積ませることにより、与えられたグラフを見たときに、何のグラフであるかに着目して必要な情報を読み取る能力が上がると思われる。それと同時に「グラフのかき方」の指導も入れていくとうまいのではないかとと思われる。また、台車と記録タイマーを使用した、速さと運動の調べ方についても、同じことが言えると思われる。
- 塩化銅水溶液の電気分解については、まず、原子の構造とイオンのでき方を確実に理解させることが重要と思われる。その上で、各電極から発生した物質は何なのか、なぜなのか、というところを考察させることで、考える力や理解が深まるのではないかとと思われる。
- 定着した知識と実験結果を考察する力とはすぐに結びつかないものである。実験を行う際に、「実験目的は何なのか」というところと、「目的に沿った考察をする」ということ、「習得した知識をどう活用して考察するのか」という部分を生徒に支援しながら考察する力を身につけさせていきたい。
- 図の読み取り、作図の技能はあいまいな部分が多い。計算問題も苦手とする傾向が高い。繰り返し学習をすることで定着を図りたい。また知識の定着だけにならないように、実験や身近な現象を通して、直接的に体験する機会を増やしたい。
- 遺伝子操作をしているか否かを問う設問に対し、質問があった。調査の結果、現時点では実際に採用されている例はないとのことで特に訂正をしなかったが、研究段階では遺伝子操作を行っている例もある。最新研究の成果は尊重するが、出題はあくまでも教科書内容を基本としたい。

(全体を通して)

- 正答率からは学年による理解度の差は認められなかった（正解率30%以下の設問も大差ない）。ただし、分野別・単元別にみると1年1分野と3年1分野にやや正答率の低い小問が多かった。1年の胞子植物を問う小問は、新しく追加された内容で理解がほとんどされなかった。理科でつまづく発端となっているかもしれない部分なので、十分に注意する必要があると考える。
- すべての学年で計算力と漢字の正確性の低下を懸念する意見があった。他教科や小学校での学習にも関わるが、PISAが提唱する表現力の向上に欠かせない部分なので、他教科との連携も含めて、指導する際の重要な留意事項としたい。

平成 22 年度

川崎市立中学校 学習診断テスト 英語科

誤答分析と学習指導上の考察

川崎市教育委員会
川崎市立中学校長会
英語科調査委員会

1. 作問にあたって

- (1) 学習診断テストの目的・主旨にそって、学習指導要領に示されている各観点の基本事項について、10月末までの学習の定着状況が把握できるように出題の範囲やバランスを十分に考慮して問題を作成した。
- (2) 問題の形式と整列を検討し、基本的な知識・理解を問うよう、より妥当性の高い形式にて作問した。
- (3) 総合的かつ統合的に思慮する能力を判断できるようにした。
- (4) 共通の言語材料を検討し、より公平に診断できる標準的なテストの作成を目指した。
- (5) 聞きとりテストは、音声の聞きとり能力とともに、より自然な英語が聞きとれるかどうかも診断できるよう工夫した。
- (6) 「表現の能力に関する問題」については、一言表現や部分英作形式に近い形の出題をし、より観点のねらいを明確にした作問を工夫した。
- (7) 全学年、「自己確認用紙」を作成し、各生徒が課題を確認できるよう工夫した。

2. 出題のねらい

平成22年度 川崎市学習診断テスト 出題のねらい 英語

問題	1年生	2年生	3年生
問1	絵を見て、場面に合った適切な応答を選択することができる。	絵を見て状況を判断し、場面に合った適切な応答を選択することができる。	絵を見て状況を判断し、場面に合った適切な応答を選択することができる。
問2	絵を見て、場面や状況を理解し、それぞれの質問に対して、適切な答えを選択することができる。	英文を読みとり、日本語に合った語を、与えられた最初の文字から判断し正しい綴りで書くことができる。	英文を読みとり、日本語に合った語を、与えられた最初の文字から判断し正しい綴りで書くことができる。
問3	場面や状況に合わせて文脈を読みとり、適切な代名詞を選択することができる。	会話文の内容を読みとり、それに当てはまる適切な語句を選択することができる。	場面や状況に合わせて文脈を読みとり、適切な語句を選択することができる。
問4	場面や状況に合わせて文脈を読みとって、適切な動詞を選択することができる。	それぞれの語の意味と性質をつかみ日本語に合うように文を組み立てることができる。句型による語順の違いを理解できる。	それぞれの語の意味と性質をつかみ日本語に合うように文を組み立てることができる。句型による語順の違いを理解できる。
問5	文の応答や日本語から判断し、その文に合った単語を最初に与えられた文字から判断し、正しい綴りで書くことができる。	会話の流れに注意しながら、その選択肢の内容を十分に理解し、その場面に合った対話を組み立てることができる。	会話の流れを理解するとともに、その選択肢の内容を十分に理解し、その場面に合った対話を組み立てることができる。
問6	それぞれの語の意味と性質をつかみ、日本語に合うように文を組み立てることができる。慣用的な言い方による語順の違いを理解できる。	ポスターや説明文などから正しく情報を読みとり、その流れを的確に判断して、質問に対する文やグラフを選ぶことができる。	絵や表などを活用しながら、説明文やメールの文章などを読みとり、その流れを的確に判断して、質問に対する文や絵を選ぶことができる。
問7	会話文を読みとり、適切な絵やグラフを選ぶことができる。	文章の内容を読みとることができる。文章の流れから、文章の概要を理解したり、話者の意図を読みとることができる。	文章の内容を読みとることができる。文章の流れから、文章の概要を理解したり、話者の意図を読みとることができる。
問8	会話文の流れから適切な語を選んだり、話者の意図を読みとることができる。	与えられた場面の中で、適切な表現を内容が相手に伝わるように、正しく書くことができる。	与えられた場面の中で、適切な表現を内容が相手に伝わるように、正しく書くことができる。
問9	与えられた場面の中で、適切な表現を内容が相手に伝わるように、正しく書くことができる。	与えられた条件を満たすよう、ねらいに沿ってつながりのある文章を、正しく書くことができる。	与えられた条件を満たすよう、ねらいに沿ってつながりのある文章を、正しく書くことができる。
問10	与えられた条件を満たし、ねらいに沿って文章を正しく書くことができる。		
放送1	短い文章を聞きとり、その内容を把握し適切な絵を選択することができる。	短い会話文を聞きとり、その内容を把握して、適切な絵を選択することができる。	短い英文を聞きとり、その内容を表す絵を選択することができる。
放送2	対話を聞き、その場面や状況に合った絵を選択することができる。	短い会話文を聞き、その会話に続く応答として適切な文章を選択することができる。	短い会話文を聞き、その会話に続く応答として適切な文章を選択することができる。
放送3	対話を聞き、その対話の流れから続く適切な表現を選択することができる。	短い会話文を聞き、その会話内容に対する質問の答えとなる適切な絵を選択することができる。	会話文の内容を理解し、その内容に対する質問に適切に答えることができる。
放送4	会話文が示す情報を理解、整理しそれに当てはまる絵を選択することができる。	まとまった長い英文を聞き、その内容と同じ内容を示す日本語を選択することができる。	まとまった長い英文を聞き、その内容と同じ内容を示す日本語を選択することができる。
放送5	まとまった英文を聞き、その内容を理解することができる。		

3. 小問ごとの観点・ねらい・正答率

第1学年

No	問題番号		正答		観点		問題の内容	出題のねらい	正答率(%)
	大問	小問	(選択式→番号、記述式→言葉)	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての知識・理解			
1		a	3			◎	絵を見て、場面に合った適切な応答を選択することができる。		84
2	1	b	2			◎			66
3		c	1			◎	①会話文の組み立て		89
4	2	a	3			◎	絵を見て、場面や状況を理解し、それぞれの質問に対して、適切な答えを選択することができる。		92
5		b	4			◎			82
6		c	2			◎			83
7		①	2			◎	場面や状況に合わせて文脈を読みとり、適切な代名詞を選択することができる。		81
8	3	②	3			◎			81
9		③	1			◎	場面や状況に合わせて文脈を読みとって、適切な動詞を選択することができる。		83
10	4	a	1			◎			71
11		b	5			◎			64
12		c	7			◎	②語彙の知識		70
13		a	Saturday			◎			41
14		b	thirteen			◎			29
15	5	c	please			◎			33
16		d	write			◎			36
17		a	(左から)2、1、4、3			◎			69
18	6	b	(左から)3、4、1、2			◎	③単語の並べ替え	それぞれの語の意味と性質をつかみ、日本語に合うように文を組み立てることができる。慣用的な言い方による語順の違いを理解できる。	76
19		c	(左から)1、3、2、4			◎			62
20		d	(左から)4、2、3、1			◎			17
21		a	3			◎	④説明や対話文の読み取り	会話文を読みとり、適切な絵やグラフを選ぶことができる。	81
22	7	b	1			◎			91
23		c	3			◎			64
24		A	4			◎			57
25		B	1			◎			81
26	8	C	2			◎	⑤短い文章の読み取り	会話文の流れから適切な語を選んだり、話者の意図を読みとることができる。	65
27		D	1 (順不同可)			◎			73
28			4 (順不同可)			◎			69
29		①	Excuse me.			◎			49
30	9	a	Two oranges, please.			◎			46
31		③	(Mother,) this is Tom.			◎			53
32		b	Tom, let's play tennis together.			◎	⑥英作文	与えられた場面の中で、適切な表現を内容が相手に伝わるように、正しく書くことができる。	46
33		①	(I) am from (Kawasaki.)			◎			41
34	10	②	(I) live in (Yokohama.)			◎			50
35		③	(I) love baseball(.			◎			51
36		④	(He) likes baseball (,too.)			◎			40
37		a	1			◎			100
38	放送1	b	4			◎	⑦リスニング(絵を選ぶ)	短い文章を聞きとり、その内容を把握し適切な絵を選択することができる。	95
39		c	2			◎			98
40		a	4			◎			97
41	放送2	b	6			◎	対話を聞き、その場面や状況に合った絵を選択することができる。		97
42		c	2			◎			98
43		a	2			◎			81
44	放送3	b	3			◎	対話を聞き、その対話の流れから続く適切な表現を選択することができる。		87
45		c	4			◎			86
46		a	6			◎			95
47	放送4	b	3			◎	会話文が示す情報を理解、整理しそれに当てる絵を選択することができる。		98
48		c	4			◎			97
49	放送5		2 (順不同可)			◎	まとまった英文を聞き、その内容を理解することができる。		54
50			5 (順不同可)			◎			91

◎…主たる観点、○…従たる観点

第2学年

No	問題番号		正答 (選択式→番号、記述式→言葉)	観点		問題の内容	出題のねらい	正答率(%)
	大問	小問		言語や文化 についての知識・理解	表現の能力 理解の能力			
1	a		2			①会話文の組み立て	絵を見て状況を判断し、場面に合った適切な応答を選択することができる。	91
2	b		1	◎				77
3	c		3	◎				89
4	①	September			◎	②語彙の知識	英文を読みとり、日本語に合った語を、与えられた最初の文字から判断し正しい綴りで書くことができる。	53
5	②	saw			◎			48
6	③	interesting			◎			59
7	④	every			◎			63
8	a	4			◎		会話文の内容を読みとり、それに当てはまる適切な語句を選択することができる。	81
9	b	2			◎			86
10	c	1			◎			68
11	d	3			◎			74
12	e	4			◎			65
13	a	(左から)4、2、1、5、3			◎	③単語の並べ替え	それぞれの語の意味と性質をつかみ日本語に合うように文を組み立てることができる。文型による語順の違いを理解できる。	26
14	b	(左から)5、2、1、3、4			◎			67
15	c	(左から)1、5、4、3、2			◎			73
16	d	(左から)2、1、4、5、3			◎			35
17	e	(左から)3、1、2、5、4			◎			47
18	a	3			◎	①会話文の組み立て	会話の流れに注意しながら、その選択肢の内容を十分に理解し、その場面に合った対話を組み立てることができる。	77
19	b	2			◎			69
20	c	1			◎			67
21	d	2			◎			70
22	a	2			◎	④説明や対話文の読み取り	ホスターや説明文などから正しく情報を読みとり、その流れを的確に判断して、質問に対する文やグラフを選ぶことができる。	67
23	b	1			◎			49
24	c	4			◎			47
25	A	2			◎			71
26	B	3			◎			70
27	C	1			◎	⑤長い文章の読み取り	文章の内容を読みとることができる。文章の流れから、文章の概要を理解したり、話者の意図を読みとることができる。	80
28	D	4			◎			59
29	E	2 (順不同可)			◎			59
30		5 (順不同可)			◎			59
31	①	Can you open the window, please?			◎	⑥英作文	与えられた場面の中で、適切な表現を内容が相手に伝わるように、正しく書くことができる。	52
32	a	May I go to the restroom?			◎			47
33	b	May I use your pen?			◎			33
34	④	Where did you get it?			◎			24
35	①	(What) will you do (for Christmas?)			◎			21
36	②	(We'll go to Kawasaki Station) to see (a big Christmas tree)			◎			28
37	③	(And) let's go (to a Christmas party at Emi's house).			◎			25
38	④	(We) want to enjoy (Christmas with you).			◎			20
39	a	4			◎	⑦リスニング (絵を選ぶ)	短い会話文を聞きとり、その内容を把握して、適切な絵を選択することができる。	85
40	b	1			◎			91
41	c	2			◎			65
42	a	1			◎	⑧リスニング (会話内容)	短い会話文を聞き、その会話に続く応答として適切な文章を選択することができる。	77
43	b	3			◎			61
44	a	3			◎	⑦リスニング (絵を選ぶ)	短い会話文を聞き、その会話内容に対する質問の答えとなる適切な絵を選択することができる。	93
45	b	4			◎			86
46	c	1			◎	⑧リスニング (会話内容)	まとまった長い英文を聞き、その内容と同じ内容を示す日本語を選択することができる。	67
47	放送4	4 (順不同可)			◎			55
48	放送4	6 (順不同可)			◎			53

◎…主たる観点、○…従たる観点

第3学年

No	問題番号		正答 (選択式一番号、記述式一言葉)	観点			問題の内容	出題のねらい	正答率(%)
	大問	小問		表現の能力	理解の能力	言語や文化 についての 知識・理解			
1		a	3		◎		①会話文の組み立て	絵を見て状況を判断し、場面に合った適切な応答を選択することができる。	94
2	1	b	2		◎				84
3		c	1		◎				67
4		①	worry			◎			55
5		②	become			◎			46
6	2	③	difficult			◎			64
7		④	vacation			◎			64
8		⑤	should			◎	②語彙の知識		44
9		a	1		◎				77
10		b	4		◎				76
11	3	c	2		◎				76
12		d	2		◎				86
13		a	(左から)2、4、3、1、5		◎				88
14		b	(左から)1、4、3、2、5		◎				55
15	4	c	(左から)5、3、4、1、2		◎		③単語の並び替え	それぞれの語の意味と性質をつかみ日本語に合うように文を組み立てることができる。文型による語順の違いを理解できる。	32
16		d	(左から)4、1、3、5、2		◎				57
17		e	(左から)3、5、1、4、2		◎				57
18		a	4		◎				84
19	5	b	2		◎		①会話文の組み立て	会話の流れを理解するとともに、その選択肢の内容を十分に理解し、その場面に合った対話を組み立てることができる。	73
20		c	3		◎				91
21		a	3		◎		④説明や対話文の読み取り	絵や表などを活用しながら、説明文やメールの文章などを読みとり、その流れを的確に判断して、質問に対する文や絵を選ぶことができる。	29
22	6	b	4		◎				53
23		c	1		◎				77
24		A	3		◎				56
25		B	4		◎				56
26		C	1		◎				59
27	7	D	4		◎		⑤長い文章の読み取り	文章の内容を読みとることができる。文章の流れから、文章の概要を理解したり、話者の意図を読みとることができる。	66
28		E	2		◎				51
29		F	4(順不同可)		◎				55
30			6(順不同可)		◎				69
31		①	No, thank you. / I don't want them.		◎				60
32	8	a	Does this bus go to NY Museum?		◎				37
33		③	Please sit here.		◎				39
34		④	Is this your key? / This is yours.		◎		⑥英作文	与えられた場面の中で、適切な表現を内容が相手に伝わるように、正しく書くことができる。	45
35		①	(She) can say ("Hello" and "How are you?")		◎	○			48
36		②	(She) likes to sing. / (She) likes singing.		◎	○			42
37	9	③	(She) hasn't been at home (for 3 days.)		◎	○			15
38		④	(She is) as big [large] as (a basketball)		◎	○			44
39		a	3		◎		⑦リスニング(絵を選ぶ)	短い英文を聞きとり、その内容を表す絵を選択することができる。	94
40	放送1	b	4		◎				50
41		c	1		◎				97
42	放送2	a	2		◎				85
43		b	3		◎				85
44		a	1		◎		⑧リスニング(会話内容)	会話文の内容を理解し、その内容に対する質問に適切に答えることができる。	86
45	放送3	b	2		◎				74
46		c	1		◎				63
47	放送4		3(順不同可)		◎				45
48			5(順不同可)		◎				60

◎…主たる観点、○…従たる観点

4. 分析と考察

第1学年

大問	領域	小問	ねらい	正答	正答率		目立つ誤答例
					小	大	
1	会話の運用1	a b c	絵を見て、場面に合った適切な応答を選択することができるか。	3 I'm fine. 2 look at that! 1 This is my dog Pochi.	84 66 89	80	2 Yes, I am. 1 open the bag! 2 Is this your dog?
考察 状況が把握しやすい場面設定で、選択肢も基本的に短い英文である。そのため全体的に理解できていた。bでは、前後の話の内容を考慮せずに、絵だけで判断した誤答が目立った。							
2	会話の運用2	a b c	絵を見て、疑問文とその応え方を理解し、運用できるか。	3 She plays basketball. 4 Yes, he does. 2 She has two guitars.	92 82 83	86	2 She plays the guitar. 2 Yes, he is. 4 She has a guitar.
考察 三単現の疑問文の答え方と be 動詞の疑問文の答え方を混同してしまった間違いが見られた。また疑問詞 What や How many の疑問文については、概ね理解できていた。							
3	語の運用1 (代名詞)	① ② ③	基本的な代名詞の運用を理解し、正しく運用できるか。	2 it 3 your 1 he	81 81 83	82	3 you 1 she 3 she
考察 代名詞の運用については概ねできていた。しかし、①と②の誤答の原因については、文脈をしっかりと読みとらずに答えているためと考えられる。							
4	語の運用2 (動詞)	a b c	基本的な動詞の運用を理解し、正しく運用できるか。	1 read 5 likes 7 is	71 64 70	68	5 likes 1 read 5 likes
考察 a、bの問題からは文脈と単語の意味の理解が不十分であることがわかった。cは一般動詞と be 動詞の違いを理解していない誤答と思われる。							
5	語の運用3 (綴り)	a b c d	英文を読みとり、日本語に合った語を、正しい綴りで書くことができるか。	Saturday thirteen please write	41 29 33 36	35	無答 Satarday Satadays 無答 therteen tharteen 無答 playse prease 無答 wlite wrait
考察 正しい単語の綴りを書くことができず、発音を手がかりにローマ字表記を用いて単語を書こうとする傾向が見られた。bについては thirteen と therteen を混同していることが多く見られた。							
6	文の構成 (語順)	a b c d	正しい語順で文を組み立てることができるか。語順の違いを理解できるか。	2143 3412 1324 4231	69 76 62 17	56	2134 3124 1234 2314
考察 cは形容詞の位置に対する理解が不十分である解答が多く見られた。dについては疑問詞＋名詞を用いた疑問文の基本構造を理解していないための誤答が目立った。							
7	文章の理解	a b c	会話文を読みとり、適切な絵やグラフを選ぶことができるか。	3 テニスをするアヤとシン 1 トムとボブが店で2人ともCDを購入 3 5時間授業で国語、数学と英語の授業がある	81 91 64	79	1 バスケットボールをするシンとトム 2 CDデッキを買うトムとCDを買うボブ 1 国語と英語を含めた4時間授業の時間割
考察 会話の内容はほぼ理解をしているものの、内容についての細かい情報が読み取れないことによる誤答が多く見られた。また細部まで読まず、部分的な理解で答えを出しているものがあった。							
8	長文の理解	A B C D	会話の内容を読みとり、流れに合う応答を選ぶことや、話者の意図を読みとることができるか。	4 No, I don't. 1 川崎市はいくつかのプロ～ 2 What is that? 1 アヤは川崎フロンターレのファン～ 4 等々力緑地公園～	57 81 65 73 69	69	1 Yes, I am. 3 川崎市は川崎フロンターレがある～ 4 You're welcome. 2 アヤとボブは日曜日に武蔵小杉駅で～ 5 アヤとボブは川崎市民ミュージアム～
考察 A では前後の会話の内容をしっかりと理解して応答文を選ぶことができていない誤答が目立った。B では会話の流れを理解し、意味を解釈することが概ねできていた。内容を正確に読みとる力が求められる。							

大問	領域	小問	ねらい	正答	正答率		目立つ誤答例
					小	大	
9	英作文1 (条件)	a ① ② b ③ ④	与えられた場面の中で、適切な表現で書くことができるか。	Excuse me. Two oranges, please. this is Tom. Tom, let's play tennis together.	49 46 53 46	49	無答 24% Equse me. 無答 26% a orange 無答 20% He is my friend. 無答 30% Play baseball.
<p>考察 場面に合った表現が、a の①では音声として概ね定着していると思われる。しかしながら正しい綴りで書くことができない答えが多く、ローマ字を手がかりに単語を書こうとする傾向が見られた。</p>							
10	英作文2 (部分)	① ② ③ ④	与えられた条件を満たし、ねらいに沿って文章を書くことができるか。	am from 'm from live in love baseball likes baseball	41 50 51 40	46	無答 22% from 無答 19% am live in 無答 17% like baseball 無答 19% like baseball
<p>考察 一般動詞に be 動詞を足してしまったり、be 動詞がないなどといった誤答が多く見られた。また三人称単数の s が抜けているという誤答も多かった。</p>							
放 1	聞きとり (場面)	a b c	短い文を聞き、場面に 応じた絵を正しく選ぶことができるか。	1 父は音楽を教えている 4 本3冊、CD2枚 2 土曜日→少年サッカー、 日曜日→少女テニス	100 95 98	98	2 本2冊、CD3枚 3 土曜日→少年テニス、 日曜日→少女野球
<p>考察 b は数と名詞の組み合わせを聞き違えた誤答があった。c は2文からなる説明であったが、性別をもとに、内容を理解した上で絵を選ぶことができていた。</p>							
放 2	聞きとり (会話)	a b c	対話を聞き、その状況 に合った絵を選ぶことができるか。	4 自転車を指している 6 握手をしている 2 野球をしている	97 97 98	97	1 車を指している 3 手を振っている 5 バスケットボールをしている
<p>考察 全体的に正答率が高く、会話の内容を理解することができていた。b は会話に合ったジェスチャーを選ばず、別れのジェスチャーである 3 を選んだ誤答があった。</p>							
放 3	聞きとり (応答)	a b c	対話を聞き、その対話 に続く応答を選ぶことができるか。	2 You're welcome. 3 Fine, thank you. 4 Me, too.	81 87 86	85	4 Excuse me. 2 Good bye. 1 I'm Jim.
<p>考察 a は日常に使われる英語表現の理解ができていない誤答が目立った。c は How about you? の質問に答えるべき内容が理解できなかったことが誤答の要因であると考えられる。</p>							
放 4	聞きとり (説明)	a b c	複数の文章が示す情報を聞いて理解・整理し、適切な絵を選べるか。	6 横浜在住、ペット飼っていない、猫1匹ほしい 3 川崎在住、猫4匹飼っている、バッグほしい 4 川崎在住、犬3匹飼っている、バッグほしい	95 98 97	97	5 横浜在住、猫4匹飼っている、犬1匹ほしい 5 横浜在住、猫4匹飼っている、犬1匹ほしい 1 川崎在住、犬3匹飼っている、ノートほしい
<p>考察 どの問題も概ね理解できているが、2つめの情報まで同じ内容のときに、最後のもう1つの情報を選び間違える誤答があった。</p>							
放 5	聞きとり (内容理解)		まとまった英文を聞き、その内容を理解することができるか。	2 ジムもジムの兄も～ 5 ジムの母は音楽を～	54 91	73	3 ジムはバスケットボールが～ 4 ジムの兄は毎週火曜日と日曜日に～
<p>考察 会話全体の内容を正しく理解できず、聞こえた語と場面から連想した誤答が目立った。人物の関係や曜日などを正しく聞きとれなかったことが誤答の要因と考えられる。会話全体の内容を細かく把握する力が求められる。</p>							

第2学年

大問	領域	小問	ねらい	正答	正答率		目立つ誤答例
					小	大	
1	会話の運用	a b c	絵を見て状況を判断し、場面に合った適切な応答を選択することができるか。	2 What is it? 1 I got it. 3 Can I open it?	91 77 89	86	3 Which is it? 3 I was it! 2 Whose is it?
<p>考察 全体的には概ね場面にあった適切な応答を選択できていた。比較的正答率の低いbは、getが「わかる」という意味であることが定着していないためにI got it.を選べなかったのではないかと思われる。</p>							
2	語の運用1 (綴り)	① ② ③ ④	① 英文を読みとり、日本語に合った語を、正しい綴りで書くことができるか。	September saw interesting every	53 48 59 63	56	Septenber see intelesting enjoy
<p>考察 Septemberやinterestingは音声としては理解できているようであるが、それを正しく綴ることができない。②に関しては、日本語をよく読まず過去形であることを見落として現在形で書く誤答が目立った。</p>							
3	語の運用2	a b c d e	会話文の内容を読みとり、それに当てはまる語句を選択することができるか。	4 mine 2 Stop 1 listen 3 were you doing 4 do	81 86 68 74 65	75	3 me 4 Buy 3 listening 1 do you have 1 doing
<p>考察 会話の内容は読みとれているようだが、to不定詞が十分に理解できていないと思われる。</p>							
4	文の構成 (語順)	a b c d e	正しい語順で文を組み立てることができるか。文型による語順の違いを理解できるか。	42153 52134 15432 21453 31254	26 67 73 35 47	50	45312 21534 13254 14253 32154
<p>考察 aではofの使い方が十分理解できていないと思われる。dではSVOの文型の理解が十分でない間違いが見られるが、下位群ではcanの使い方が十分に理解できていない間違いも見られた。eではduringの使い方が理解できていないと思われる。下位群の正答率は全体的に低い。</p>							
5	文の運用	a b c d	会話の内容を正しく把握し、状況に応じた文を選ぶことができるか。	3 What time did you go to bed? 2 I must practice the guitar. 1 May I eat it? 2 For five days.	77 69 67 70	71	2 Where were you then? 1 I went to school ~. 3 Can she eat it? 3 Four days ago.
<p>考察 概ね状況に応じた文を選択できていたが、bは会話の内容を把握するのがやや困難だったようである。cではSorry, you can't.という応答からCanで始まる問いかけを選んだのではないだろうか。May I~?の問いに対してSorry, you can'tで応答する形が十分に理解されていないと思われる。</p>							
6	文章の理解	a b c	ポスターや説明文などから正しく情報を読みとり、その流れを的確に判断して、質問に対する文やグラフを選ぶことができるか。	2 He wants to find his cat. 1 He will use a bus ~. 4 月2冊読む人数が2番目に多く、月3冊読む人数が1番少ないグラフ	67 49 47	54	4 He wants to have a new cat. 3 He will walk ~. 3 本を読まない人数が2番目に多く、月2冊読む人数が1番少ないグラフ
<p>考察 正答率がやや高いaに関しては、ポスターに書かれた電話番号やネコの写真を手がかりに、内容を理解できていたようである。bとcに関しては、細かく文章を読みとれなかったため、内容理解が不十分であったと思われる。短時間で必要な情報を読みとる読解力を磨く必要があるのではないかと思われる。</p>							

大問	領域	小問	ねらい	正答	正答率		目立つ誤答例
					小	大	
7	長文の理解	A B C D E	まとまった文章を読みとり、文章の流れから、文章の概要を理解したり、話者の意図を正しく読みとることができるか。	2 Yes, that's right. 3 多摩川が昔とても汚れて～ 1 多摩川にもともと～ 4 公園の絵 2 多摩川は40年前に比べ～ 5 現在、多摩川には熱帯魚～	71 70 80 59 59 59	66	1 Yes, you may. 2 多摩川が今でも汚れて～ 3 アヤが多摩川に～ 2 多摩川の絵 3 ピラニアは昔から～ 4 おさかなポストに～
<p>考察 設問をすべて日本語にし、設問の前後の英文の内容や全体の内容の理解を確認する問題であった。特に下位群では英文全体を読み、細かな情報を正確に読みとることができていないと考えられる。</p>							
8	英作文 (条件)	a ① ② b ③ ④	与えられた場面の中で、適切な表現を、内容が相手に伝わるように書くことができるか。	Can you open the window, please? May I go to the restroom? May I use your pen? Where did you get it?	52 47 33 24	39	無答17% May I open the window? 無答24% I go to the restroom. 無答32% Pen, please. 無答36% Do you buy this pen?
<p>考察 全体的にbの正答率が低く、特に中下位群の中には無答が多く見られた。aでは依頼の表現と許可の表現を混同している間違いが見られた。</p>							
9	英作文 (部分)	① ② ③ ④	与えられた条件を満たすように、ねらいに沿って正しく書くことができるか。	will you do to see let's go want to enjoy	21 28 25 20	24	無答30% will you doing 無答26% see 無答30% go we go 無答24% enjoy are enjoy
<p>考察 全体的に正答率が低く、約2割の生徒が無答という状況であった。「～するために」という意味のto不定詞、「～する予定」のwill+動詞の原形、勧誘の表現のlet's、「～したい」はwant to+動詞の原形、といった文法事項が英作文で使いこなせる程十分に定着していないと思われる。</p>							
放 1	聞きとり (説明)	a b c	短い会話文を聞いて、場面に応じた絵を正しく選ぶことができるか。	4 テニスを4人でする絵 1 埼玉雨、千葉曇り、東京・神奈川晴れの絵 2 ボブは空腹、エミはりんごを差し出す絵	85 91 65	80	3 テレビでテニスを観ている絵 4 埼玉・千葉晴れ、東京曇り、神奈川雨の絵 3 ボブはおにぎり、エミはりんごを食べている絵
<p>考察 aとbの問題は正答率が高く、概ね英文の内容を聞き取り理解できている。一方、cでは、エミがボブにりんごが欲しいか尋ねていることまで細かく聞きとることができていなかったのではないかとと思われる。</p>							
放 2	聞きとり (応答)	a b	対話を聞き、その対話に続く応答を選ぶことができるか。	1 The bus number 3. 3 Use the bus.	77 61	69	3 Sure. 2 At ten o'clock.
<p>考察 同じような対話の中で、質問をしっかりと聞き、理解できるかということに主眼を置いた。aについては概ね理解できているようだが、bについては正答率が低い。</p>							
放 3	聞きとり (会話)	a b c	短い会話文を聞いて、その内容に対する質問の答えとなる絵を正しく選ぶことができるか。	3 図書館で本を読んでいる絵 4 家で宿題をやっている絵 1 シンが窓の近くのパソコンを指差している絵	93 86 67	82	1 電話のそばで宿題をしている絵 1 テレビゲームでサッカーをしている絵 2 喫茶店でパソコンを使っている絵
<p>考察 全体的に正答率が高く、対話の内容も、質問も概ね聞きとれている。やや正答率が下がるcの問題では、パソコンが1台しかない2の誤答が多いことから、内容が正確に聞きとれていなかったと思われる。</p>							
放 4	聞きとり (内容理解)		スピーチの内容を聞き、その内容と同じ内容の日本語を正しく選ぶことができるか。	4 アヤはボブに日本語～ 6 3人とも歌を歌うこと～	55 53	54	3 マイクは時々～ 5 3人で毎週日曜日～
<p>考察 誤答で最も多かったのは3と5で、誰が何をしているのかが理解できていないように思われる。特に中下位群では、ある程度のまとまった英文を細部まで聞きとることは難しいと考えられる。</p>							

第3学年

大問	領域	小問	ねらい	正答	正答率		目立つ誤答例
					小	大	
1	会話の運用	a b c	絵を見て状況を判断し、場面に合った適切な応答を選択することができるか。	3 You look happy. 2 he's taller than me. 1 He's sitting next to me in our class.	94 84 67	82	1 You don't look good. 1 he's as tall as me. 3 he's sitting in front of me in our class.
考察 概ね理解できていた。今後も自然な会話の流れを重視した指導の継続がのぞまれる。							
2	語の運用1 (綴り)	① ② ③ ④ ⑤	英文を読みとり、日本語に合った語を、与えられた最初の文字から判断し、正しい綴りで書くことができるか。	worry become difficult vacation should	55 46 64 64 44	55	wants became different vecation school
考察 中下位群の誤答および無答が目立つ。発音や大まかなスペルは覚えているのだが、完全には覚えきれていないものが、③④のようなスペルの長いものに多く見られた。また、⑤は日本語の意味から英単語を連想するのが難しかったのか、頭文字と文字数から連想される単語を答えたものも目立った。							
3	語の運用2 (動詞・語句など)	a b c d	場面や状況に合わせて文脈を読みとり、適切な語句を選択することができるか。	1 What time 4 finished 2 am going to visit 2 looking for	77 76 76 86	79	3 How long 3 finishing 1 have visited 3 waiting for
考察 全体的に概ねできていた。							
4	文の構成 (語順)	a b c d e	日本語に合うよう文を組み立てることができるか。文型による語順の違いを理解できるか。	24315 14325 53412 41352 35142	88 55 32 57 57	58	24135 14352 54123 54132 25413 43152 35412
考察 a の正答率は高かった。b では使役動詞＋人＋形容詞の順番で、人と形容詞が逆になっている誤答が目立った。c では over を入れる位置が理解されていなかった。d では give ＋人＋物の語順や助動詞の後に動詞の原形がくる文法のルールが把握できていない誤りが目立った。e では、Why don't you～?の表現の理解が十分でなかった。							
5	文の運用 (会話文)	a b c	会話の流れと選択肢の内容を十分に理解し、その場面に合った対話を組み立てることができるか。	4 Sorry, I can't. 2 I've just come here, too. 3 Do you have something to eat	84 73 91	83	2 Yes, I can. 1 I haven't arrived ~. 2 Do you have something to study
考察 全体的に概ねできていた。							
6	文章の理解	a b c	絵や表などを活用しながら、説明文やメールの文章などを読みとり、その流れを的確に判断して、質問に対する文や絵を選ぶことができるか。	3 Thursday 4 学校見学・公園で自転車 1 川崎区・高津区・多摩区	29 53 77	53	2 Wednesday 3 学校見学と公園で釣り 2 幸区・高津区・麻生区
考察 c の正解率は高かった。a、b は概ね話の内容は理解できたようであるが、細かい部分の読みとりが不十分であった。全体を理解する力が不十分であると思われる。							

大問	領域	小問	ねらい	正答	正答率		目立つ誤答例
					小	大	
7	長文の理解	A B C D E F	文章の流れから、文章の概要を理解したり、話者の意図を読みとることができるか。	3 How do we get ~? 4 ④①③②の順 1 小泉次大夫は徳川～ 4 昔の川崎は緑や動物～ 2 ニヶ領用水は多摩～ 4 ニヶ領用水は農民～ 6 江戸時代の川崎の～	56 56 59 66 51 55 69	59	2 Do you know when ~? 1 ①③④② 4 小泉次大夫は江戸時代よりも前～ 3 今も昔も同じように、川崎には～ 1 ニヶ領用水は江戸時代に作られて～ 1 江戸時代の農民たちの～ 5 川崎市民ミュージアムはアメリカの～
<p>考察 概ね話の内容は理解できたようであるが、細かい部分の読みとりが不十分であった。Dなどは前後の文が理解できないと、日本語の設問でも正解を導けない。時間内に長文を正確に読む力をつけていきたい。</p>							
8	英作文 (条件)	a ① ② b ③ ④	与えられた場面の中で、適切な表現を内容が相手に伝わるように、正しく書くことができるか。	No, thank you. Does this bus go to ~? Please sit here. Is this your key?	60 37 39 45	45	無答8% I'm not want. 無答10% Where go to ~ 無答18% Excuse me, you're sitting. 無答27% Oh, do you key?
<p>考察 全体的に概ねできていた。ただし中下位群では状況にあった伝えたい表現を文ではなく単語レベルで表す解答が目立った。道案内などの表現は決まり表現が多いので、繰り返し学習をすることで定着を図っていききたい。</p>							
9	英作文 (部分)	① ② ③ ④	与えられた条件を満たすよう、ねらいに沿ってつながりのある文章を、正しく書くことができるか。	can say likes to sing likes singing hasn't been at home as big(large) as	48 42 15 44	37	無答6% speak to 無答5% like sing song 無答18% hot has my home green yellow 無答25% as bigger as
<p>考察 中下位群では文法の誤りが目立った。与えられた条件に適した動詞の変化や文法が理解できていない。今後は基本的な文構造の定着が望まれる。</p>							
放 1	聞きとり (説明)	a b c	短い英文を聞きとり、その内容を表す絵を選択することができるか。	3 祖母と食事 4 Mike13歳、Jim18歳 1 ホテルの受付	94 50 97	80	2 ケンが料理 1 Mike 2歳、Jim 3歳 3 レストラン
<p>考察 aとcは概ね理解できていた。bは比較級の理解が不十分であったための誤答が目立った。</p>							
放 2	聞きとり (応答)	a b	短い会話文を聞き、その会話に続く応答として適切な文章を選ぶことができるか。	2 I went to bed at three o'clock. 3 Let's see. I was there for two weeks.	85 85	85	1 I got up at 8 o'clock ~. 1 ~ I've been there about ten times.
<p>考察 全体的に概ねできていた。</p>							
放 3	聞きとり (場面)	a b c	会話文の内容を理解し、その内容に対する質問に適切に答えられるか。	1 ~ to watch sumo. 2 ~ have to get her father's bag. 1 On Tuesdays and Thursdays.	86 74 63	74	3 He likes to watch soccer. 3 ~ have to listen to Mary's CD. 2 On Saturdays and Sundays.
<p>考察 概ね理解できていた。cは曜日がいくつか出てくるため流れを把握するのが困難だったようである。</p>							
放 4	聞きとり (内容理解)		まとまった長い英文を聞き、その内容と同じ内容を示す日本語を選択することができるか。	3 カナダの学生たちは金曜日の午後に～ 5 カナダの学生たちは日本料理を日本の学生たち～	45 60	53	1 カナダから今週の金曜日に～ 6 日本の学生が歓迎昼食会に参加するには木曜日までに田中先生に～
<p>考察 概ね話全体の内容を理解できていたが、細かい情報を聞きとる力に乏しい。今後はメモを取りながら、長い情報を聞きとる力をつけていく活動に取り組む必要があると思われる。</p>							

5. 指導にあたって

(1) 学習指導上の考察

①言語や文化についての知識・理解に関する問題について

- 1 学年一・問2、問3ともに正答率が高かった。
 - ・問4では、一般動詞と be 動詞の違いを理解していないことによる誤答が目立った。
 - ・問5では、全般的に正答率が低く、今後の課題と言える。
- 2 学年一・問2では、特に動詞の不規則過去である“saw”の正答率が高くなかった。発音と綴りとの関係をより学習する必要があると考えられる。
 - ・問3は、概ね高い正答率であった。
 - ・問4a、d、eは、正答率が低い。前置詞の使い方や SVO の文型の理解が十分ではないことが理由と考えられる。
- 3 学年一・問2、問4は中下位群の誤答および無答が目立った。
 - ・スペルの長い語の知識は正確ではなかったようだ。また、問4cの“over”を入れる位置も正確ではなかった。

◆学習指導上の課題

語彙の指導については、単語テストや宿題などで単語を書く作業は各学校で実施しているが、定着率は高くはないようである。これは、単語テストのために一時的に単語を覚えているだけだからではないかと思われる。より多くの単語を身につけさせるためにも、ある話題について文章を書く作業を1年次から継続する必要があると考える。また、基本文型の語順が正確に身につけていないこともうかがえる。学習で得た知識を運用まで高めるためのステップが必要であろう。3年生の誤答には、1、2年次の学習が十分ではないことが原因と思われるものが多い。文法事項や単語などをスパイラルに学習する必要がある。

②理解の能力に関する問題について

- 1 学年一・問7では、複雑な情報を正確に読みとることができる生徒が多いことがわかった。
 - ・問8では、細かい内容は十分ではないが、概要は読みとれている生徒が多いことがわかった。
 - ・聞きとり問題では、概ね正答率が高く、日頃の指導の成果が表れていた。
- 2 学年一・問1は、正答率が高く対話の内容を理解し、適切な語句や文章を選ぶことができた。
 - ・問6では、全体的に正答率が低い。これは、文章や情報を読みとる訓練ができていないことが原因だと考えられる。
 - ・問7では、特に下位群の英文全体の把握と細かい情報の読みとりが不十分である。
 - ・聞きとり問題では、問題4の正答率が高くない。これは、ある程度まとまった英文を細部まで聞きとる練習が不十分であったことが原因であると考えられる。
- 3 学年一・問5は、対話の内容が理解できたようで、正答率が高かった。
 - ・問6、問7では、全体的に正答率が高くなかった。誤答は、細かい部分の読みとりが不十分であったことが原因と考えられる。
 - ・聞きとり問題では、問題4の正答率が低い。長い情報を聞きとる力をつけていく必要がある。

◆学習指導上の課題

長文読解問題では、特に細かい部分の読みとりができていなかった。全体を把握しつつ、文の前後をしっかりとらえさせる指導が必要であろう。聞きとりテストでは、文章が長くなると瞬時に情報を整理しにくくなる。日頃から教師やALTが英語で身の回りのことなどを話すなど、まとまった英文の内容を聞きとる活動を継続することが大切である。

③表現の能力に関する問題について

- 1 学年ー・問9、問10では、正しい綴りで書くことができていない。特に中下位群では無答もあった。
 - ・問10では、be動詞を用いた文構造の定着率が低い。
- 2 学年ー・問8では、与えられた場面の中で、適切な表現を取捨選択して書くことができない生徒が多かった。
 - ・問9は、部分英作文の形だったが、全般的に文章を書くことができない生徒が多かった。
- 3 学年ー・問8では、与えられた場面の中で道案内などの知識が運用の段階まで高められていないことがわかった。
 - ・問9は、部分英作文の形だったが、正確な文章を書くことができない生徒が多かった。
日頃の授業の中で、つながりのあるまとまった文章を書かせる機会を増やしていくことが必要である。

◆学習指導上の課題

昨年度より、全学年にとっさの一言を問う問題を、今年度より部分英作文の問題を取り入れた。どの学年とも、正答率はけっして高くはなく、特に無答が平均30パーセント弱と、中下位群の正答の低さが目立った。何とか表現しようとする意欲を育てたい。

言語の習得過程を考えると、文字で事象を表現することは難しい作業である。日頃の授業で英作文を継続的に取り入れることは難しい一面もある。生徒が書いた文章を添削する作業に時間がかかることや生徒の能力の差が大きいことが原因の1つだと思われる。英語学習の目的の1つである自己表現能力の向上をめざし、1文から始め、3～4文で身の回りのことを表現する能力を身につけるよう継続指導することは大切である。

(2) 反省と今後の課題

今年度も、検査本来の目的、主旨をとらえ各問題を作成した。調査の結果から例年同様の反省が出た。昨年度よりもより観点別評価を明確にするよう工夫をした。長文読解問題（1年間8、2年間7、3年間7）に関して、設問とその選択肢をすべて日本語とし、より観点を明確にした。表現の能力の問題では、昨年度自由英作文に近い形式の問題を出題したが、正答率が低かったことと採点基準が難しかったことから、今年度は条件英作文と部分英作文の問題を実施した。オープンエンドの問題で、生徒の表現力を発揮しやすくした。アンケートから、作文問題の採点基準についてご意見をいただいたが、今後も各校での授業の実態に合わせた採点をお願いしたい。今後も、より妥当性が高く、個々の生徒の各観点を力を判断できるような作問を進めていきたい。

対話活動などのオーラルコミュニケーション活動と文法の説明や練習問題などを扱う時間的なバランスは難しい問題である。生徒の学習状況や文法事項に合わせて、帯活動などを工夫し4技能を高め、より高い定着率を得られるような工夫が必要である。作文問題には無解答も多いことから、自分の思いや考えを英文で表すような活動を取り入れることが重要であると考えられる。これから授業数も増えていくことになり、語彙数などの学習内容も増える。増えた時間をどのように有効に活用していくかは大きな課題となろう。中学校3年終了時に英語学習を通してどのような力を身につけさせたいのかを明確にし、様々な活動を組み込み、生徒の興味関心を持続させる工夫は絶やすことができないところである。

Ⅲ 生活や学習についての アンケート

調査の概要

1 調査の目的

川崎市の公立中学校に在籍する生徒の生活や学習についての意識や実態を把握することにより、各学校における指導方法や授業改善等に資するとともに、本市学校教育全体の充実に向けた基礎資料として活用する。

2 調査の設計

(1) 調査実施校及び対象者

市内公立中学校第2学年に在籍する全生徒 *調査当日の欠席者を除く

(2) 調査校数及び回答者数

学校数：51校 回答者数：8,553名

(3) 調査実施期日

平成22年11月9日(火) 川崎市学習状況調査の一環として各教科の調査後に実施

(4) 調査方法

記名の質問紙法調査による

(5) 調査内容及び設問数

生徒の生活と学習に関する意識と実態についての調査 45問

(6) 設問の主な観点及び視点

	観 点	視 点
1	学校生活に対する意識	楽しさ
2	学習全般に対する意識	好感度、必要性、理由、相談相手
3	各教科等に対する意識	好感度、理解度、有用感
4	家庭学習の実態	学習時間、学習内容、通塾
5	家庭生活の実態	睡眠時間、朝食の摂取、学習の準備、 テレビ・ビデオ・ゲームの視聴・実施時間 1ヶ月の読書量
6	各教科等に対する意識・実態	学習内容・方法に対する好感度 日常生活への活用や関連 等

3 調査結果の集計・分析に当たっての留意事項

(1) 単純集計及び分析

①2の(6)にある「設問の観点」ごとに項立てを行い、分析を行った。

②設問ごとに集計結果をグラフで表し、考察を加えた。

③一部の設問では前々年度、前年度の結果を併記して、経年比較分析を行った。

(2) クロス集計及び分析

いくつかの設問については、クロス集計という手法を用いて分析した。これは、設問Aでの選択肢ごとに設問Bの回答を集計することで、設問Aでの回答選択の違いを設問Bで説明する方法である。このことにより、設問Aと設問Bの二つの設問の間の関連や相関関係等を分析した。なお、クロス集計では無回答者を除いて集計した。

(3) 各教科の正答率との相関

いくつかの設問については、回答ごとに学習診断テストの各教科の正答率を算出した。これにより各教科の正答率と各設問の回答との間の相関関係について分析した。なお、本分析においても無回答者を除いて集計した。

(4) 各グラフには、見やすさを考慮して調査結果の割合の数値を記入しきれていないものがある。

単純集計については、「資料 調査結果集計表」の該当設問の数値でご確認願いたい。

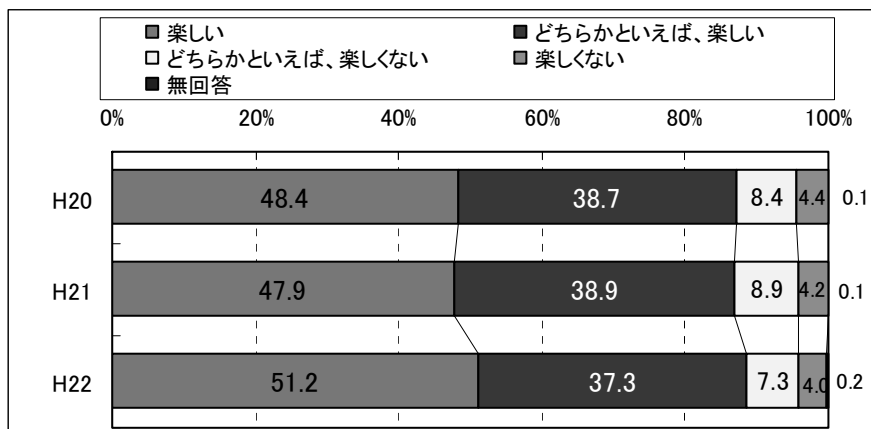
(5) 数値に関しては、小数点第2位を四捨五入し、小数第1位までで示しているため、合計が100%にならないことがある。

調査結果と分析

I 単純集計

1 学校生活に対する意識

(1) 学校生活の楽しさ【問1】

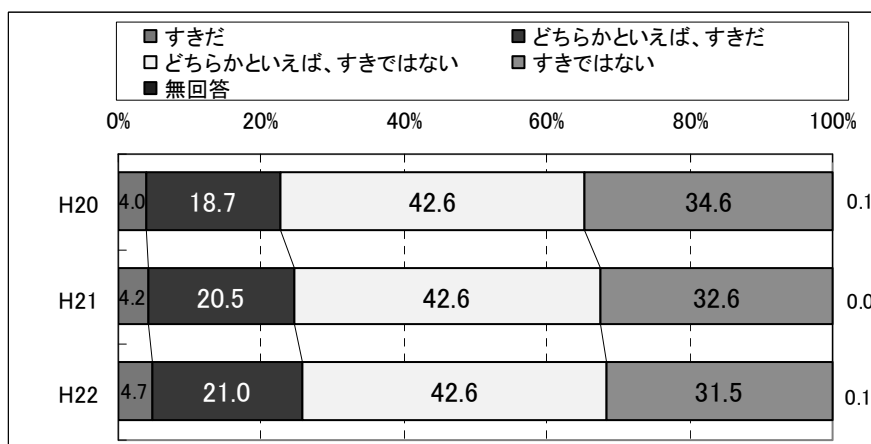


○51.2%の生徒が「楽しい」と回答しており、昨年度より3.3ポイント増加している。

○「楽しい」と「どちらかといえば、楽しい」の合計を過去3年間で平均すると、87.5%となる。

2 学習全般に対する意識

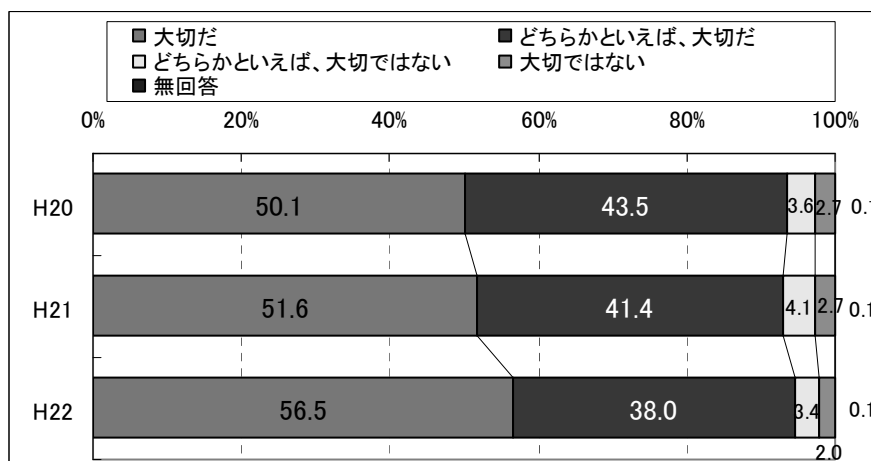
(1) 好感度【問2】



○勉強が「すきだ」、「どちらかといえば、すきだ」を合わせると25.7%となり、ここ3年間増加している。

○31.5%の生徒が「すきではない」と回答しており、「どちらかといえば、すきではない」と合わせると74.1%である。

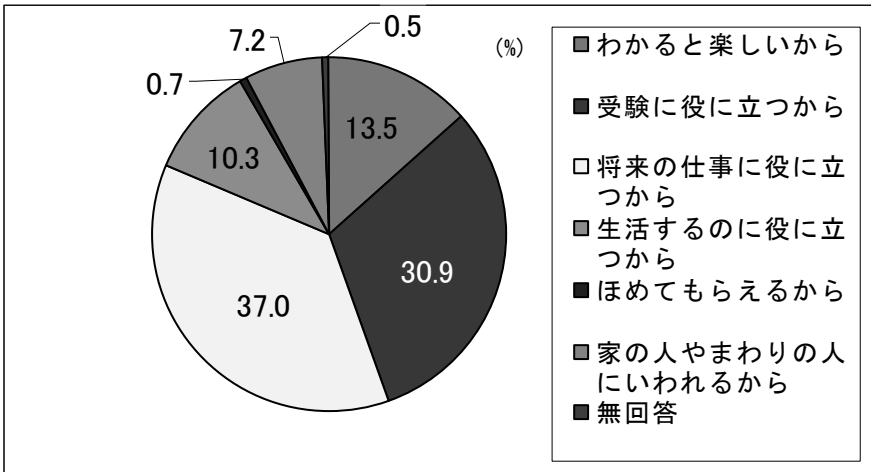
(2) 必要性【問3】



○56.5%の生徒が勉強は「大切だ」と回答しており、昨年度より4.9ポイント、一昨年度より6.4ポイント増加している。

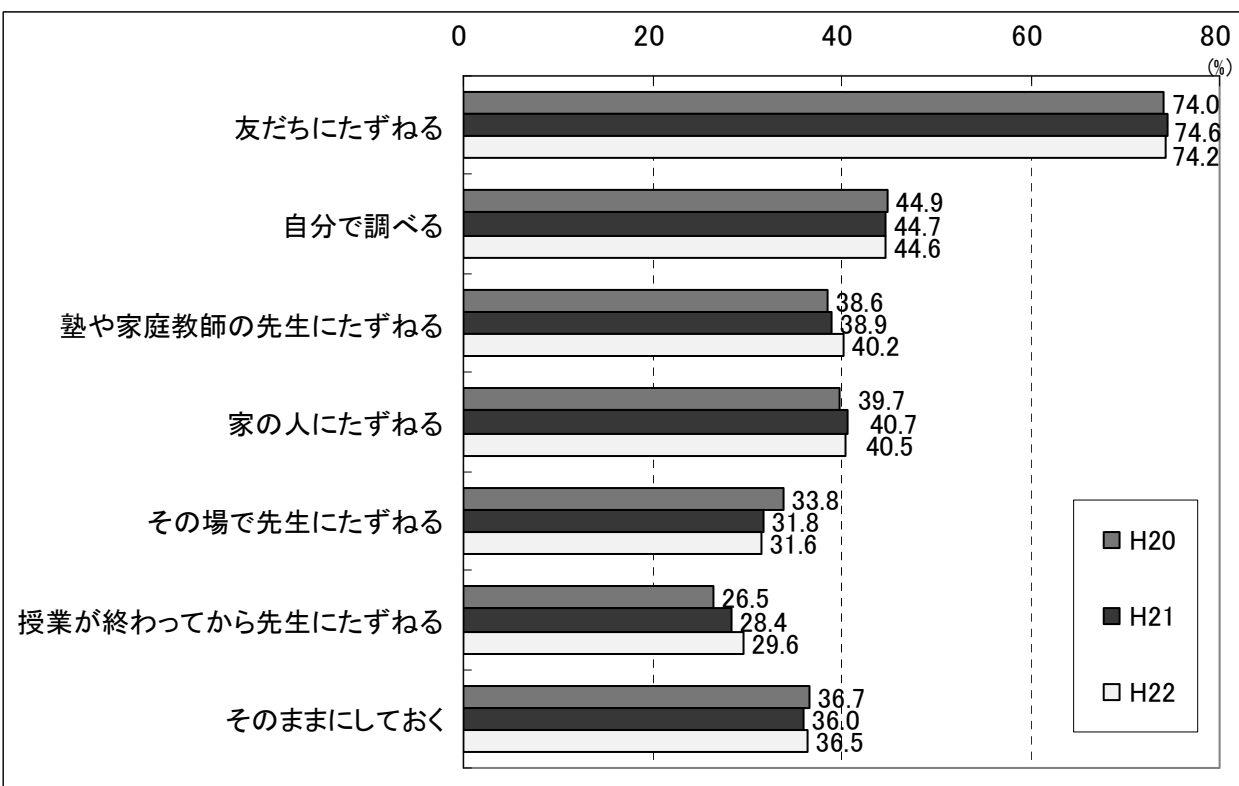
○「大切だ」、「どちらかといえば、大切だ」と回答した生徒を合わせると94.5%となり、昨年度より1.5ポイント増加している。

(3) 理由【問4】



○勉強する一番の理由として「将来の仕事に役に立つから」を挙げている生徒が 37.0%で最も多く、次に「受験に役に立つから」が 30.9%で続いている。
○「わかると楽しいから」(13.5%)、「生活するのに役に立つから」(10.3%)という回答も1割以上ある。

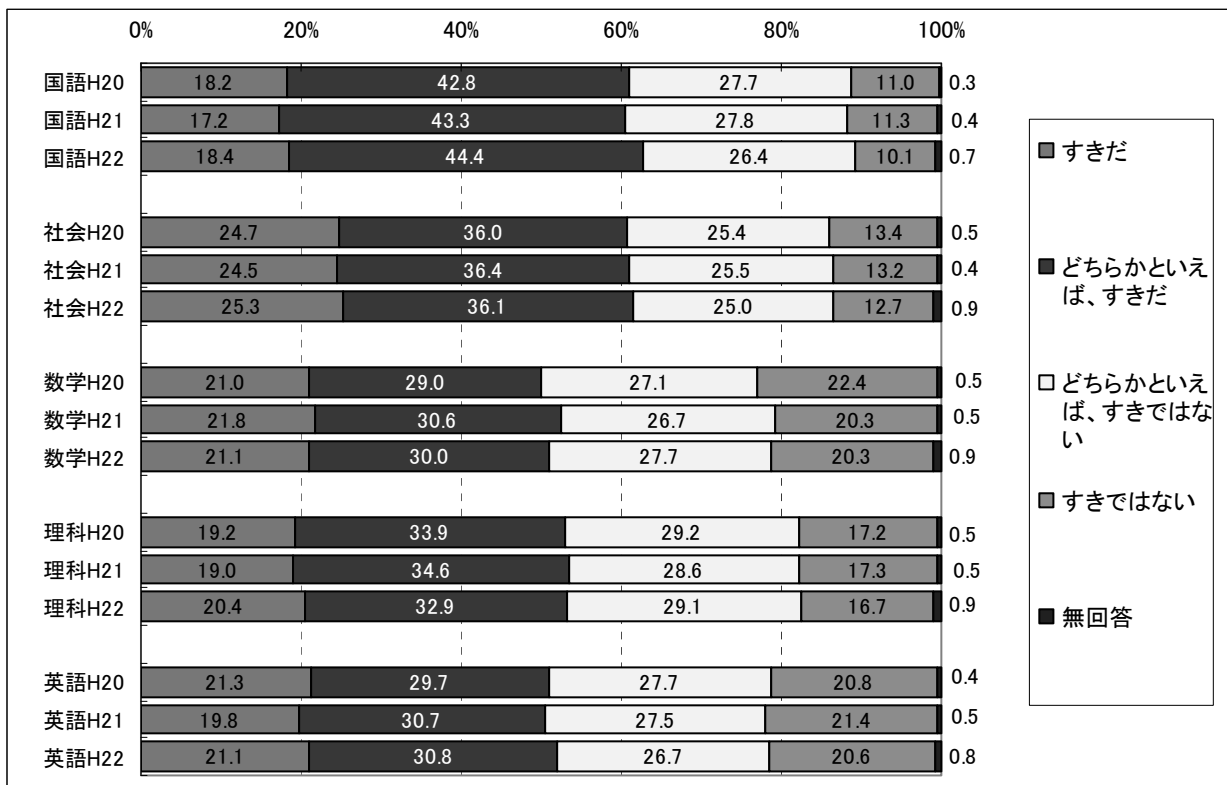
(4) 相談相手【問20】(複数回答可)



○授業の中でわからないことがあったときの相談相手として、「友だち」を挙げている生徒の割合が最も高く 74.2%である。
○「自分で調べる」と回答した生徒は、44.6%である。
○「学校の先生」にたずねると回答した生徒は、「塾や家庭教師の先生」や「家の人」にたずねると回答した生徒に比べて少ない。
○「授業が終わってから先生にたずねる」と回答した生徒は 29.6%で、昨年度より 1.2 ポイント、一昨年度より 3.1 ポイント増加しており、ここ3年間増加している。

3 各教科等に対する意識

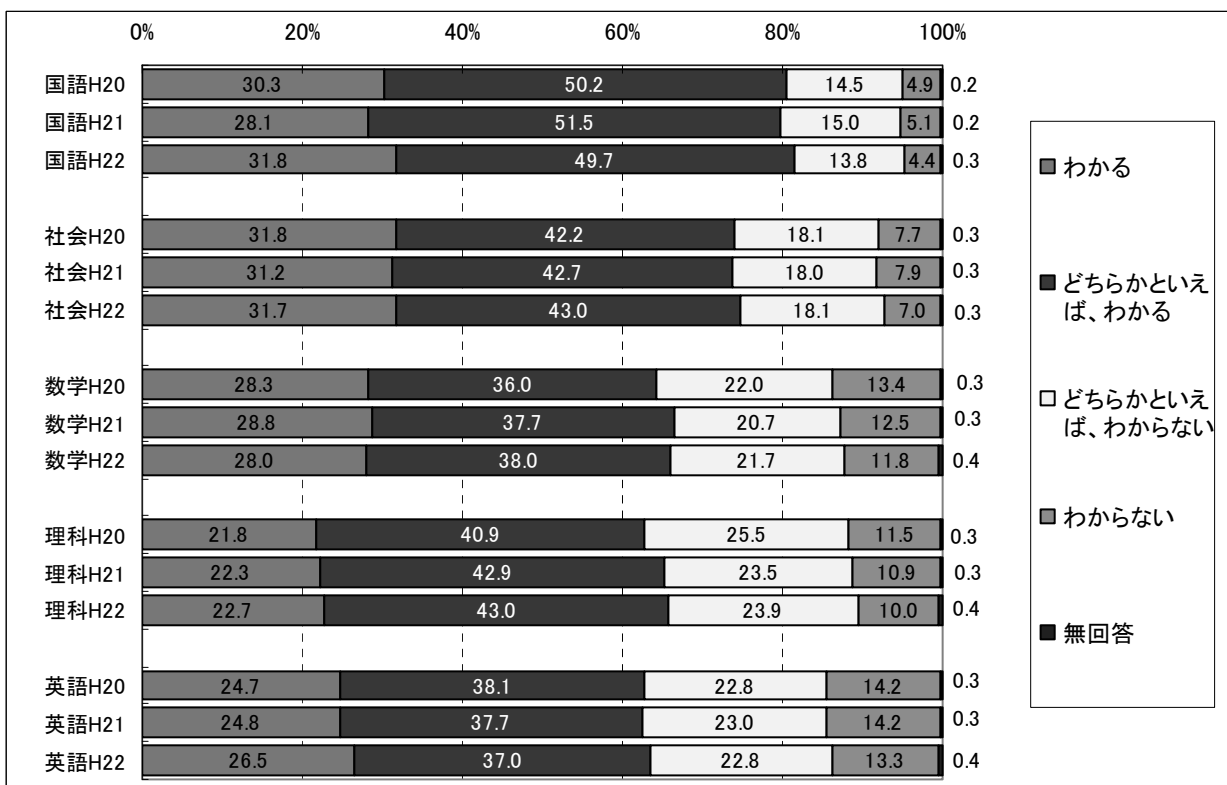
(1) 好感度【問5～9】



○授業の好感度（「すきだ」と「どちらかといえば、すきだ」を合わせた割合）が最も高いのは「国語」の62.8%で、以下、「社会」（61.4%）、「理科」（53.3%）、「英語」（51.9%）、「数学」（51.1%）となっている。

○過去3年間の各教科の好感度の平均は、「国語」は61.4%、「社会」は61.0%、「数学」は51.2%、「理科」は53.3%、「英語」は51.1%である。

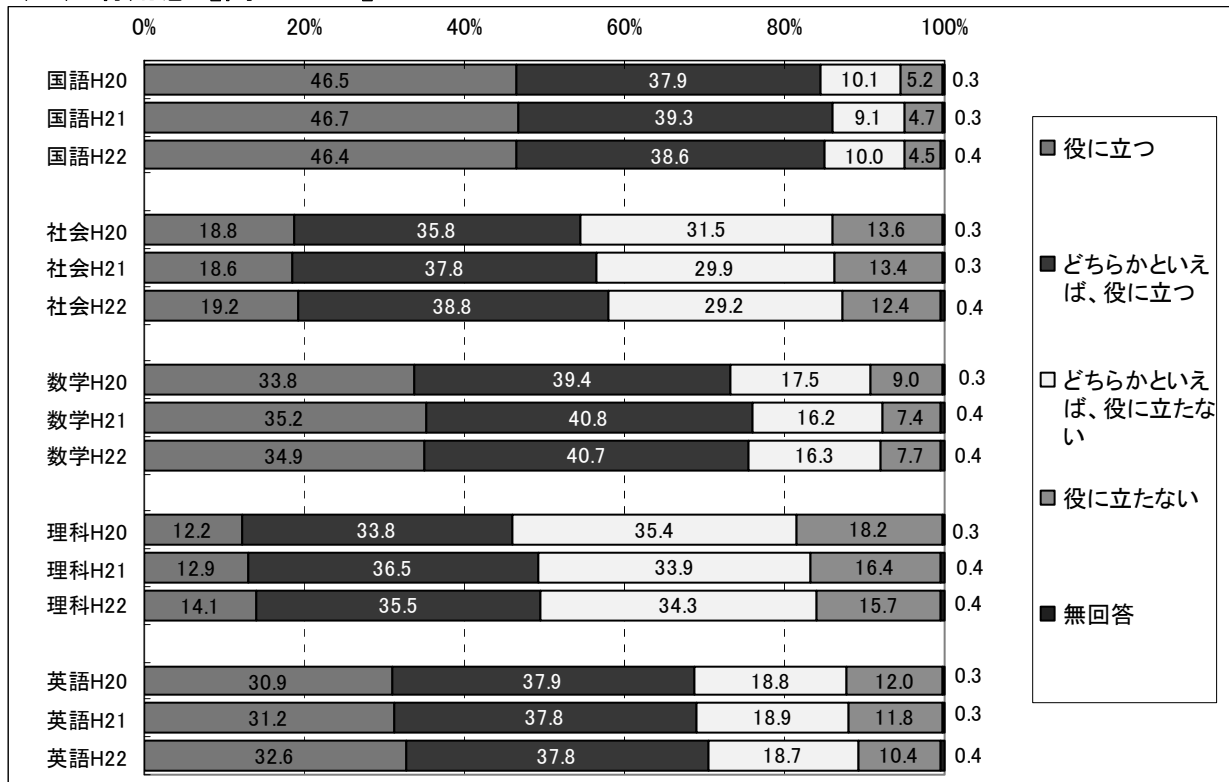
（2）理解度【問10～14】



○授業の理解度（「わかる」と「どちらかといえば、わかる」を合わせた割合）が最も高いのは「国語」で81.5%、以下、「社会」（74.7%）、「数学」（66.0%）、「理科」（65.7%）、「英語」（63.5%）となっている。

○過去3年間の各教科の理解度の平均は、「国語」は80.5%、「社会」は74.2%、「数学」は65.6%、「理科」は64.5%、「英語」は62.9%である。

（3）有用感【問15～19】

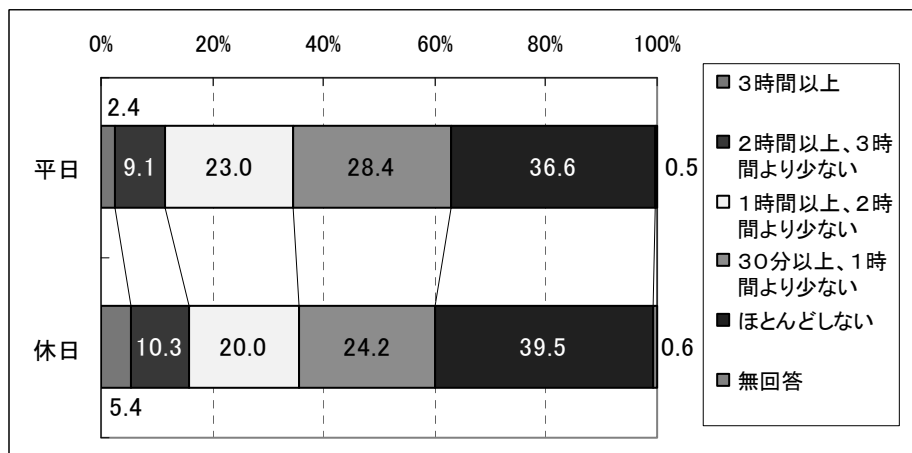


○学習に対する有用感（「役に立つ」と「どちらかといえば、役に立つ」を合わせた割合）が最も高いのは「国語」で85.0%、以下、「数学」（75.6%）、「英語」（70.4%）、「社会」（58.0%）、「理科」（49.6%）となっており、社会、理科、英語で昨年度よりもポイントが増加している。

○過去3年間の各教科の有用感の平均は、「国語」は85.1%、「社会」は56.3%、「数学」は74.9%、「理科」は48.3%、「英語」は69.4%である。

4 家庭学習の実態

（1）学習時間【問21～22】

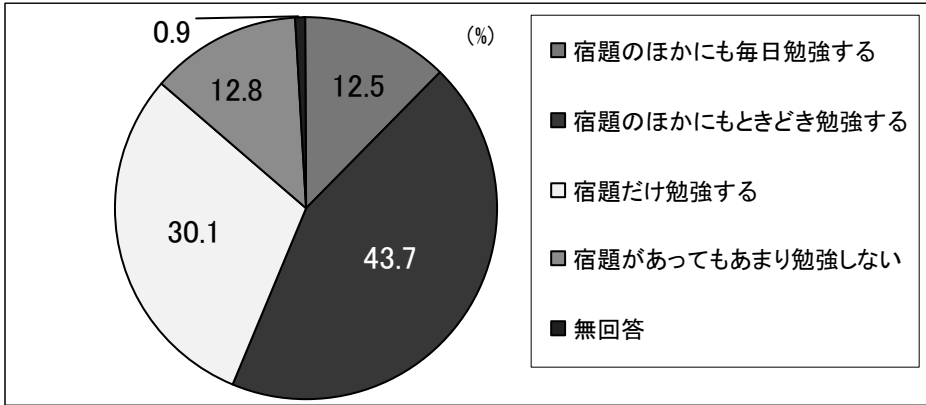


○勉強している時間では、平日、休日とも「30分以上、1時間より少ない」が最も多い。また、平日や休日に「ほとんどしない」と回答している生徒の割合はここ3年間減少している。

*資料 6-24 ページ
【問21, 22】参照

○平日と休日と比較すると、「30分以上、1時間より少ない」と回答した生徒の割合は、平日の方が4.2ポイント多い。

(2) 学習内容【問 23】



○「宿題のほかにもときどき勉強する」と回答した生徒が 43.7%で最も多く、次に「宿題だけ勉強する」が 30.1%で続いている。
○「宿題があってもあまり勉強しない」と回答した生徒の割合は 12.8%である。

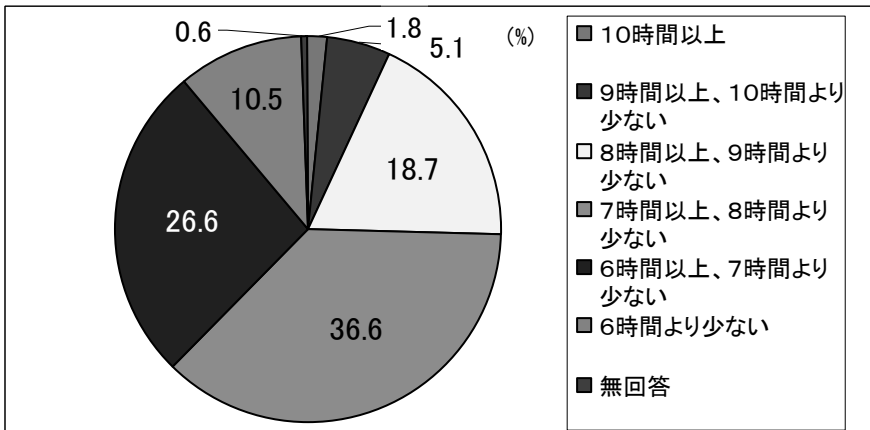
(3) 通塾【問 24】

	通っている (%)	通っていない (%)	無回答 (%)
H20	58.3	40.9	0.8
H21	57.7	41.5	0.8
H22	58.7	40.5	0.8

○学習塾に「通っている」と回答した生徒の割合は 58.7%である。
○過去 3 年間を通してみると、「通っている」、「通っていない」の割合に大きな変化はみられない。

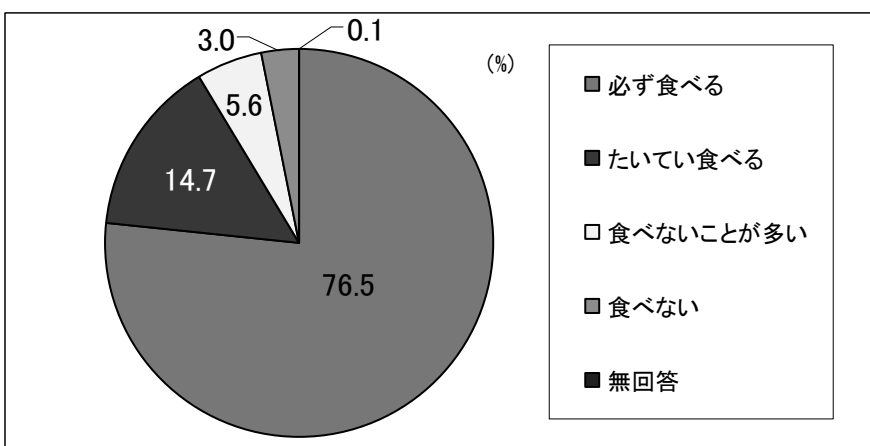
5 家庭生活の実態

(1) 睡眠時間【問 25】



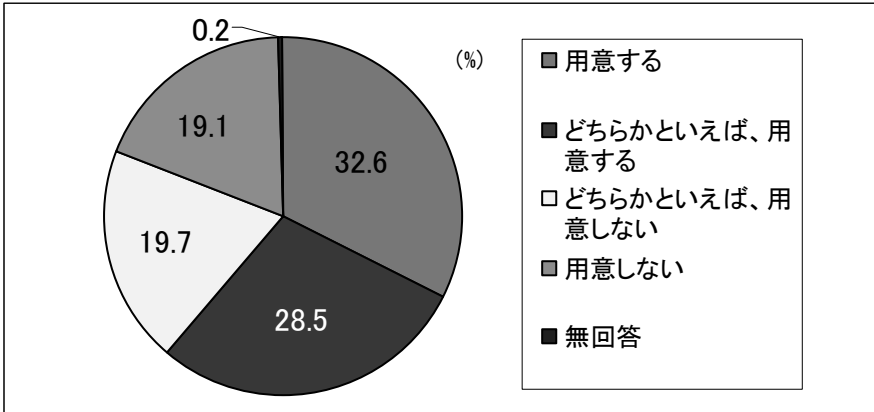
○「7時間以上、8時間より少ない」(36.6%)、「6時間以上、7時間より少ない」(26.6%)という回答が多く、6割以上の生徒の睡眠時間は「6～8時間」である。
○睡眠時間が「6時間より少ない」と回答した生徒は 10.5%で、ほぼ 1割である。

(2) 朝食の摂取【問 26】



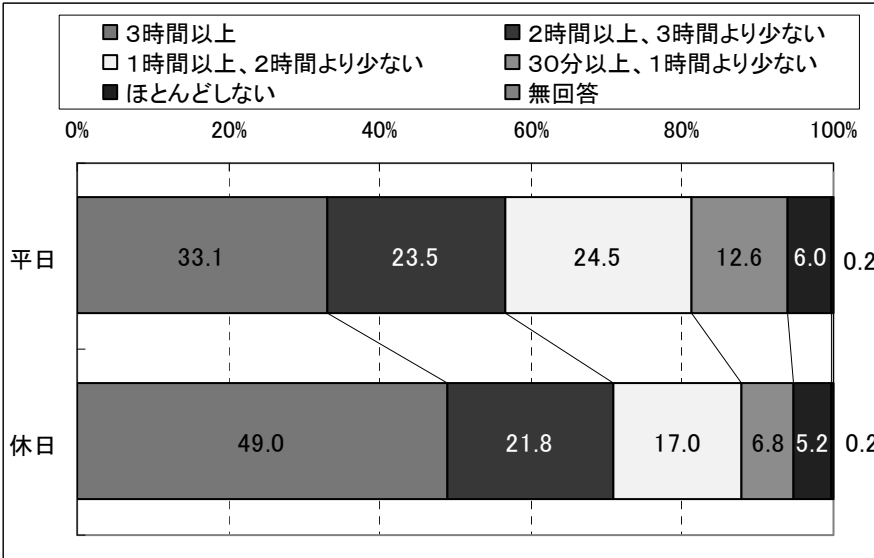
○76.5%の生徒が「必ず食べる」と回答しており、「たいてい食べる」という回答と合わせると、91.2%である。
○「必ず食べる」と回答した生徒の割合は、ここ 3 年間、増加している。
*資料 6-24 ページ【問 26】参照

(3) 学習の準備【問 27】



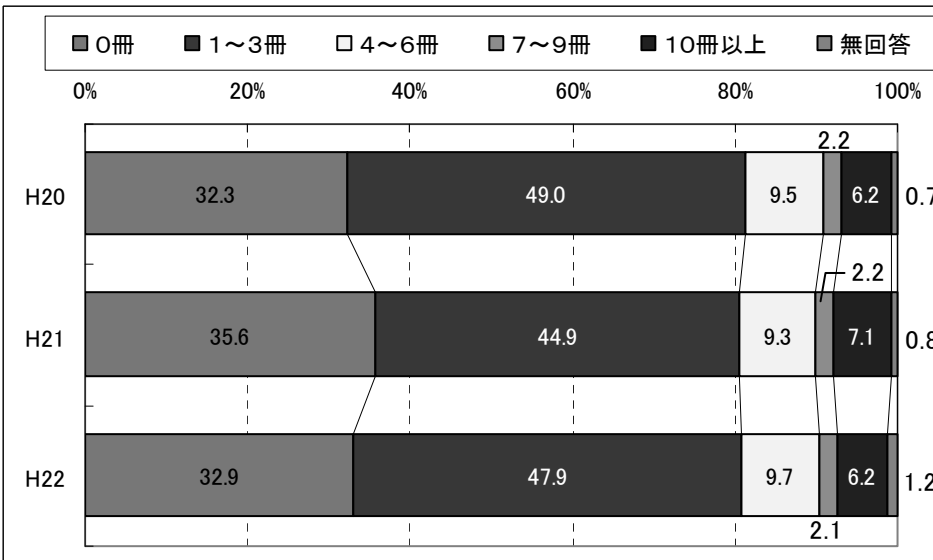
○32.6%の生徒が学校に持って行くものを前日に「用意する」と回答しており、「どちらかといえば、用意する」を合わせると、61.1%である。
○「用意しない」と回答した生徒の割合は 19.1% である。

(4) テレビ・ビデオ・ゲームの視聴・実施時間【問 28～29】



○平日と休日と比較すると、休日の方が、視聴・実施時間が長い傾向がある。
○平日では3割以上(33.1%)、休日では半数近く(49.0%)の生徒が、視聴・実施時間が「3時間以上」である。「2時間以上」を含めると、平日では56.6%、休日では70.8%である。

(5) 1ヶ月の読書量【問 30】



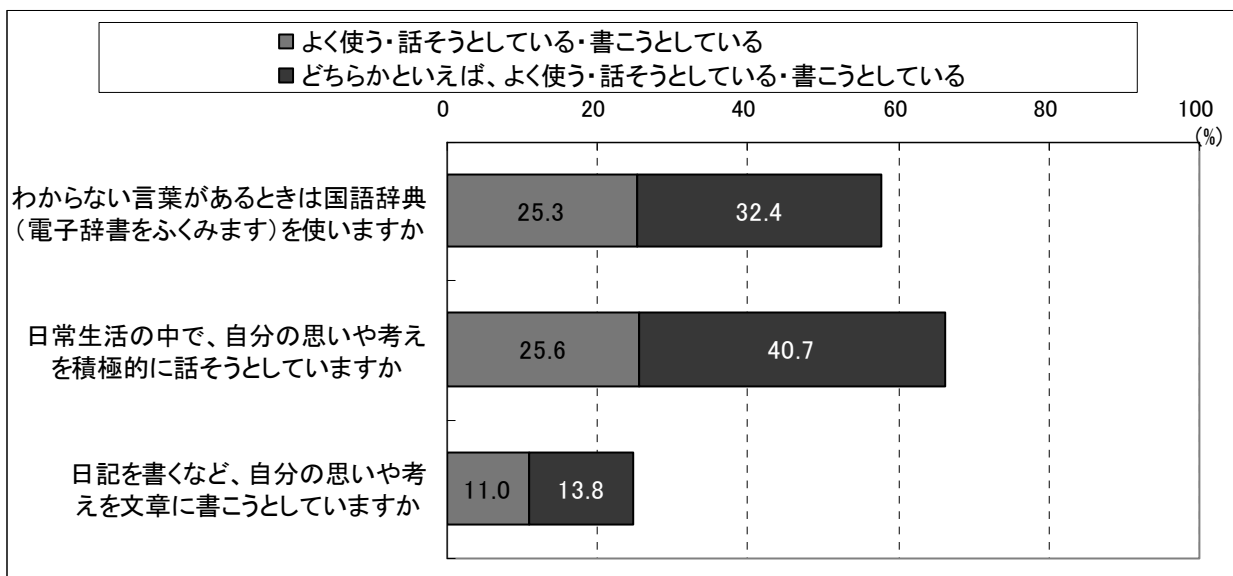
	平均冊数
H20	2.3冊
H21	2.4冊
H22	2.3冊

*31冊以上の回答は集計から除外しています。

○「0冊」と回答した生徒は32.9%で、昨年度よりも2.7ポイント減少している。
○昨年度と比較すると、「0冊」、「10冊以上」と回答した生徒の割合が減少し、「1～3冊」と回答した生徒の割合が増加している。

6 各教科等に対する意識・実態

(1) 国語【問 31～33】



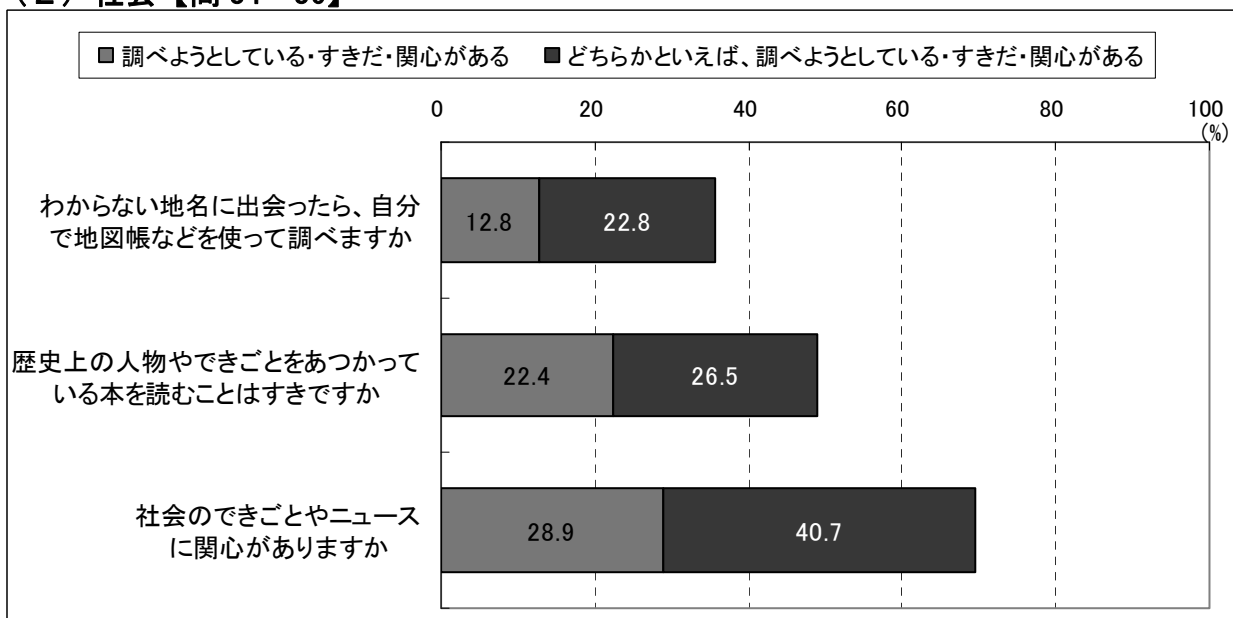
○わからない言葉があるとき、国語辞典を使う生徒は、「どちらかといえば」を含めると 57.7%である。

○「自分の思いや考え」を積極的に話そうとしている生徒、文章に書こうとしている生徒は、「どちらかといえば」を含めると、それぞれ 66.3%、24.8%である。

○昨年度と比べると、「自分の思いや考えを話そうとしている」生徒の割合は、「どちらかといえば」を含めると 1.7 ポイント増加している。

*資料 6-25 ページ【問 32】参照

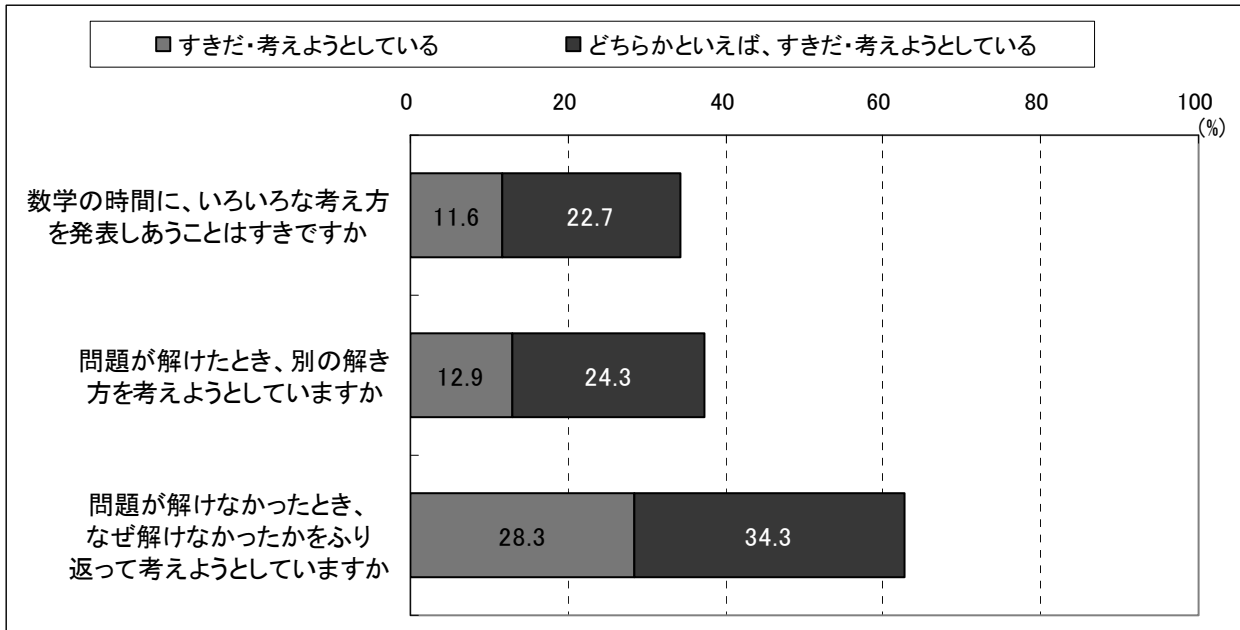
(2) 社会【問 34～36】



○自分で地図帳等を調べる生徒、歴史に関する本を読むことが好きな生徒は、「どちらかといえば」を含めるとそれぞれ、35.6%、48.9%である。

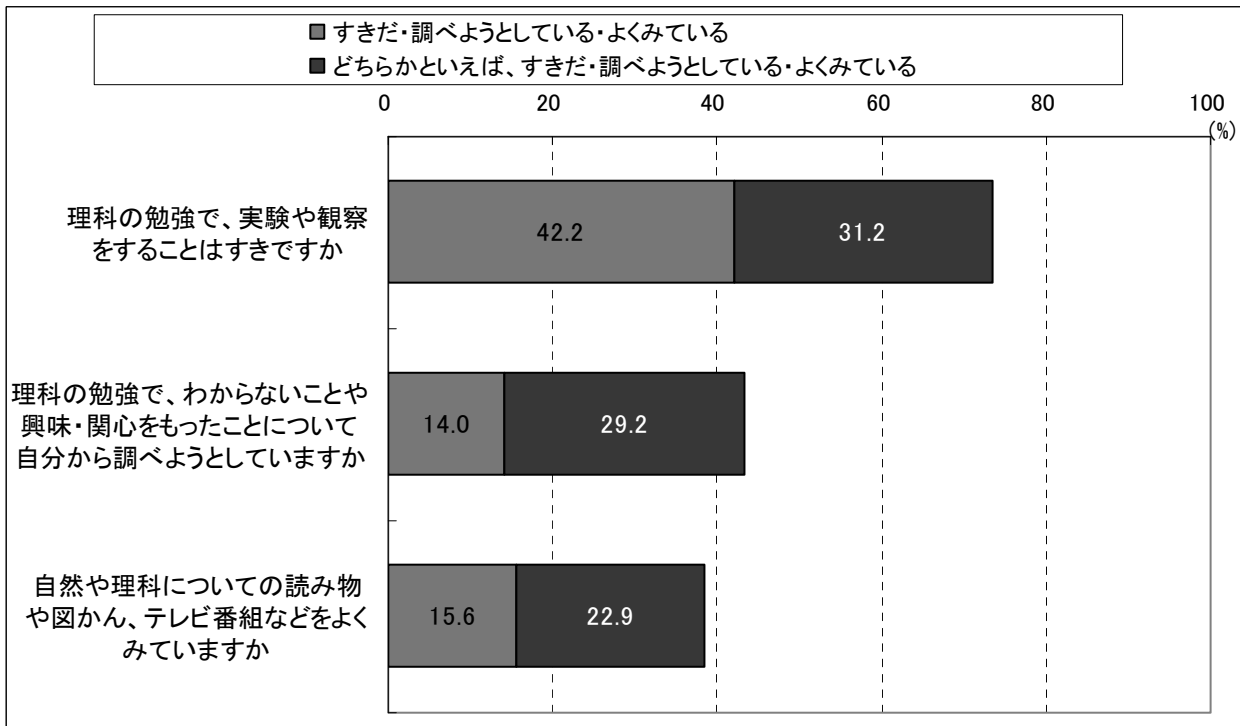
○社会のできごとやニュースに関心がある生徒は多く、「どちらかといえば」を含めると 69.6%である。

(3) 数学【問 37～39】



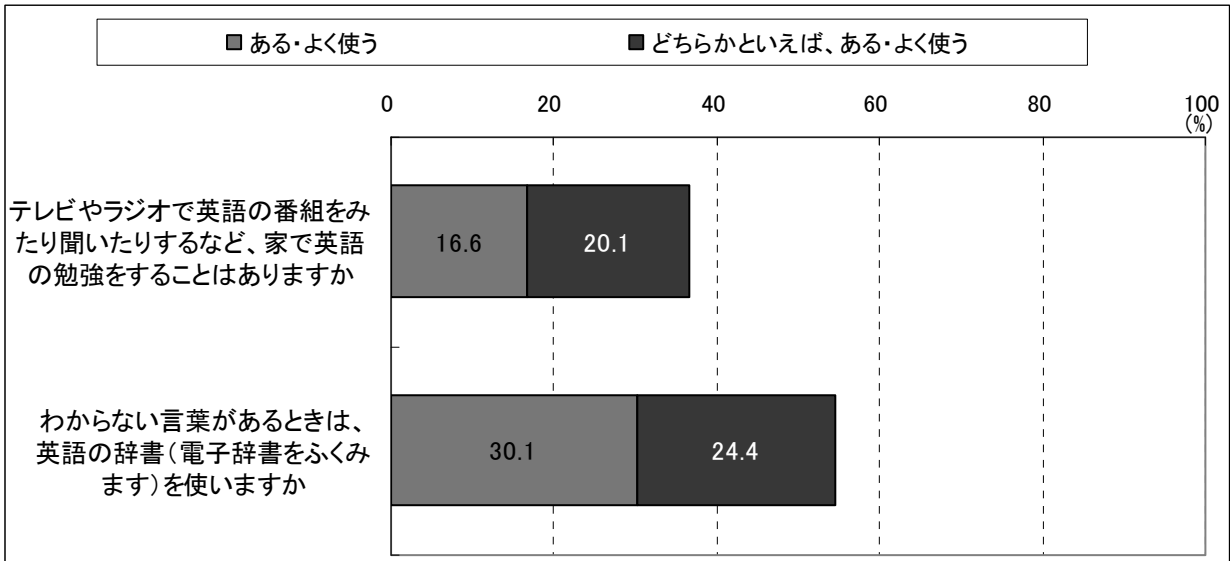
○いろいろな考え方を発表しあうことが好きな生徒、問題が解けたときに別の解き方を考えようとしている生徒は、「どちらかといえば」を含めると、それぞれ 34.3%、37.2%である。
 ○問題が解けなかったときに、その理由を考えようとしている生徒は、「どちらかといえば」を含めると 62.6%である。3問とも「どちらかといえば」を含めた割合は、昨年度に比べて増加している。*資料 6-26 ページ【問 37, 38, 39】参照

(4) 理科【問 40～42】

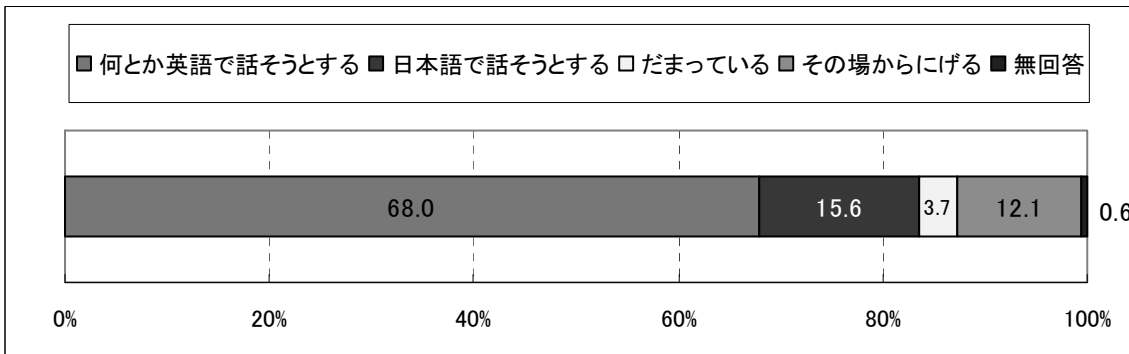


○理科の実験や観察の授業が好きな生徒は、「どちらかといえば」を合わせると 73.4%である。
 ○わからないことや興味・関心をもったことについて自分から調べようとする生徒、自然・理科に関する読み物や図鑑、テレビ番組等を見ている生徒は、「どちらかといえば」を含めると、それぞれ 43.2%、38.5%である。3問とも「どちらかといえば」を含めた割合は、昨年度に比べて増加している。*資料 6-26 ページ【問 40, 41, 42】参照

(5) 英語【問 43～45】



[道で外国人に英語で話しかけられた場合]



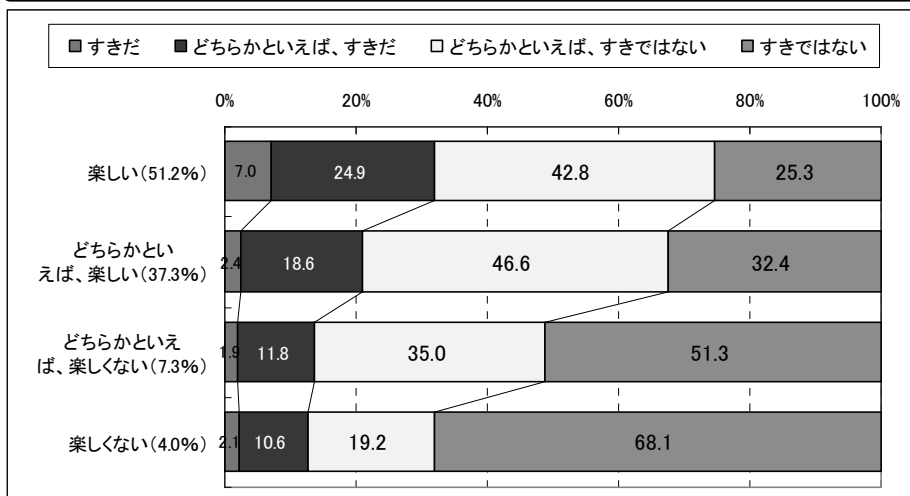
○家でテレビやラジオをみたり聞いたりして英語を勉強している生徒、わからない言葉があるとき、英語辞典を使う生徒は、「どちらかといえば」を含めると、それぞれ 36.7%、54.5%である。
 ○道で外国人に英語で話しかけられたときに「何とか英語で話そうとする」生徒は、ほぼ7割に当たる 68.0%である。一方、「だまっている」生徒は 3.7%、「その場からにげる」生徒は 12.1%であり、いずれも少ない。「だまっている」、「その場からにげる」と回答した生徒の割合は、昨年度より減少している。

*資料 6-27ページ【問 45】参照

Ⅱ クロス集計

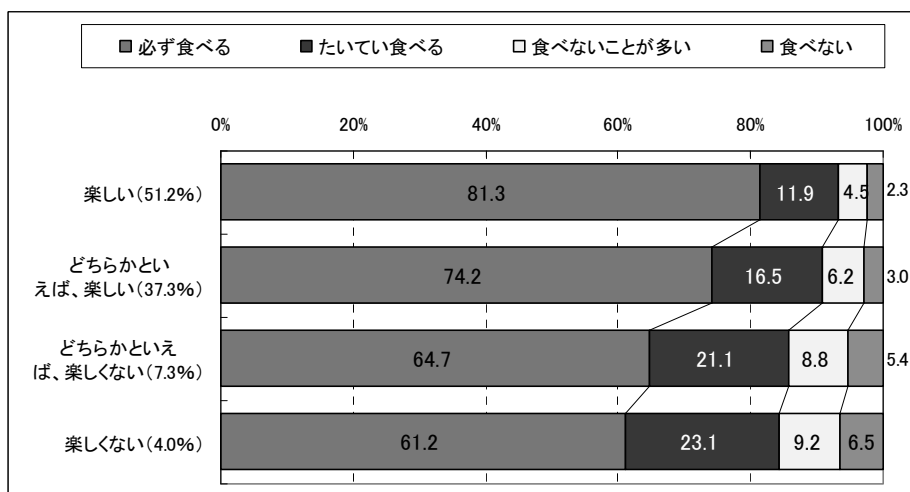
*縦軸の数値(%)は、その項目が単純集計に占める割合を示しています。

1 学校生活の楽しさ【問1】×学習に対する好感度【問2】



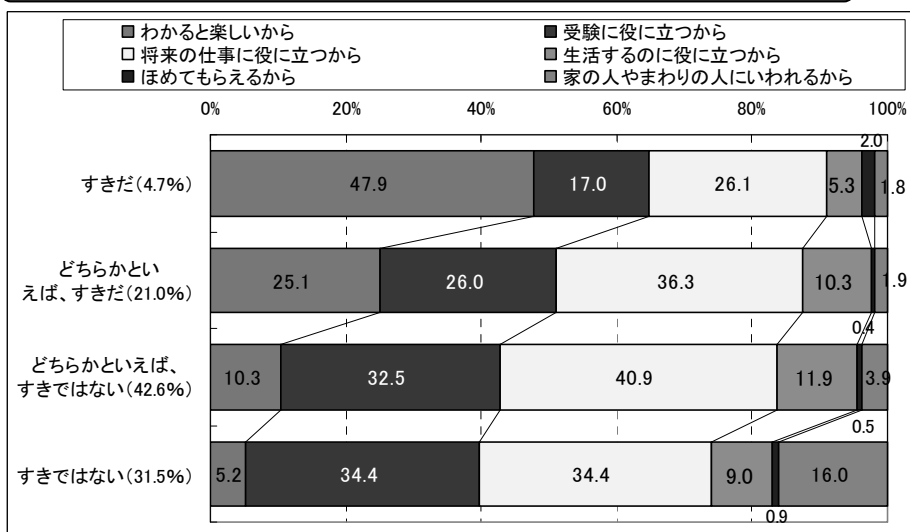
○学校生活を楽しいと感じている生徒ほど、学習に対する好感度の割合が増加する傾向がある。
○「すきではない」という回答は、学校が「どちらかといえば、楽しくない」では、半数以上に当たる51.3%である。「楽しくない」では68.1%である。

2 学校生活の楽しさ【問1】×朝食の摂取【問26】



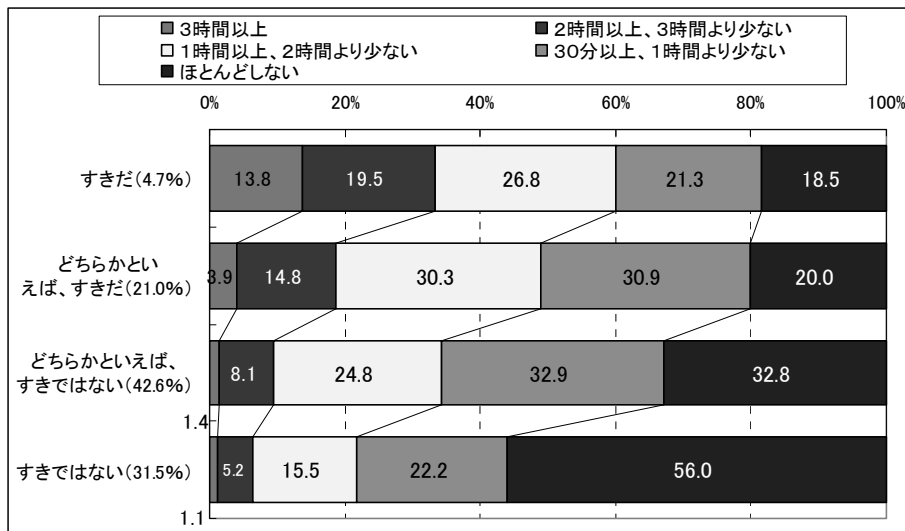
○学校生活を楽しいと感じている生徒ほど、朝食の摂取状況が良好な傾向がある。
○学校が「楽しくない」と回答した生徒では、「必ず食べる」が61.2%である一方、「食べないことが多い」と「食べない」という回答を合わせた割合は15.7%である。

3 学習に対する好感度【問2】×勉強する理由【問4】



○勉強が「すきだ」と回答した生徒の47.9%が、「わかると楽しいから」を理由に挙げている。「すきだ」と回答した生徒以外は、「将来の仕事に役に立つから」を理由に挙げている割合が高い。
○学習に対する好感度が低い生徒ほど、「家の人やまわりの人にいわれるから」を理由に挙げている割合が高い。

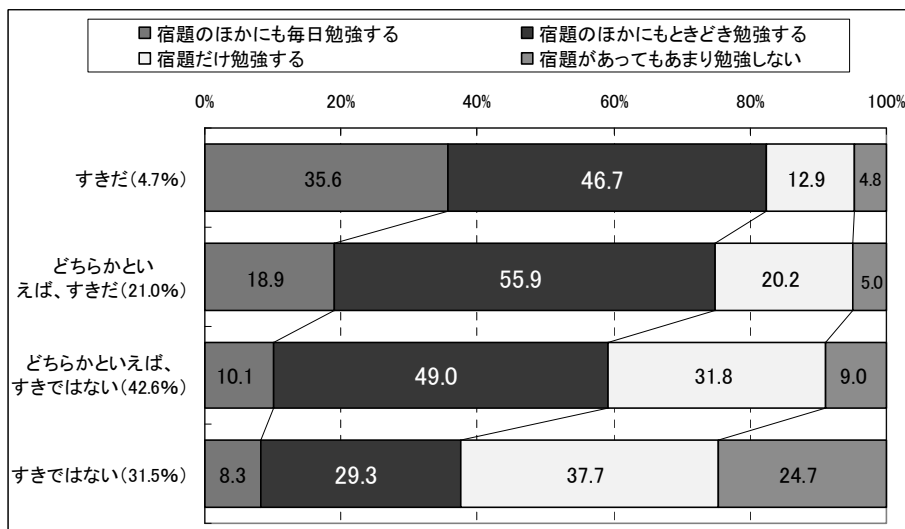
4 学習に対する好感度【問2】×家庭学習時間（平日）【問21】



○学習に対する好感度が高い生徒ほど、平日の家庭学習時間が長い傾向がある。

○勉強が「好きではない」と回答した生徒の56.0%が、家での勉強を「ほとんどしない」と回答している。

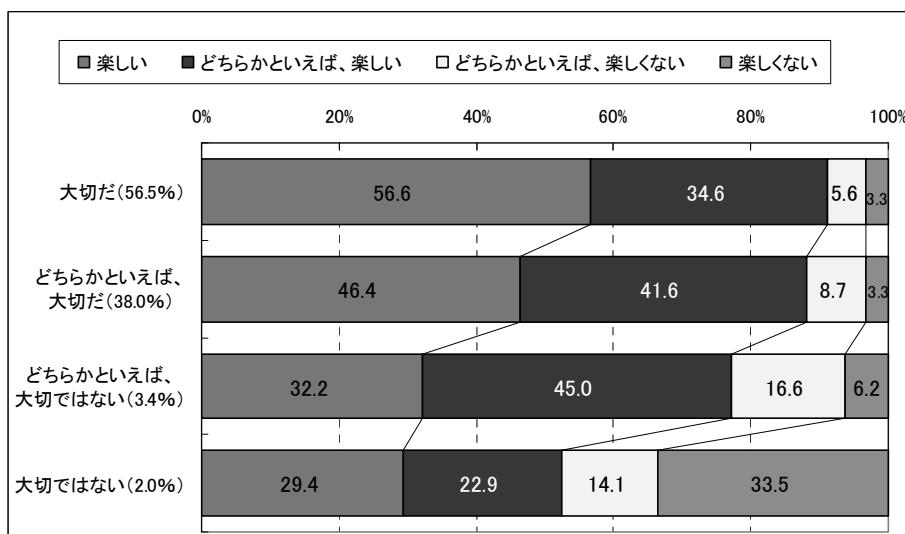
5 学習に対する好感度【問2】×家庭学習の内容【問23】



○勉強が「好きだ」と回答した生徒では、35.6%が宿題のほかに「毎日勉強する」、46.7%が「ときどき勉強する」と回答している。

○学習に対する好感度が低い生徒ほど、「宿題だけ勉強する」と「宿題があってもあまり勉強しない」と回答した生徒の割合が高くなる。

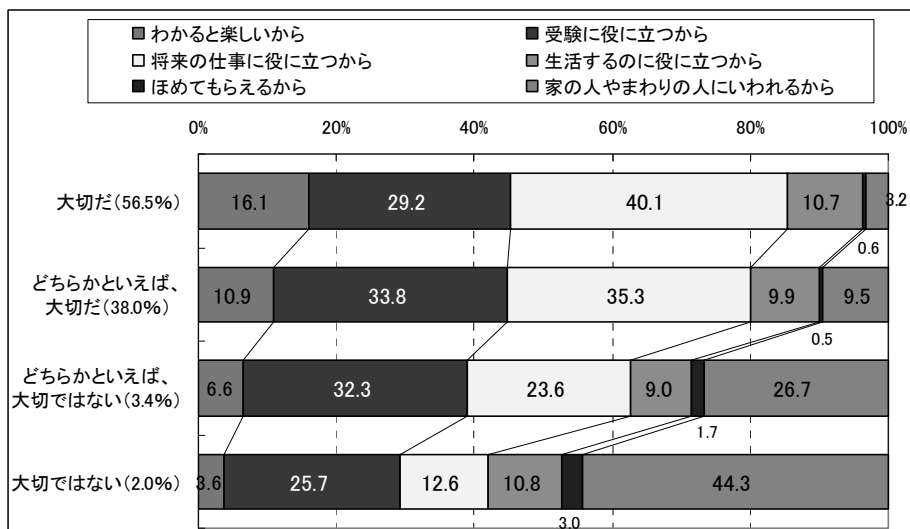
6 学習の必要性【問3】×学校生活の楽しさ【問1】



○学習に対する必要性を感じている生徒ほど、学校生活を楽しんでいる傾向がある。

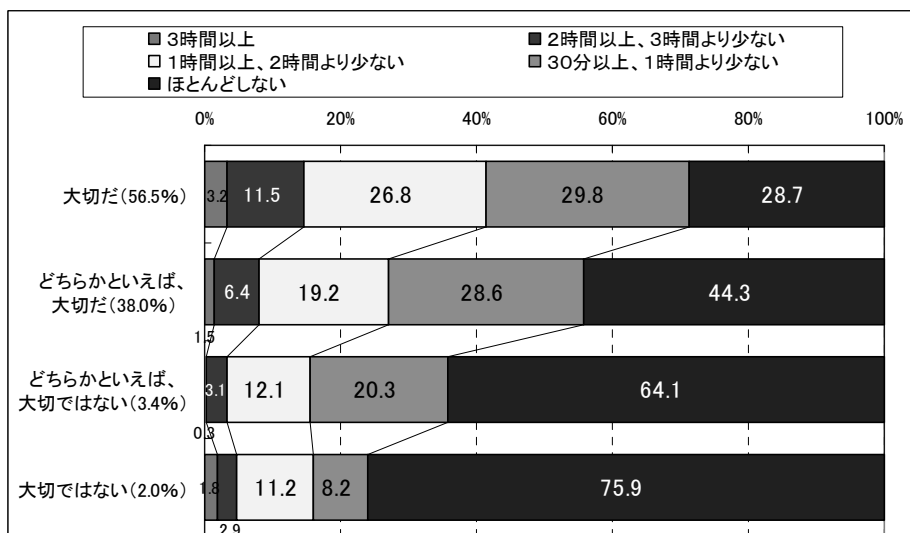
○勉強が「大切ではない」と回答した生徒の33.5%が「楽しくない」と回答しており、「どちらかといえば、楽しくない」を合わせると47.6%になる。

7 学習の必要性【問3】×勉強する理由【問4】



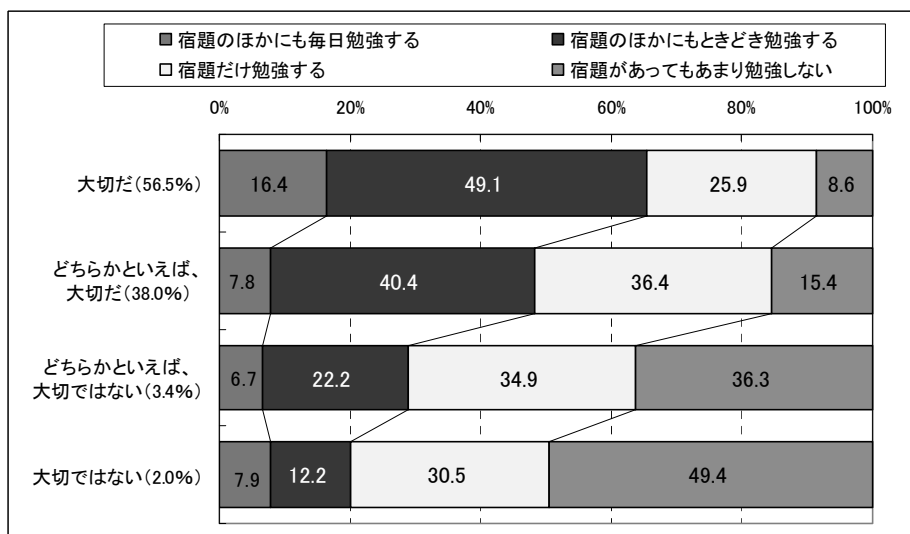
○学習に対する必要感が高い生徒ほど、「将来の仕事に役に立つから」と「わかると楽しいから」を勉強する理由に挙げている割合が高い。
○学習に対する必要感が低い生徒ほど、勉強する理由として「わかると楽しいから」、「将来の仕事に役に立つから」を挙げる割合が低くなり、反対に「家の人やまわりの人にいわれるから」を挙げる割合が高くなる。

8 学習の必要性【問3】×家庭学習時間（平日）【問21】



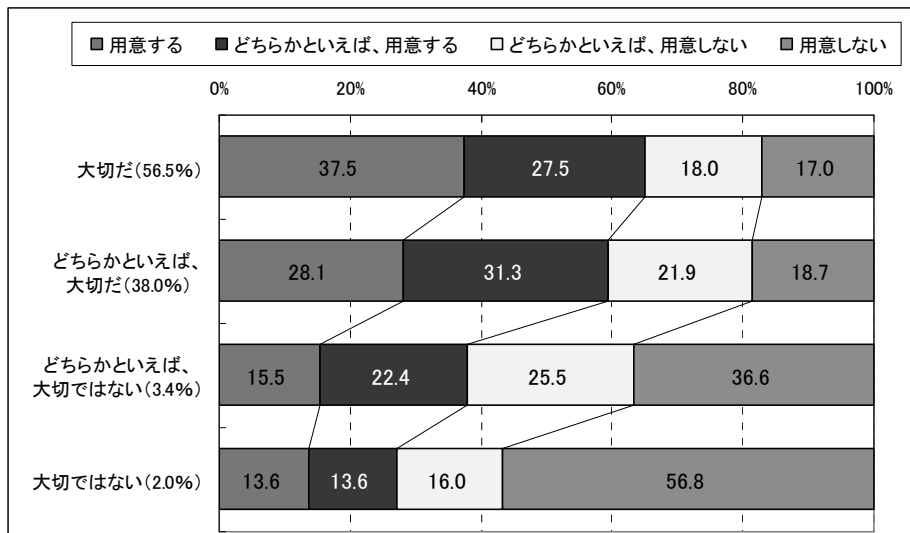
○学習に対する必要性を感じている生徒ほど、平日に家庭学習をしている割合が高い。
○勉強が「どちらかといえば、大切ではない」と回答した生徒の64.1%、「大切ではない」と回答した生徒の75.9%が、平日に家庭学習を「ほとんどしない」と回答している。

9 学習の必要性【問3】×家庭学習の内容【問23】



○勉強が「大切だ」と回答した生徒ほど、宿題以外にも勉強をしている割合が高い。
○勉強が「大切ではない」と回答した生徒の半数近くが、「宿題があってもあまり勉強しない」と回答している。

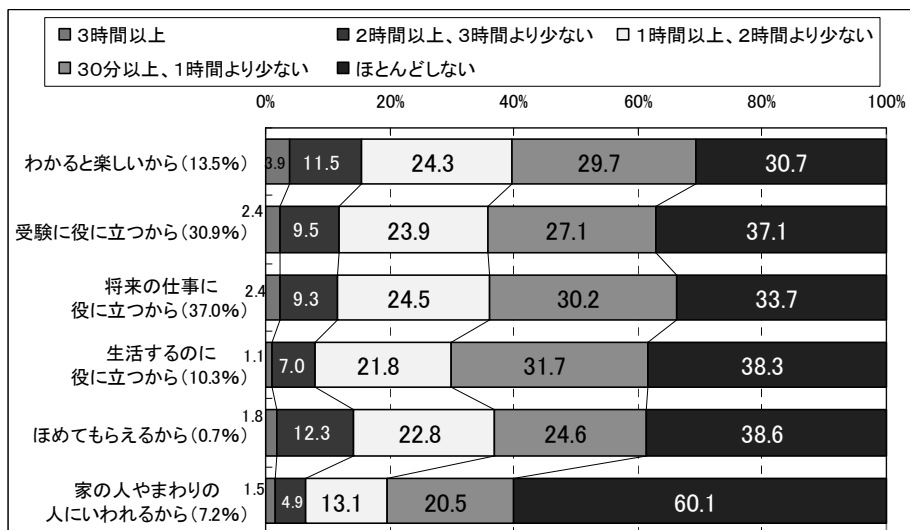
10 学習の必要性【問3】×学習の準備【問27】



○勉強が「大切だ」と回答した生徒ほど、前日に学校の持ち物を「用意する」と回答した割合が高い。

○勉強が「どちらかといえば、大切ではない」と回答した生徒の36.6%、「大切ではない」と回答した生徒の56.8%は、前日には持ち物を「用意しない」と回答している。

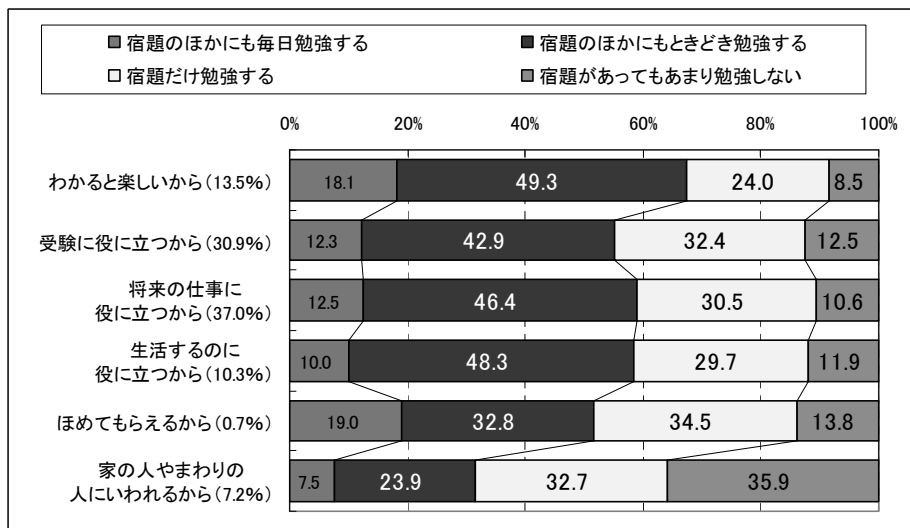
11 勉強する理由【問4】×家庭学習時間(平日)【問21】



○勉強する理由を「家の人やまわりの人にいわれるから」と回答した生徒の60.1%が、家庭学習を「ほとんどしない」と回答している。

○勉強する理由を「家の人やまわりの人にいわれるから」以外の回答をした生徒の平日の家庭学習の時間の割合は、ほぼ同程度である。

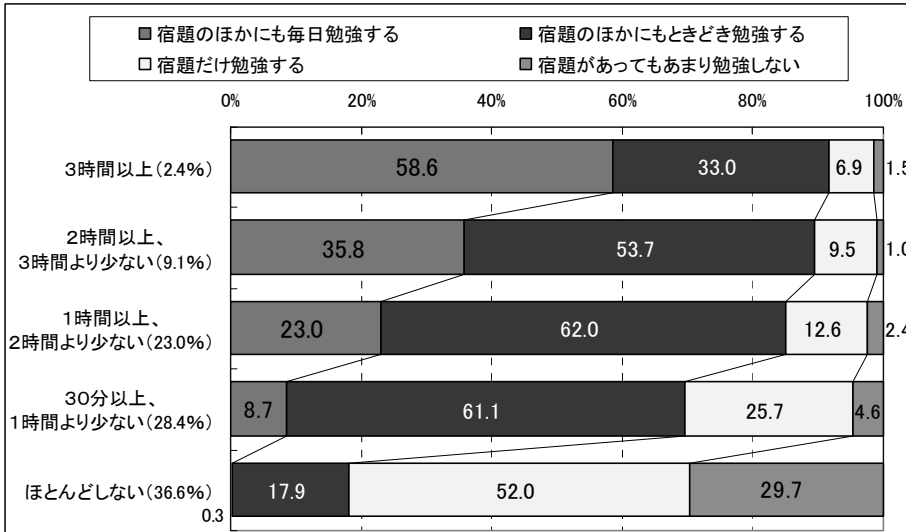
12 勉強する理由【問4】×家庭学習の内容【問23】



○勉強する理由として、「わかると楽しいから」、「ほめてもらえるから」を挙げている生徒は、他と比較して宿題以外にも家で毎日勉強している割合が高い。

○「家の人やまわりの人にいわれるから」と回答した生徒は、他と比較して家庭での学習をしていない割合が高い。

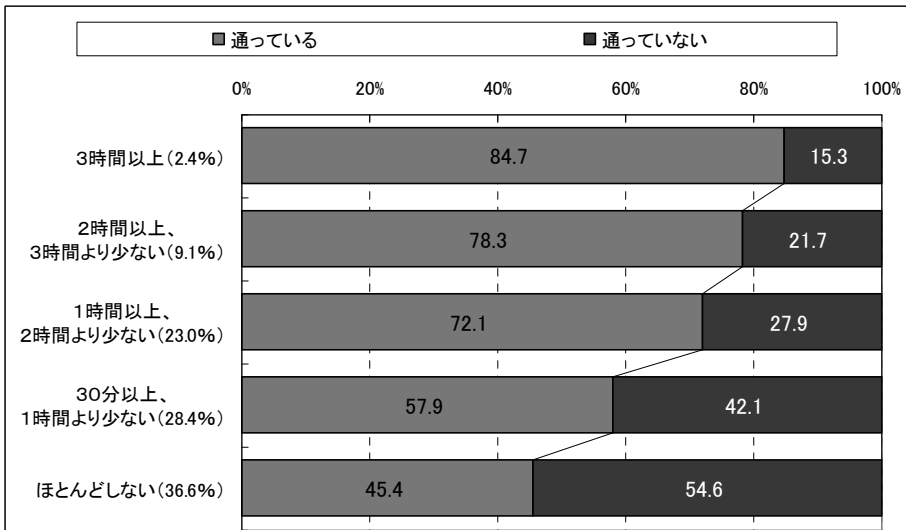
13 家庭学習時間（平日）【問 21】 × 家庭学習の内容【問 23】



○平日の家庭学習時間が長い生徒ほど、「宿題のほかに毎日勉強する」傾向がある。

○家での勉強を「ほとんどしない」と回答した生徒では、52.0%が「宿題だけ勉強する」、29.7%が「宿題があってもあまり勉強しない」と回答している。

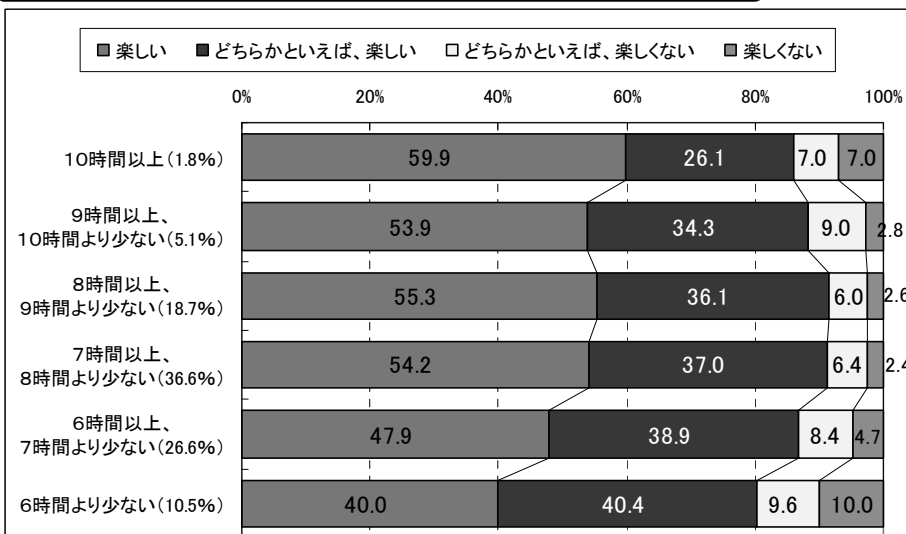
14 家庭学習時間（平日）【問 21】 × 通塾【問 24】



○平日の家庭学習時間が「2時間以上、3時間より少ない」生徒の78.3%、「3時間以上」の生徒の84.7%が学習塾に通っている。

○平日に家庭学習を「ほとんどしない」と回答した生徒の45.4%は塾で勉強している。

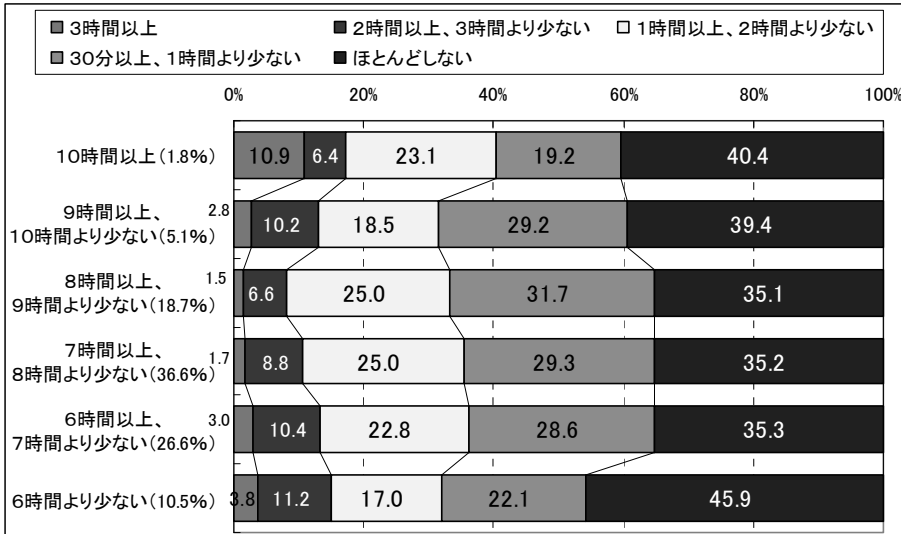
15 睡眠時間【問 25】 × 学校生活の楽しさ【問 1】



○「どちらかといえば、楽しい」までを含め、学校生活を楽しいと感じている割合が高いのは、睡眠時間が「7～9時間」の生徒である。

○睡眠時間が「6時間より少ない」と回答した生徒では、19.6%の生徒が、学校生活が「楽しくない」、「どちらかといえば、楽しくない」と回答している。

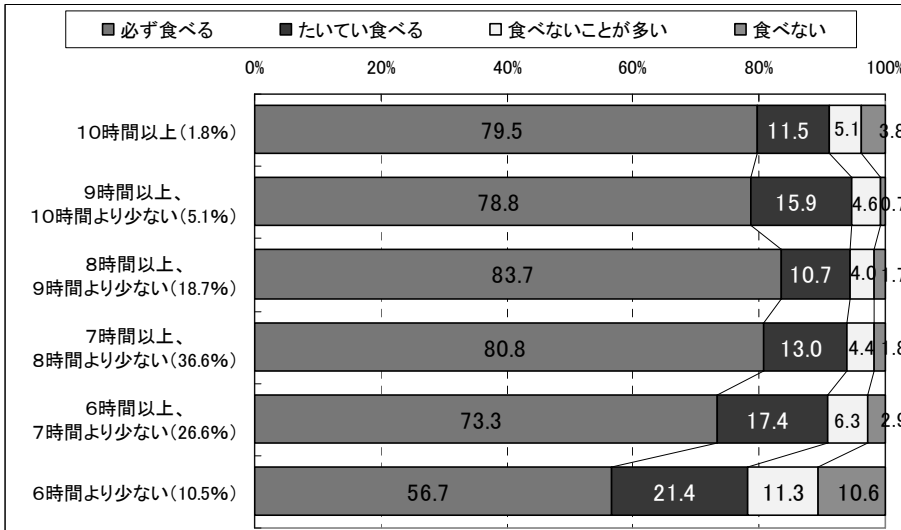
16 睡眠時間【問 25】×家庭学習時間（平日）【問 21】



○睡眠時間が「10 時間以上」と回答した生徒の 10.9%が、家庭学習時間が「3 時間以上」と回答し、他と比べて割合が高い。

○睡眠時間が「6 時間より少ない」と回答した生徒の 45.9%が、家庭学習を「ほとんどしない」という回答をしている。

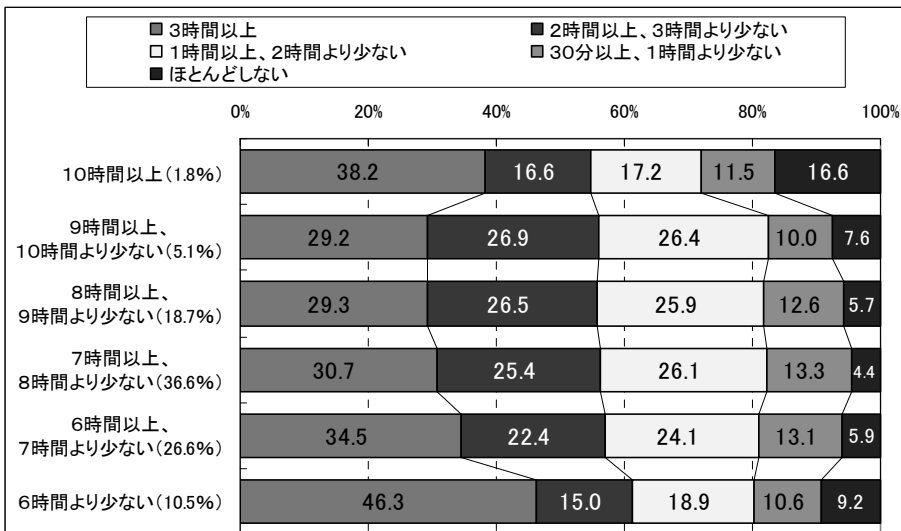
17 睡眠時間【問 25】×朝食の摂取【問 26】



○睡眠時間が「7 時間以上」の生徒の朝食の摂取状況が、比較的良好である。

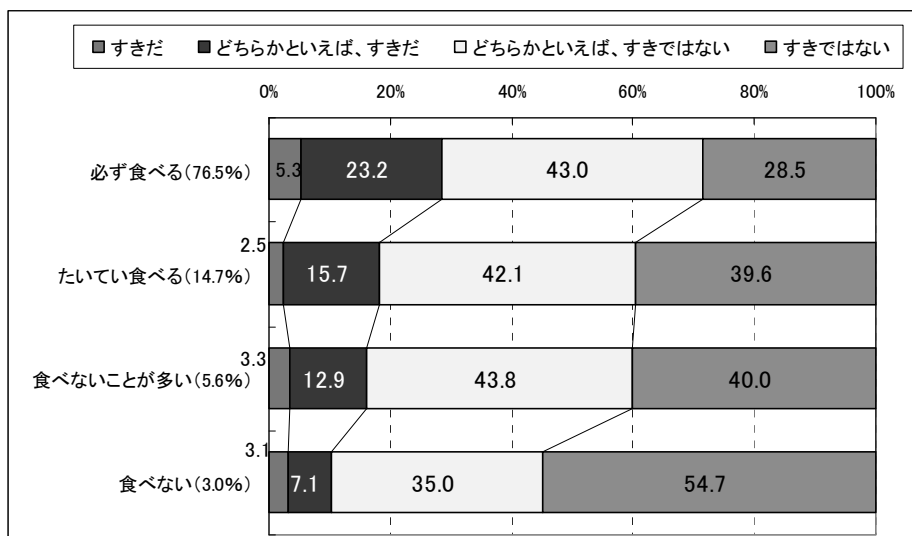
○睡眠時間が「6 時間より少ない」生徒では、「必ず食べる」という回答が 56.7%で、「食べないことが多い」と「食べない」を合わせた割合は、21.9%である。

18 睡眠時間【問 25】×テレビ・ビデオ・ゲームの視聴・実施時間（平日）【問 28】



○睡眠時間が「10 時間以上」の生徒の 38.2%、「6 時間より少ない」生徒の 46.3%が、テレビ等の視聴・実施時間が「3 時間以上」と回答し、視聴・実施時間が長くなる傾向がみられる。

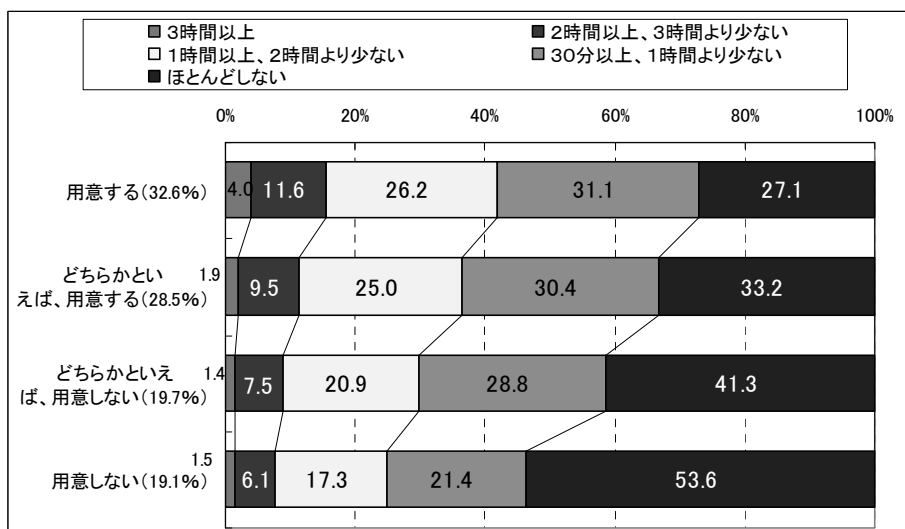
19 朝食の摂取【問 26】 × 学習に対する好感度【問 2】



○朝食を「必ず食べる」と回答した生徒が、学習を「すきだ」または「どちらかといえば、すきだ」と回答する割合が一番高い。

○朝食を「食べない」生徒の54.7%が、勉強が「すきではない」と回答しており、割合が一番高い。

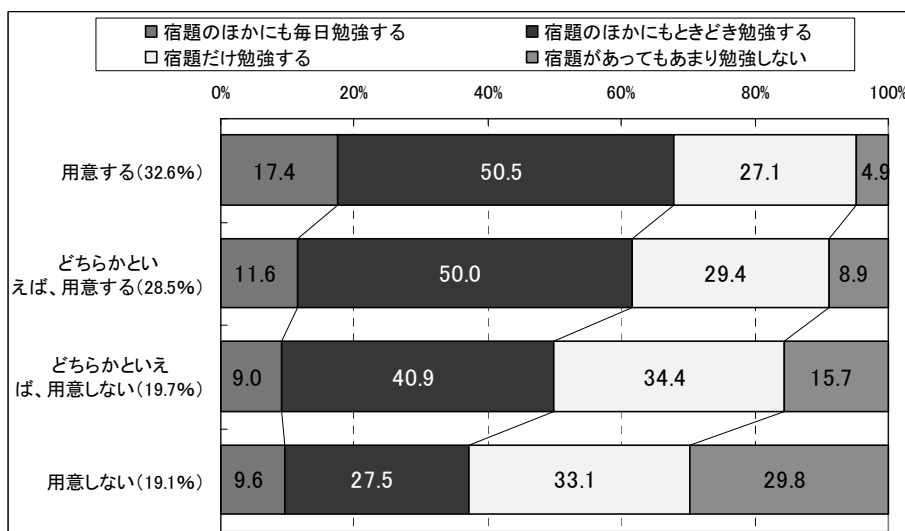
20 学習の準備【問 27】 × 家庭学習時間（平日）【問 21】



○平日に家庭学習をしている生徒の割合は、前日に学校の持ち物を用意する生徒ほど、高い傾向がある。

○「どちらかといえば、用意しない」生徒の41.3%、「用意しない」生徒の53.6%が、平日に家庭学習を「ほとんどしない」と回答している。

21 学習の準備【問 27】 × 家庭学習の内容【問 23】

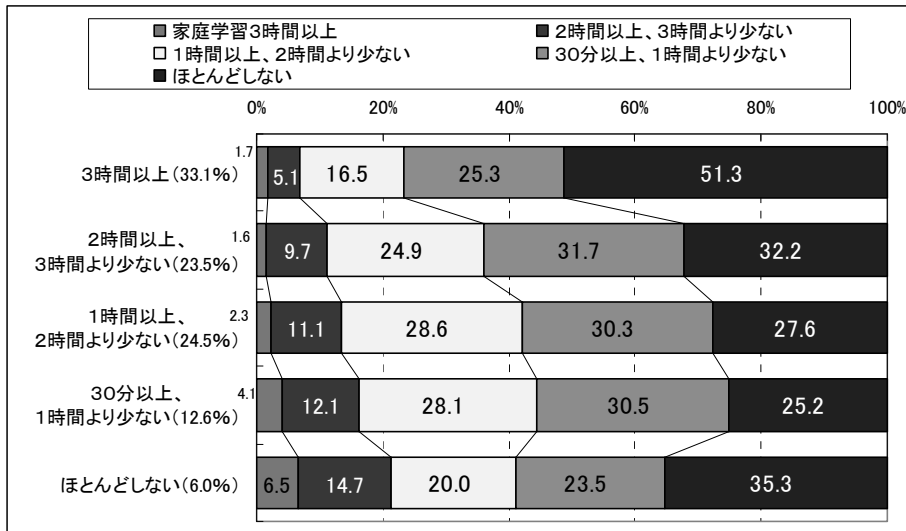


○前日に学校の持ち物を用意している生徒ほど、家庭で宿題のほかに勉強している傾向がある。

○前日に持ち物を「用意しない」と回答した生徒では、29.8%が「宿題があってもあまり勉強しない」と回答している。

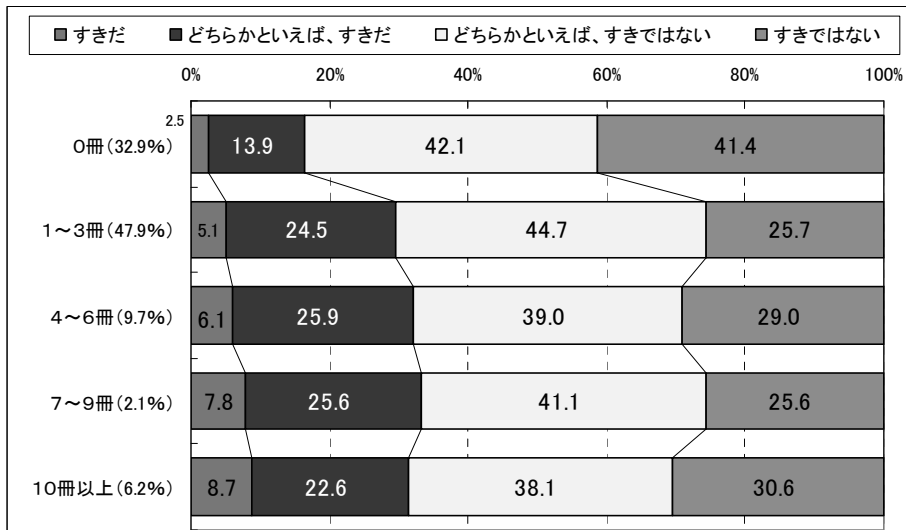
22 テレビ・ビデオ・ゲームの視聴・実施時間（平日）【問 28】

×家庭学習時間（平日）【問 21】



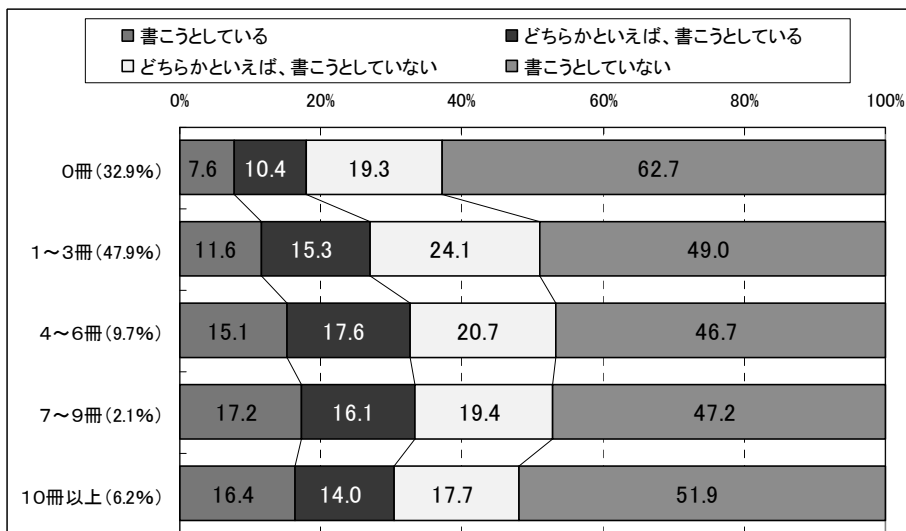
- テレビの視聴等をほとんどしないという生徒を除くと、視聴時間が長い生徒ほど、平日に家庭学習を「ほとんどしない」生徒の割合が高くなる傾向がある。
- テレビの視聴時間等が「3時間以上」の生徒では、半数以上に当たる51.3%が平日に家庭学習を「ほとんどしない」と回答している。

23 1ヶ月の読書量【問 30】 × 学習に対する好感度【問 2】



- 1ヶ月の読書量が多いほど、学習に対する好感度が高い傾向がある。
- 1ヶ月に1冊も本を読まない生徒の41.4%が、勉強が「すきではない」と回答しており、「どちらかといえば、すきではない」を合わせると83.5%である。

24 1ヶ月の読書量【問 30】 × 思いや考えを書こうとする意欲【問 33】



- 読書をしている生徒は、1ヶ月に1冊も本を読まない生徒に比べ、自分の思いや考えを「書こうとしている」と回答している傾向がある。
- 1ヶ月に1冊も本を読まない生徒では、「どちらかといえば」までを含めると、82.0%が自分の思いや考えを「書こうとしていない」と回答している。

Ⅲ 各教科の正答率との相関

1 学校生活の楽しさ【問1】

正答率	楽しい	どちらかといえ ば、楽しい	どちらかといえ ば、楽しくない	楽しくない
国語	63.0	61.8	57.9	56.8
社会	60.9	59.1	54.2	52.5
数学	52.0	49.1	42.5	40.3
理科	45.4	44.0	39.2	35.9
英語	63.4	60.3	54.0	51.1

○すべての教科において、学校生活が「楽しい」と回答した生徒ほど正答率が高い。

○「楽しい」と「楽しくない」と回答した生徒の間の正答率の差が最も大きい教科は「英語」で12.3ポイント、数学(11.7)、理科(9.5)、社会(8.4)の順で続き、国語(6.2)の差が最も小さい。

2 学習に対する好感度【問2】

正答率	すきだ	どちらかといえ ば、すきだ	どちらかといえ ば、すきではない	すきではない
国語	69.6	66.6	61.2	58.6
社会	70.6	66.1	58.9	54.0
数学	64.0	57.7	49.0	43.3
理科	57.5	52.2	43.0	37.9
英語	75.0	69.5	60.3	54.5

○すべての教科において、学校の勉強が「すきだ」と回答した生徒ほど正答率が高い。

○「すきだ」と「すきではない」と回答した生徒の間の正答率の差が最も大きい教科は「数学」で20.7ポイント、英語(20.5)、理科(19.6)、社会(16.6)の順で続き、国語(11.0)の差が最も小さい。

3 学習の必要性【問3】

正答率	大切だ	どちらかといえ ば、大切だ	どちらかといえ ば、大切ではない	大切ではない
国語	64.2	59.7	54.5	53.5
社会	62.5	56.4	49.1	48.9
数学	53.6	45.7	38.1	38.5
理科	47.4	40.5	33.2	32.9
英語	64.9	57.2	47.6	47.1

○数学以外の教科において、学校の勉強が「大切だ」と回答した生徒ほど正答率が高い。

○「大切だ」と「大切ではない」と回答した生徒の間の正答率の差が最も大きい教科は「英語」で17.8ポイント、数学(15.1)、理科(14.5)、社会(13.6)の順で続き、国語(10.7)の差が最も小さい。

4 各教科の好感度【問5～9】

正答率	すきだ	どちらかといえ ば、すきだ	どちらかといえ ば、すきではない	すきではない
国語	65.4	62.6	59.9	58.1
社会	68.2	60.0	54.3	50.7
数学	65.1	54.0	45.0	34.4
理科	55.0	46.4	39.1	34.9
英語	76.3	66.6	54.4	46.2

○すべての教科において、該当教科の好感度が高い生徒ほど正答率が高い。

○「すきだ」と「すきではない」と回答した生徒の間の正答率の差が最も大きい教科は「数学」で30.7ポイント、英語(30.1)、理科(20.1)、社会(17.5)の順で続き、国語(7.3)の差が最も小さい。

5 各教科の理解度【問 10～14】

正答率	わかる	どちらかといえ ばわかる	どちらかといえ ばわからない	わからない
国語	67.3	61.2	55.8	50.2
社会	68.6	58.8	50.2	45.2
数学	65.2	52.2	38.2	26.8
理科	56.9	45.2	35.7	29.6
英語	78.0	63.9	49.1	40.1

○すべての教科において、該当教科の理解度が高い生徒ほど正答率が高い。

○「わかる」と「わからない」と回答した生徒の間の正答率の差が最も大きい教科は「数学」で 38.4 ポイント、英語 (37.9)、理科 (27.3)、社会 (23.4) の順で続き、国語 (17.1) の差が最も小さい。

6 各教科の有用感【問 15～19】

正答率	役に立つ	どちらかといえ ば役に立つ	どちらかといえ ば役に立たない	役に立たない
国語	63.3	61.3	60.4	56.7
社会	62.6	60.7	57.8	54.4
数学	53.4	49.7	46.5	41.6
理科	48.5	46.7	42.6	37.2
英語	67.7	62.1	55.0	47.9

○すべての教科において、該当教科に有用感を感じている生徒ほど正答率が高い。

○「役に立つ」と「役に立たない」と回答した生徒の間の正答率の差が最も大きい教科は「英語」で 19.8 ポイント、数学 (11.8)、理科 (11.3)、社会 (8.2) の順で続き、国語 (6.6) の差が最も小さい。

7 家庭学習時間（平日）【問 21】

正答率	3時間以上	2時間以上、 3時間より 少ない	1時間以上、 2時間より 少ない	30分以上、 1時間より 少ない	ほとんどし ない
国語	65.1	65.6	64.2	62.4	59.0
社会	65.5	64.5	62.8	60.4	54.9
数学	59.5	57.7	54.3	50.6	43.6
理科	51.4	50.2	47.4	45.2	38.9
英語	71.3	70.1	66.6	61.8	54.1

○国語以外の教科において平日の家庭学習の時間が「3時間以上」の生徒の正答率が最も高く、すべての教科において「ほとんどしない」と回答した生徒の正答率が最も低い。

○「30分～1時間」と「ほとんどしない」と回答した生徒の間の正答率の差が最も大きいのは英語 (7.7) で、数学 (7.0) が続いている。

8 家庭学習の内容【問 23】

正答率	宿題のほかに も毎日勉強す る	宿題のほかに もときどき勉 強する	宿題だけ勉強 する	宿題があつて もあまり勉強 しない
国語	67.2	64.2	60.0	53.9
社会	67.3	62.3	56.9	48.6
数学	59.2	53.3	46.9	36.1
理科	53.5	47.1	40.9	32.2
英語	70.5	65.3	58.0	45.6

○すべての教科において、「宿題のほかに毎日勉強する」生徒の正答率が最も高く、「宿題があつてもあまり勉強しない」生徒の正答率が最も低い。

○「宿題だけ勉強する」と「宿題があつてもあまり勉強しない」と回答した生徒の間の正答率の差が最も大きいのは、英語 (12.4) で、数学 (10.8) が続いている。

9 朝食の摂取【問 26】

正答率	必ず食べる	たいてい食べる	食べないことが多い	食べない
国 語	64.2	55.7	53.6	49.9
社 会	62.6	50.8	47.4	43.5
数 学	53.5	39.9	34.5	31.1
理 科	47.4	34.7	31.4	26.7
英 語	64.8	51.2	46.1	42.2

○すべての教科において、朝食の摂取状況の良い生徒ほど正答率が高い。

○「必ず食べる」と「食べない」と回答した生徒の間の正答率の差が最も大きい教科は「英語」で 22.6 ポイント、数学 (22.4)、理科 (20.7)、社会 (19.1) の順で続き、国語 (14.3) の差が最も小さい。

資料 調査結果集計表

(数字はすべて%)

【共通】

問1 学校生活は、楽しいですか。

	楽しい	どちらかといえば、 楽しい	どちらかといえば、 楽しくない	楽しくない	無回答
H20	48.4	38.7	8.4	4.4	0.1
H21	47.9	38.9	8.9	4.2	0.1
H22	51.2	37.3	7.3	4.0	0.2

問2 勉強は、好きですか。

	好きだ	どちらかといえば、 好きだ	どちらかといえば、 好きではない	好きではない	無回答
H20	4.0	18.7	42.6	34.6	0.1
H21	4.2	20.5	42.6	32.6	0.0
H22	4.7	21.0	42.6	31.5	0.1

問3 勉強をすることは、大切なことだと思いますか。

	大切だ	どちらかといえば、 大切だ	どちらかといえば、 大切ではない	大切ではない	無回答
H20	50.1	43.5	3.6	2.7	0.1
H21	51.6	41.4	4.1	2.7	0.1
H22	56.5	38.0	3.4	2.0	0.1

問4 勉強をする一番の理由はなんですか。

	わかると楽し いから	受験に役に立 つから	将来の仕事に 役に立つから	生活するのに 役に立つから	ほめてもらえ るから	家の人やまわ りの人にいわ れるから	無回答
H20	13.5	29.3	36.7	11.3	0.8	7.9	0.5
H21	12.6	30.7	36.0	10.7	0.8	8.6	0.4
H22	13.5	30.9	37.0	10.3	0.7	7.2	0.5

問5～9 次の学習は好きですか。

		好きだ	どちらかといえ ば、好きだ	どちらかといえ ば、好きではない	好きではない	無回答
国語	H20	18.2	42.8	27.7	11.0	0.3
	H21	17.2	43.3	27.8	11.3	0.4
	H22	18.4	44.4	26.4	10.1	0.7
社会	H20	24.7	36.0	25.4	13.4	0.5
	H21	24.5	36.4	25.5	13.2	0.4
	H22	25.3	36.1	25.0	12.7	0.9
数学	H20	21.0	29.0	27.1	22.4	0.5
	H21	21.8	30.6	26.7	20.3	0.5
	H22	21.1	30.0	27.7	20.3	0.9
理科	H20	19.2	33.9	29.2	17.2	0.5
	H21	19.0	34.6	28.6	17.3	0.5
	H22	20.4	32.9	29.1	16.7	0.9
英語	H20	21.3	29.7	27.7	20.8	0.4
	H21	19.8	30.7	27.5	21.4	0.5
	H22	21.1	30.8	26.7	20.6	0.8

問 10～14 次の授業は、よくわかりますか。

		わかる	どちらかといえ ば、わかる	どちらかといえ ば、わからない	わからない	無回答
国語	H20	30.3	50.2	14.5	4.9	0.2
	H21	28.1	51.5	15.0	5.1	0.2
	H22	31.8	49.7	13.8	4.4	0.3
社会	H20	31.8	42.2	18.1	7.7	0.3
	H21	31.2	42.7	18.0	7.9	0.3
	H22	31.7	43.0	18.1	7.0	0.3
数学	H20	28.3	36.0	22.0	13.4	0.3
	H21	28.8	37.7	20.7	12.5	0.3
	H22	28.0	38.0	21.7	11.8	0.4
理科	H20	21.8	40.9	25.5	11.5	0.3
	H21	22.3	42.9	23.5	10.9	0.3
	H22	22.7	43.0	23.9	10.0	0.4
英語	H20	24.7	38.1	22.8	14.2	0.3
	H21	24.8	37.7	23.0	14.2	0.3
	H22	26.5	37.0	22.8	13.3	0.4

問 15～19 次の授業で学んだことは、生活の中で役に立っていると思いますか。

		役に立つ	どちらかといえ ば、役に立つ	どちらかといえ ば、役に立たない	役に立たない	無回答
国語	H20	46.5	37.9	10.1	5.2	0.3
	H21	46.7	39.3	9.1	4.7	0.3
	H22	46.4	38.6	10.0	4.5	0.4
社会	H20	18.8	35.8	31.5	13.6	0.3
	H21	18.6	37.8	29.9	13.4	0.3
	H22	19.2	38.8	29.2	12.4	0.4
数学	H20	33.8	39.4	17.5	9.0	0.3
	H21	35.2	40.8	16.2	7.4	0.4
	H22	34.9	40.7	16.3	7.7	0.4
理科	H20	12.2	33.8	35.4	18.2	0.3
	H21	12.9	36.5	33.9	16.4	0.4
	H22	14.1	35.5	34.3	15.7	0.4
英語	H20	30.9	37.9	18.8	12.0	0.3
	H21	31.2	37.8	18.9	11.8	0.3
	H22	32.6	37.8	18.7	10.4	0.4

問 20 授業の中で、わからないことがあったら、どうすることが多いですか。(複数回答可)

	その場で先生 にたずねる	授業が終わっ てから先生に たずねる	友だちにたず ねる	家の人にたず ねる	塾や家庭教師 の先生にたず ねる	自分で調べる	そのままにし ておく
H20	33.8	26.5	74.0	39.7	38.6	44.9	36.7
H21	31.8	28.4	74.6	40.7	38.9	44.7	36.0
H22	31.6	29.6	74.2	40.5	40.2	44.6	36.5

問 21 学校のある日、家で1日どのくらい勉強しますか。

	3時間以上	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	ほとんどしない	無回答
H20	2.1	7.2	19.2	27.9	43.1	0.4
H21	2.7	8.0	20.9	28.4	39.7	0.3
H22	2.4	9.1	23.0	28.4	36.6	0.5

問 22 学校が休みの日、家で1日どのくらい勉強しますか。

	3時間以上	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	ほとんどしない	無回答
H20	4.2	8.0	17.3	23.8	46.1	0.5
H21	5.6	9.5	19.4	24.0	40.8	0.6
H22	5.4	10.3	20.0	24.2	39.5	0.6

問 23 ふだん、家でしている勉強は、どれに近いですか。

	宿題のほかに毎日勉強する	宿題のほかにときどき勉強する	宿題だけ勉強する	宿題があってもあまり勉強しない	無回答
H20	9.6	41.5	33.5	14.4	1.0
H21	11.3	42.5	31.5	13.6	1.1
H22	12.5	43.7	30.1	12.8	0.9

問 24 学習塾に、通っていますか。

	通っている	通っていない	無回答
H20	58.3	40.9	0.8
H21	57.7	41.5	0.8
H22	58.7	40.5	0.8

問 25 学校がある日の、睡眠時間はどれくらいですか。

	10時間以上	9時間以上、10時間より少ない	8時間以上、9時間より少ない	7時間以上、8時間より少ない	6時間以上、7時間より少ない	6時間より少ない	無回答
H20	2.2	5.3	19.8	36.1	26.1	9.8	0.6
H21	2.0	5.6	20.1	37.3	24.2	10.4	0.4
H22	1.8	5.1	18.7	36.6	26.6	10.5	0.6

問 26 毎日、朝食を食べますか。

	必ず食べる	たいてい食べる	食べないことが多い	食べない	無回答
H20	74.2	15.3	6.8	3.6	0.2
H21	75.8	15.3	5.6	3.3	0.1
H22	76.5	14.7	5.6	3.0	0.1

問 27 学校に持って行くものは、前日にきちんと用意しますか。

	用意する	どちらかといえば、用意する	どちらかといえば、用意しない	用意しない	無回答
H20	32.3	27.0	20.0	20.4	0.3
H21	34.9	27.2	18.1	19.7	0.1
H22	32.6	28.5	19.7	19.1	0.2

問 28 学校のある日、家でどのくらいテレビやビデオをみたり、テレビゲームをしますか。

	3時間以上	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	ほとんどしない	無回答
H20	34.9	24.3	23.3	10.9	6.5	0.2
H21	34.2	24.4	24.5	11.4	5.4	0.2
H22	33.1	23.5	24.5	12.6	6.0	0.2

問 29 学校が休みの日、家でどのくらいテレビやビデオをみたり、テレビゲームをしますか。

	3時間以上	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	ほとんどしない	無回答
H20	51.0	20.0	17.0	6.4	5.3	0.3
H21	50.3	22.1	16.5	6.4	4.3	0.2
H22	49.0	21.8	17.0	6.8	5.2	0.2

問 30 月に何さつぐらい本（マンガ・雑誌をのぞく）を読みますか。 [*31冊以上の回答は集計から除外]

	0冊	1～3冊	4～6冊	7～9冊	10冊以上	無回答	平均冊数 *無回答を除く
H20	32.3	49.0	9.5	2.2	6.2	0.7	2.3
H21	35.6	44.9	9.3	2.2	7.1	0.8	2.4
H22	32.9	47.9	9.7	2.1	6.2	1.2	2.3

【国語】

問 31 わからない言葉があるときは国語辞典（電子辞書をふくみます）を使いますか。

	よく使う	どちらかといえば、よく使う	どちらかといえば、あまり使わない	あまり使わない	無回答
H20	23.9	31.0	22.6	22.3	0.2
H21	25.5	30.6	21.9	21.9	0.1
H22	25.3	32.4	21.2	21.0	0.2

問 32 日常生活の中で、自分の思いや考えを積極的に話そうとしていますか。

	話そうとしている	どちらかといえば、話そうとしている	どちらかといえば、話そうしていない	話そうしていない	無回答
H20	22.2	39.6	26.2	11.7	0.3
H21	23.3	41.3	24.9	10.4	0.1
H22	25.6	40.7	23.3	10.1	0.2

問 33 日記を書くなど、自分の思いや考えを文章に書こうとしていますか。

	書こうとしている	どちらかといえば、書こうとしている	どちらかといえば、書こうしていない	書こうしていない	無回答
H20	12.5	14.9	18.0	54.4	0.3
H21	11.6	14.8	20.5	52.9	0.1
H22	11.0	13.8	21.6	53.3	0.2

【社会】

問 34 わからない地名に出会ったら、自分で地図帳などを使って調べますか。

	調べようとしている	どちらかといえば、調べようとしている	どちらかといえば、調べようしていない	調べようしていない	無回答
H20	12.6	21.8	27.8	37.5	0.3
H21	12.4	23.0	28.2	36.3	0.1
H22	12.8	22.8	28.9	35.3	0.2

問 35 歴史上の人物やできごとをあつまっている本を読むことは好きですか。

	すきだ	どちらかといえば、すきだ	どちらかといえば、すきではない	すきではない	無回答
H20	21.1	25.6	24.9	28.0	0.3
H21	22.5	26.4	25.2	25.8	0.1
H22	22.4	26.5	24.9	26.0	0.2

問 36 社会のできごとやニュースに関心がありますか。

	関心がある	どちらかといえば、 関心がある	どちらかといえば、 関心がない	関心がない	無回答
H20	29.4	42.5	18.5	9.3	0.3
H21	31.1	42.5	17.5	8.8	0.1
H22	28.9	40.7	19.4	10.7	0.2

【数学】

問 37 数学の時間に、いろいろな考え方を発表しあうことは好きですか。

	すきだ	どちらかといえば、 すきだ	どちらかといえば、 すきではない	すきではない	無回答
H20	11.2	21.3	34.3	33.0	0.2
H21	10.8	22.1	34.9	32.0	0.2
H22	11.6	22.7	34.4	31.0	0.2

問 38 問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか。

	考えようとしてい る	どちらかといえば、考 えようとしている	どちらかといえば、考 えようとしていない	考えようとしてい ない	無回答
H20	11.8	21.3	31.9	34.8	0.2
H21	12.2	23.0	31.9	32.7	0.2
H22	12.9	24.3	32.0	30.6	0.2

問 39 問題が解けなかったとき、なぜ解けなかったかをふり返って考えようとしていますか。

	考えようとしてい る	どちらかといえば、考 えようとしている	どちらかといえば、考 えようとしていない	考えようとしてい ない	無回答
H20	26.4	35.1	20.9	17.3	0.2
H21	26.7	35.1	20.6	17.3	0.2
H22	28.3	34.3	20.3	16.9	0.2

【理科】

問 40 理科の勉強で、実験や観察をすることは好きですか。

	すきだ	どちらかといえば、 すきだ	どちらかといえば、 すきではない	すきではない	無回答
H20	41.4	31.0	15.8	11.5	0.2
H21	40.0	31.9	16.3	11.6	0.2
H22	42.2	31.2	15.0	11.3	0.2

問 41 理科の勉強で、わからないことや興味・関心をもったことについて自分から調べようとしていますか。

	調べようとしてい る	どちらかといえば、調 べようとしている	どちらかといえば、調 べようとしていない	調べようとしてい ない	無回答
H20	12.3	27.5	34.8	25.2	0.2
H21	12.7	28.7	34.4	24.0	0.2
H22	14.0	29.2	33.5	23.0	0.3

問 42 自然や理科についての読み物や図かん、テレビ番組などをよくみていますか。

	よくみている	どちらかといえば、 よくみている	どちらかといえば、 あまりみしていない	あまりみしていない	無回答
H20	13.4	21.4	29.7	35.2	0.3
H21	13.3	22.1	31.9	32.5	0.2
H22	15.6	22.9	30.7	30.5	0.3

【英語】

問 43 テレビやラジオで英語の番組をみたり聞いたりするなど、家で英語の勉強をすることはありますか。

	ある	どちらかといえば、 ある	どちらかといえば、 ない	ない	無回答
H20	14.6	19.2	26.1	39.8	0.3
H21	14.8	20.3	27.7	37.0	0.2
H22	16.6	20.1	27.1	35.8	0.3

問 44 わからない言葉があるときは、英語の辞書（電子辞書をふくみます）を使いますか。

	よく使う	どちらかといえば、 よく使う	どちらかといえば、 あまり使わない	あまり使わない	無回答
H20	29.7	24.5	16.6	29.0	0.2
H21	29.2	24.3	17.6	28.7	0.2
H22	30.1	24.4	17.9	27.4	0.3

問 45 もし、道で出会った外国人に英語で話しかけられたら、どうしますか。

	何とか英語で話そ うとする	日本語で話そうと する	だまっている	その場からにげる	無回答
H20	67.4	15.0	3.9	13.1	0.6
H21	67.3	14.9	4.1	13.2	0.5
H22	68.0	15.6	3.7	12.1	0.6